

# 現 場 説 明 書

横浜市教育委員会事務局教育施設課

- 1 件 名 旭小学校仮設教室賃貸借
- 2 履 行 場 所 横浜市鶴見区北寺尾四丁目25番1号
- 3 賃貸借概要 設計書、図面のとおり  
※ 建物・設備の設置費  
(1) 構造・規模 プレハブ造 2階建  
(2) 教 室 数 普通教室 2CR、図工室  
(3) そ の 他 昇降口、トイレ、階段等  
渡り廊下
- 4 配布図書 (1) 設 計 書  
(2) 図 面  
(3) 旭小学校仮設教室賃貸借仕様書  
(4) 室内空気中の化学物質の抑制に関する特記仕様書  
(5) 現場説明書
- 5 設 置 工 期 契約締結後 令和7年3月18日 まで
- 6 予定賃貸借期間 令和7年4月1日から令和11年3月31日 まで
- 7 契約履行上の特別条件  
(1) 支払いについて  
別紙賃貸料の支払い割合のとおり。  
(2) 設置、解体上の安全について  
安全については特に注意し、その対策を完全に行う。  
関連詳細については、8の各項目に留意すること。  
(3) 各種下請け業者（専門業者）について  
電気設備・衛生設備は、仮設教室賃貸借契約に含む。なお、市内業者の優先使用を配慮すること。
- 8 現場状況及び関連事項  
(1) 工事の施工にあたって、設計書等に記載してある事項以外で特に必要な事項については、横浜市建築局建築工事特則仕様書、公共建築工事標準仕様書「建築工事編」「電気設備工事編」「機械設備工事編」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）及び建築基準法、建築事業関係法令、安全衛生公害関係法令、その他関係法令に準拠する。  
(2) 工事着手にあたり、搬入路・近隣道路・擁壁・周辺及び当該敷地内の構造物、埋

設物等を十分調査のうえ、その状況を本市職員に報告するとともに、問題のある場合はそれらの保護または適切な措置をする。

- (3) グランドは、学校や地域の各種行事で使用するため、工事ヤード等の設置にあたっては、学校と十分調整を行い、行事等開催時には、できる範囲で配慮をお願いすることがあります。
- (4) 工事に伴って発生が予想される騒音・振動等については、特に配慮し、学校と事前に調整する。
- (5) 仮設計画及び工程については、本市職員と十分打合せを行い、工事の安全と工程を遵守し作業を進める。
- (6) 工事中、道路など既設物に損傷を与えた場合は、直ちに応急処置を講ずるとともに、本市職員に報告し、工事完了までに賃貸人の負担で原状回復する。
- (7) 仮設搬入路の確保に際し、支障となる遊具等の移設及び撤去は本契約に含む。
- (8) 登下校時間は、資材搬出入を行わない。
- (9) クレーン作業時には必ず誘導員を立てるとともに、他作業時にも作業箇所の周囲は、児童生徒の立ち入りを遮断するよう安全対策を講じる。
- (10) 工事現場内は、常に整理整頓し、災害事故等の予防対策には万全を期すること。
- (11) 飲食・更衣・トイレ等については場所を指定するとともに、消火用水等を常備する。敷地内は禁煙とする。
- (12) 発生材（産業廃棄物）の処分については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し適正に処理し、マニフェストの提出を行う。
- (13) 工事用仮設電気・水道は、学校の了解を得たうえで使用すること。なお、学校敷地以外で新たに引き込む場合は、その手続きを含め実施すること。
- (14) 工事写真は、営繕工事写真撮影要領を参照し、工程段階毎に入念に撮ること。特に、隠れた部分の写真がない場合、破壊検査・復旧を命ずることがある。その費用は賃貸人の負担で行う。
- (15) 工事の施工に際し、関係者と十分な連絡をとり、また関係官庁への届け出を必要とする場合には遅滞なくこれを行う。ただし費用は賃貸人の負担とする。
- (16) 別添の方法により揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、賃借人に報告すること。  
なお、測定結果が指針値を超える場合には、原因の究明に努めること。
- (17) その他、不明な点は事前に本市職員に連絡し、指示を受けること。

# 旭小学校仮設教室賃貸借仕様書

横浜市教育委員会事務局教育施設課

## 1 委託内容及び履行期限

仮設教室施工（法的手続きを含む）および仮設教室賃貸借業務  
契約締結日から令和 11 年 3 月 31 日まで

## 2 履行場所

横浜市鶴見区北寺尾四丁目 25 番 1 号

## 3 契約条件

仮設教室使用期間 令和 7 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日まで  
契約期間を超えて、横浜市が引き続き仮設校舎の賃貸借が必要と判断した場合は、賃貸借機関の延長について、別途協議を行う。

## 4 適用範囲

当該工事にあたっては、本仕様書及び設計書、図面、現場説明書に記載してある事項による。それらに記載されていない事項については、市と協議し決定します。

## 5 施工前協議

施工前に、施工計画書を市に提出し、市と協議を行うこと。

## 6 施工体制等

工事に際しては、関連法令等を遵守した上で施工管理体制を確立し、仮設計画、工事工程等について協議を行い、工程管理、安全対策、品質の確保等を適切に行わなければならない。

工事搬入経路を確保するために必要な工事、工事に伴う土木事務所、警察等への手続きは本契約に含む。

また、工事車両の通行は、事前に近隣住民に周知し、トラブルのないよう努め、周辺住民等への工事説明会開催時等には必要な書類を作成し同席すること。

## 7 疑義

工事内容に疑義が生じたときには、市と協議を行い決定すること。

## 8 安全対策

工事施工中の安全確保に関しては、関係法令を遵守し、「建設工事公衆災害防止対策要領」に従い、工事の施工に伴う災害の防止に努めなければならない。また、工事に際しては、児童及び近隣住民の安全を確保すること。

## 9 施工計画

### (1) 一般共通事項

ア 事前現場調査	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可
イ 官公庁その他への届出	<input type="checkbox"/> 市	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者

### (2) 仮設工事

ア 現場事務所	<input checked="" type="checkbox"/> 要	<input type="checkbox"/> 不要
イ 工事用仮設トイレ	<input checked="" type="checkbox"/> 要	<input type="checkbox"/> 不要
ウ 工事用水	<input checked="" type="checkbox"/> 支給	<input type="checkbox"/> 受注者負担
エ 工事用電力	<input checked="" type="checkbox"/> 支給	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者負担

※ コンセントからの使用程度であれば、支給となりますが、電気容量の大きい機器等を使用する場合は、別途、仮設電源を引く等、対応をお願いします。

- |         |    |                |
|---------|----|----------------|
| オ 仮囲い   | ■要 | □任意（受注者が安全を確保） |
| カ 交通整理員 | ■要 | □任意（受注者が安全を確保） |

## 10 引渡検査

- (1) 受注者は工事が完了したときは、必要な許認可手続を経たうえで、その旨を市に通知しなければならない。
- (2) 市は完了の通知を受けたときは、すみやかに確認の検査を行う。検査に合格しない場合、受注者はその責において直ちに手直しを行い、再検査を受けるものとする。
- (3) 検査に合格したときは、市はすみやかに引渡しを受けるものとする。
- (4) 受注者は引渡し前に建物の内外にわたり十分に清掃を行うものとする。
- (5) 引き渡しに際し受注者は、完成図、維持保全に関する資料、引渡し品（貸与品）、目録、諸官庁届出書、その他必要書類を市に提出する。

## 12 維持管理

受注者は、賃貸期間中、必要な修繕義務を負い、保守点検を行うものとする。市は物件を注意して維持管理する義務を負う。各々費用負担する事項については次のとおりとし、その以外の事項については、その都度協議により決定する。

- |             |    |      |
|-------------|----|------|
| (1) 公租公課    | □市 | ■受注者 |
| (2) 火災保険    | □市 | ■受注者 |
| (3) 法定点検    | ■市 | ■受注者 |
| (4) 各種消耗品   | ■市 | □受注者 |
| (5) 電気料金    | ■市 | □受注者 |
| (6) ガス料金    | ■市 | □受注者 |
| (7) 上下水道使用料 | ■市 | □受注者 |
| (8) 清掃      | ■市 | □受注者 |
| (9) セキュリティ  | ■市 | □受注者 |
| (10) 保守点検   | ■市 | ■受注者 |

# 室内空気中の化学物質の抑制に関する特記仕様書

## 1 建築材料等の使用制限の原則

建築材料等の使用制限の原則は、以下のとおりとする。ただし、該当する材料がない等の事由により、本原則によりがたい場合の措置は協議による。

(1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発散する材料については、F☆☆☆☆とする。やむを得ず、F☆☆☆又はその同等品（旧JAS 又は旧JIS におけるFco、Eco を含む。）とする場合は、あらかじめ市担当者の承諾を得ること。

対策をとる建築材料等

- ・ 合板・木質系フローリング・構造用パネル・集成材・単板積層材・MDF
- ・ パーティクルボード・その他の木質建材
- ・ 家具・書架・その他の什器等(合板類、接着剤及び塗料を使用する場合)
- ・ ユリア樹脂板
- ・ 壁紙
- ・ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び巾木等に使用する接着剤
- ・ 保温材・緩衝材・断熱材
- ・ 塗料
- ・ 仕上塗材

(2) トルエン、キシレン及びエチルベンゼン（以下「トルエン等」という。）を含有する塗料及び接着剤についてはトルエン等の含有量が少ない規格品とする。

対策をとる建築材料等

- ・ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び巾木等に使用する接着剤
- ・ 塗料
- ・ 溶剤

(3) クロロピリホス、ダイアジノン及びフェノブカルブを含有しない非有機リン系の防腐・防蟻剤とし、加圧式防腐、防蟻処理等は工場で行い、十分に乾燥した後に現場に搬入する。

対策をとる建築材料等

- ・ 木材保存（木材の防腐・防蟻処理）剤

(4) フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない、難揮発性の可塑剤を使用している接着剤とする。

対策をとる建築材料等

- ・ 壁紙用接着剤（規格品とする）
- ・ 木工用接着剤

## 2 施工中の安全管理

接着剤及び塗料の塗布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させる。

3 測定 次により、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、市担当者に報告する。

- ・ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド

- ※ D N P H誘導体固層吸着／溶媒抽出ー高速液体クロマトグラフ法

- ・ 検知管法
- ・ 定電位電解法

- ・トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン

- ※ 固層吸着／溶媒抽出法ーガスクロマトグラフ／質量分析法

- ・ 固層吸着／加熱脱着法ーガスクロマトグラフ／質量分析法
- ・ 容器採取ーガスクロマトグラフ／質量分析法

- ・測定対象室及び箇所数

室名	箇所数	回数／時期
普通教室、図工室	2カ所	1回／引渡前

- ・空気資料の採取方法等

空気資料の採取方法等は、原則として厚生労働省から示されている「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」による。ただし、本工事に適用困難な部分については、市担当者と協議による。なお、簡易な測定方法による場合は、採取した測定機器の特性等を考慮して、市担当者と協議の上、計画書に定める。

4 測定後の措置等

測定の結果、厚生労働省の指針値を上回った場合の措置は、市担当者の指示による。

測定対象化学物質	厚生労働省の指針値 ( 25℃の場合)
ホルムアルデヒド	0.08 ppm ( 100 μg/l )
アセトアルデヒド	0.03 ppm ( 48 μg/l )
トルエン	0.07 ppm ( 260 μg/l )
キシレン	0.20 ppm ( 870 μg/l )
エチルベンゼン	0.88 ppm ( 3,800 μg/l )
スチレン	0.05 ppm ( 220 μg/l )
パラジクロロベンゼン	0.04 ppm ( 240 μg/l )

令和6年度 一般会計算出 17款 8項 2目 13節

工事完了年月日  
令和7年3月18日

期 間

令和6年4月11日提出

令和11年3月31日 まで

# 設 計 書

件 名 旭 小 学 校 仮 設 教 室 賃 貸 借

設 置 場 所 横浜市鶴見区北寺尾四丁目25番1号

概 要

- ・ 仮設教室その他設置
- ・ 仮設教室賃貸借期間  
令和7年4月1日 から 令和11年3月31日まで
- ・ 解体撤去

理 由

旭小学校は、個別支援学級の増加により、図工室を改修して教室として使用しているが、現時点で、教室不足が生じるため、新たな仮設教室を設置し賃貸借する。

No.	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	旭小学校仮設校舎賃貸借						
	直接工事費		1.0	式			
	計						
	共通費						
	共通仮設費		1.0	式			
	現場管理費		1.0	式			
	一般管理費等		1.0	式			
	計						
	設計管理費		1.0	式			
	リース料		1.0	式			
	工事費等計						
	消費税等相当額						
	公租公課						
	総合計						



No.	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
1	建築工事						
1-1	直接仮設工事		1.0	式			
1-2	土工事		1.0	式			
1-3	型枠工事		1.0	式			
1-4	鉄筋工事		1.0	式			
1-5	コンクリート工事		1.0	式			
1-6	本体工事		1.0	式			
1-7	左官工事		1.0	式			
1-8	木工事		1.0	式			
1-9	内装工事		1.0	式			
1-10	金属工事		1.0	式			
	製作金物工事		1.0	式			
1-11	屋根工事		1.0	式			
1-12	板金工事		1.0	式			
1-13	外壁工事		1.0	式			
1-14	防水工事		1.0	式			
1-15	硝子工事		1.0	式			
1-16	金属建具工事		1.0	式			
1-17	塗装工事		1.0	式			
1-18	雑工事		1.0	式			
	合 計						











# 旭小学校仮設校舎設置その他工事

図面リスト				
図面番号	図面名称 (建築意匠図)	図面番号	図面名称 (建築構造図)	図面番号 図面名称 (電気設備工事)
A-01	表紙・図面リスト	S-01	構造設計特記仕様書	E-01 特記仕様書・案内図・配置図
A-02	工事概要・案内図	S-02	鉄筋コンクリート配筋標準図 1	E-02 改修前・改修後受変電設備単線結線図
A-03	設計概要・仕上表	S-03	鉄筋コンクリート配筋標準図 2	E-03 改修後 1、2 階幹線・弱電設備平面図
A-04	敷地求積図・面積表	S-04	溶接基準図	E-04 仮設校舎 1、2 階幹線設備平面図
A-05	建築面積・延べ面積 算定図	S-05	柱脚納まり図	E-05 仮設校舎 1、2 階電灯設備平面図
A-06	配置図・1 階平面図	S-06	基礎伏図	E-06 仮設校舎 1、2 階コンセント設備平面図
A-07	1 階平面図・2 階平面図	S-07	基礎断面図	E-07 仮設校舎 1、2 階弱電設備平面図
A-08	立面図	S-08	梁伏図	E-08 仮設校舎 1、2 階火報設備平面図
A-09	断面図	S-09	軸組図 1	
A-10	建具表	S-10	軸組図 2	
A-11	法規検討	S-11	軸組図 3	図面名称 (衛生空調設備工事)
A-12	1 階平面詳細図	S-12	鉄骨部材リスト 1	M-01 図面リスト、仕様書、工事区分、凡例
A-13	2 階平面詳細図	S-13	鉄骨部材リスト 2	M-02 案内図、配置図
A-14	矩計図	S-14	鉄骨部材リスト 3	M-03 改修後給・排水設備平面図
A-15	外部階段詳細図	S-15	ブレースリスト 1	M-04 仮設校舎 1、2 階給・排水設備平面図
A-16	渡り廊下	S-16	ブレースリスト 2	M-05 仮設校舎 1、2 階空調・ガス配管設備平面図
A-17	仮設計画図 (通常時)	S-17	鉄骨詳細図	M-06 仮設校舎 1、2 階換気設備平面図
A-18	仮設計画図 (仮設校舎 建方時)			M-07 既設プリンクラー改修図
A-19	仮設計画図 (渡り廊下 建方時)			

工事概要

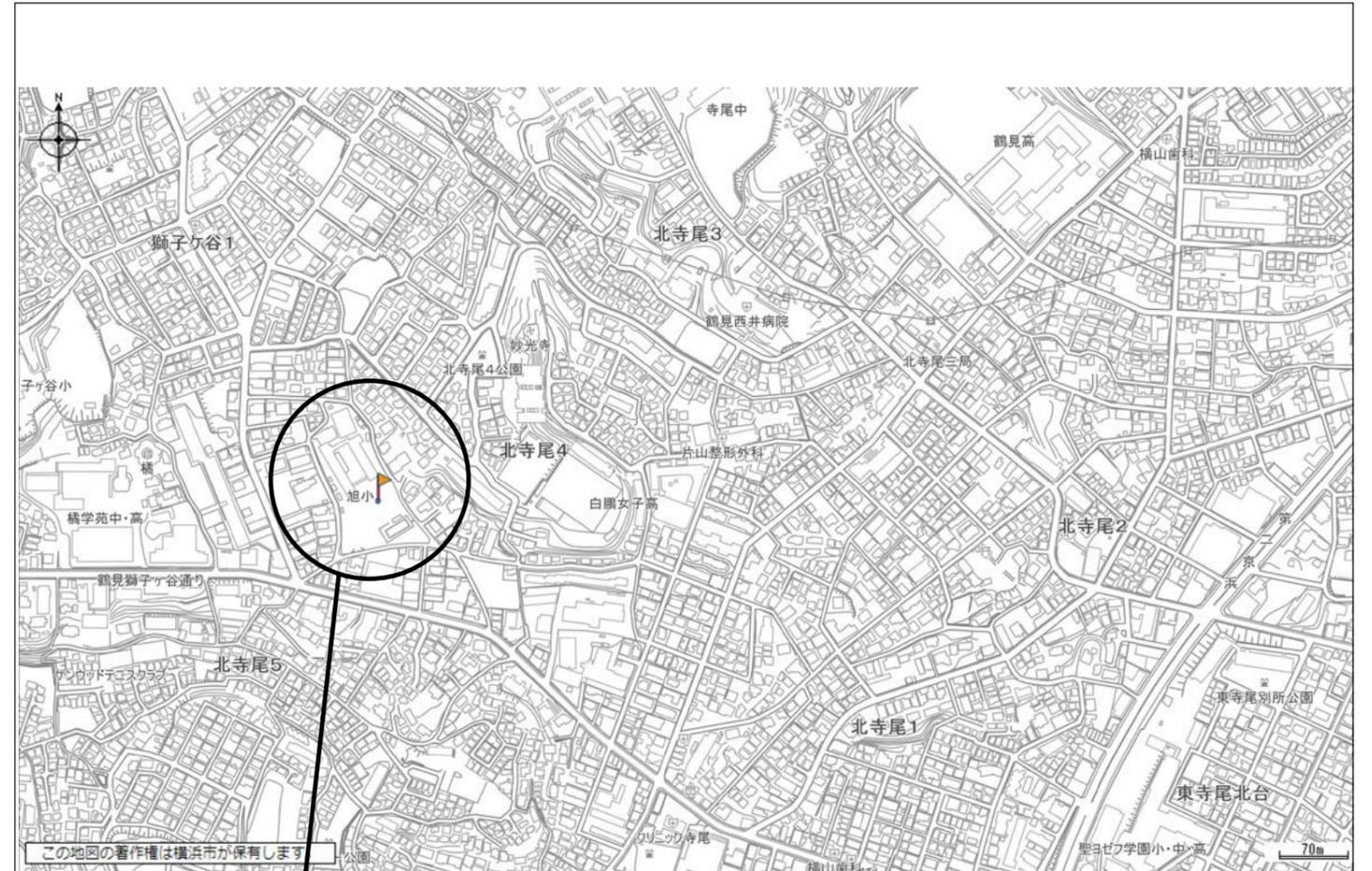
工事名称 旭小学校仮設教室設置その他工事  
 学校名 旭小学校  
 住所 鶴見区北寺尾4丁目25-1  
 電話番号 045-581-4178

工事内容

- 1) 仮設校舎を新設する
- 2) 校舎棟からの渡り廊下を新設する

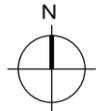
一般事項

1. 設計中に特記なき事項は、小中学校標準図95・校舎改造標準図95・及び備品関係標準図（F・改F・G・改G・Iシリーズ）による。その他不明箇所は監督員の指示による。
2. 床材の張り替え部分は全て下地のケレン清掃を行うものとする。
3. 塗装塗替部分はすべて下地調整を行うものとし、穴埋め、パテ飼い、研磨紙ずり等とする
4. 金属製建具、木製建具、製作家具等は製作に先立ち承認図を提出し承認を得た後に製作施工する。
5. 施工に先立ち事前に学校長、監督員と協議の上、工程表を作成し、承認を受けるものとする。
6. 犬走り（構造体を除く）等のコンクリート・鉄筋は以下の通りとする。  
 コンクリート F c=21-18-20n 鉄筋：D10@200（ﾀﾞｲｺﾞ共）SD295A
7. 仮設計画（仮設計画図参照）
  - 1) 仮設計画作成において、工事用搬入口、作業エリア・校舎内作業動線等事前に学校長・キッズクラブ職員・監督員と協議の上決定し作成すること。
8. その他
  - 1) 固定備品は工事にて撤去処分または取外し、保管、再取付、または撤去、新設を行う。  
 （備品配置等について学校と協議の上設置すること備品は転倒防止金物を設置すること）
  - 2) 工事箇所には関係者以外の職員や児童が容易に入り込めないようにしておく。
  - 3) 工事車両が敷地内を走行する際には周囲を十分注意すること



案内図  
NO. SCALE

工事場所：横浜市立 旭小学校



横浜市教育委員会

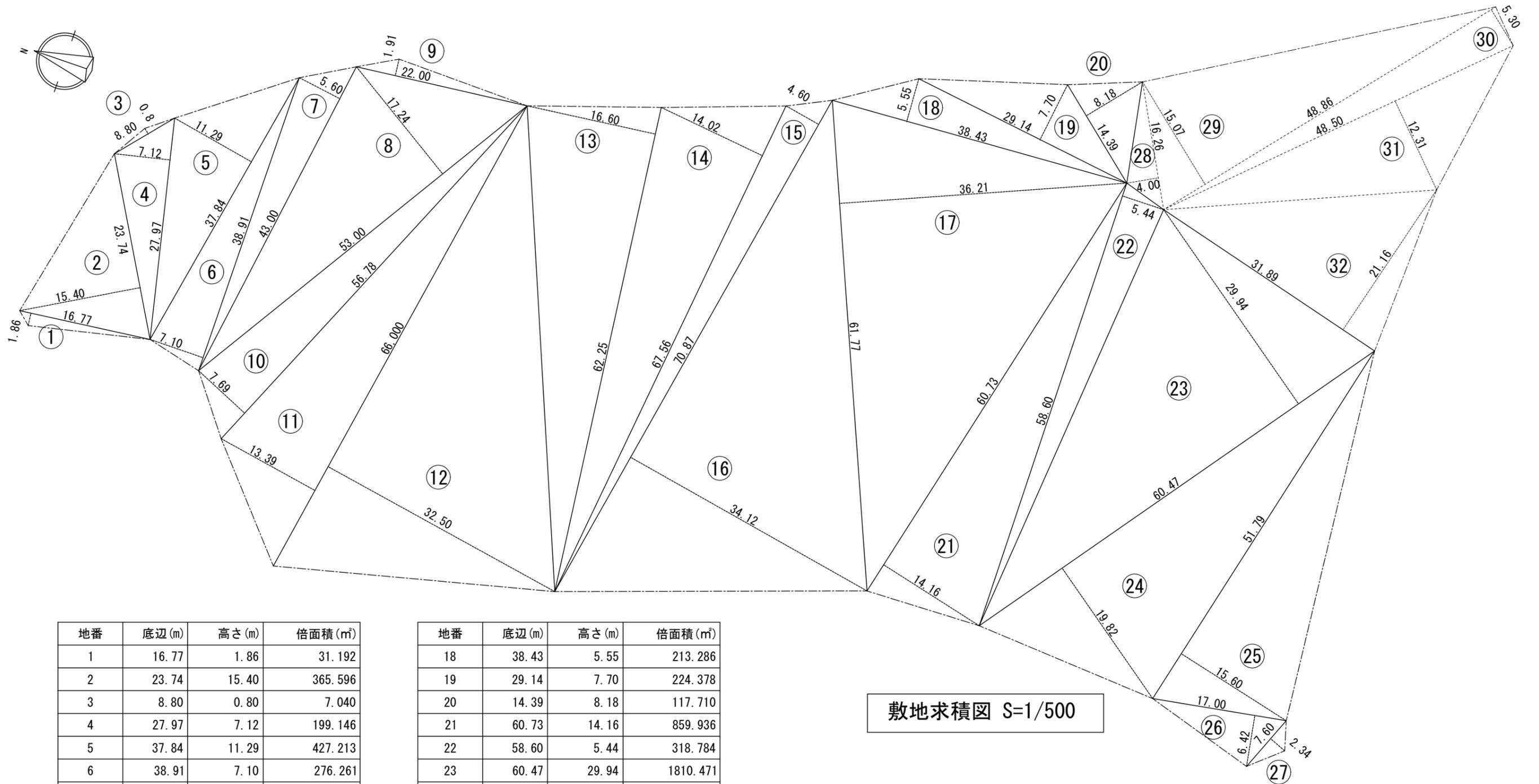
年月日		令和6年 3月	縮尺	NON SCALE	工事名	旭小学校仮設校舎設置その他工事				
設 計 者					図面名称	工事概要・案内図				
有限会社 小倉一級建築士事務所 一級建築士登録 第254463号 小倉 宏志					施設番号	棟番号	完成年度	図面種類	図面枚数	図面番号
										A-02

建物概要		各部仕様										その他建築物認定番号					
タイプ	アルティアブリモ	・本仕様の中で選択式の項目は、■を採用して □は採用しない。										部位		計画仕様		認定番号など	
工事種別	新築	屋根	形状	ハゼ式折板二重葺き H=80~91			種	軒樋	塩ビ製 ■前上り135型 □前上り165型			外壁	計画仕様		認定番号など		
主要用途	事務所		材料	上葺き材：塗装ガルバリウム鋼板 (■t=0.6 □t=0.8) 裏貼り □有(オレフィン樹脂系フォームt=4) ■無				縦樋	カラーVU ■75φ □100φ				窯業系サイディング				
構造	鉄骨造		下葺き材：ガルバリウム鋼板素地 (■t=0.6 □t=0.8) 裏貼り □有(オレフィン樹脂系フォームt=4) ■無	小屋裏換気口	□有(アルミ製深型ベンドキャップ150φ防虫網、水切付) ■無			樋受金物	■SUS製 □アルミ製			□A仕様	折板葺き+ポリエチレンフォームt=4		NM-8697		
階数	2階		外壁	断熱材	グラスウール10kg/m3 t=100			玄関ポーチ	屋根	□ハゼ式折板 t=0.6 H=80~91 □塗膜防水			■B仕様	折板二十葺き+ガラスウールt=100		H12告示第1400号 NM-8697	
耐火建築物種別	□耐火建築物 ■準耐火建築物(ロー2)法27条、法61条 □準耐火建築物(ロー2)任意 □その他建築物			タイトフレーム	垂鉛めつき鋼板t=2.3 (■ビス止め □溶接)				軒天井	ケイカル板t=6.0 EPG(下地:LGS)							
防火対象物種別	消防法施行令 別表第一(7)項			鼻隠し	□有(塗装ガルバリウム鋼板 H=450 既製品) ■無				床	磁器質タイル100×100							
特殊建築物種別	建築基準法 別表第一( )			ケラバ包み	□有(塗装ガルバリウム鋼板 □t=0.6 □t=1.5) ■無				幕板	窯業系サイディングt=16 H=678 笠木:アルミ製既製品							
基礎種別	■直接基礎 □杭基礎			軒裏	折板裏面表し (裏貼材なし)				柱	鉄骨表し(ウレタン樹脂塗装)							
最高高さ	7.845 m			小屋裏断熱材	GWt=50(24kg/m3)				樋	内樋:耐酸被覆鋼板t=0.4 縦樋:カラーVU65(無塗装)							
軒高	6.985 m			材料	窯業系サイディングt=16(タテ張り)				躯体	鋼製							
		仕上		アクリル樹脂エマルジョン塗装(工場塗装品)			床下地		■コンクリートt=40								
		工法等		透湿防水シート張り、金物留めパネル工法			手摺		□アルミ製塩ビ被覆 □木製 □無								
		シーリング		■変成シリコンシーリング(窯業系外壁材専用品) □変成シリコンシーリング(窯業系外壁材専用品 高耐候性タイプ)			躯体		鋼製								
		笠木	■有(アルミ既製品) □無			床材	チェッカープレート t=4.5										
		開口部	窓	アルミサッシ引違い窓			上屋	□有( ) ■無			防火区画壁・防火上主要な間仕切壁(耐火構造・準耐火構造)認定番号						
			出入口	アルミサッシ引違い扉 アルミサッシ外開き扉 スチール両開きドア			仕上	■溶融亜鉛めつき素地 □ウレタン樹脂塗装									
		外部巾木	コンクリート打放し補修 目地シーリング			庇1	仕様・寸法	片持式アルミ製既製品 D=1000(Dは壁面からの寸法) □AD-1 □AD-2-2 ■AD-R □AF-95 □AF-72 □その他( )			部位	要求条件		計画仕様	認定番号など		
		スロープ	□有 ■無	躯体	□コンクリート		先端仕様	■化粧樋 □化粧材(樋なし) □フロントカバー			間仕切壁	■A仕様	準耐火構造45分	GB-R12.5+9.5 両面貼	H12建告第1358号		
		タラップ	□有 ■無	手摺	□SUS製 □鋼製(ウレタン樹脂塗装)	材質・寸法	鋼製 D=〇〇〇			□B仕様		準耐火構造60分	GB-R12.5+12.5 両面貼	R1告示第195号			
			ビット	□有 ■無	材質	□SUS製 □アルミ製	屋根	□ハゼ式折板 t=0.6 H=80~91 □塗膜防水仕上			□C仕様	耐火構造60分	GB-F12.5+12.5 両面貼	FP060NP-0174			
		□塗膜防水		タラップ	□SUS □鋳鉄製	釜場(〇〇×〇〇)	軒天井	□鉄骨表し(溶融亜鉛めつき素地) □ケイカル板t=6 EPG			□D仕様	耐火構造60分	目透かし幅3×12.5(標準3mm)目透かし部にナイロン目地フィルム挿入(一部UV処理)	GB-F12.5+12.5 両面貼(目地入り)	FP060NP-0289		
						エレベーター	□有 ■無 (□6人乗 □9人乗 □11人乗 □13人乗)			□E仕様	耐火構造60分	GB-F21+21 片面貼	FP060NP-0007				
						小荷物昇降機	□有 ■無			外壁の折り返し部 (スバンドレル部)	□A仕様	準耐火構造45分	窯業系サイディング+室内側GB-R t=12.5+9.5以上(外壁網線間450以下)	QF045BE-9226			
						仕様	□テーブル型 □フロア型				□B仕様	耐火構造60分	塗装めつき鋼板+ロックウール吹付t=30	FP060NE-9305			

内部仕上表

階	室名	床高	天井高さ	床					壁(外壁側)					壁(間仕切壁)					天井			備考
				下地	仕上	下地	仕上	巾木	GW	下地	仕上	巾木	GW	下地	仕上	廻縁						
1階	図工室	FL±0	2700	土間コンクリート	長尺塩ビシートt=2 手洗い前のみ長尺塩ビシートt=2(防滑性)	LGS+GB-R12.5	EP-G	VB	■	LGS+GB-F15.0	EP-G	VB	□	LGS	GB-NC9.5	塩ビ製						
	準備室	FL±0	2700	土間コンクリート	長尺塩ビシートt=2	LGS+GB-R12.5	EP-G	VB	■	LGS+GB-F15.0	EP-G	VB	□	LGS	GB-NC9.5	塩ビ製						
	倉庫	FL±0	2700	土間コンクリート	長尺塩ビシートt=2	LGS+GB-R12.5	EP-G	VB	■	LGS+GB-R12.5	EP-G	VB	□	LGS	GB-D9.5	塩ビ製						
	男子WC	FL±0	2700	土間コンクリート	長尺塩ビシートt=2(防滑性)	-	-	VB	■	LGS+GB-R12.5	ケイカル板6 目透し張り+EP	VB	■	LGS	GB-D9.5	塩ビ製						
	女子WC	FL±0	2700	土間コンクリート	長尺塩ビシートt=2(防滑性)	LGS+GB-R12.5	ケイカル板6 目透し張り+EP	VB	■	LGS+GB-R12.5	ケイカル板6 目透し張り+EP	VB	■	LGS	GB-D9.5	塩ビ製						
	廊下	FL±0	2700	土間コンクリート	長尺塩ビシートt=2	LGS+GB-R12.5	EP-G	VB	■	一般部:LGS+GB-R12.5 114条区画:LGS+GB-F15.0	EP-G	VB	□	LGS	GB-D9.5	塩ビ製						
2階	階段下倉庫	FL±0	-	土間コンクリート	長尺塩ビシートt=2	LGS+GB-R12.5	EP-G	VB	■	LGS+GB-R12.5	EP-G	VB	□	-	-	-						
	一般教室(CR)	FL±0	2700	コンクリート	長尺塩ビシートt=2	LGS+GB-R12.5	EP-G	VB	■	LGS+GB-F15.0	EP-G	VB	□	LGS	GB-NC9.5	塩ビ製						
	会議室1	FL±0	2700	コンクリート	長尺塩ビシートt=2	LGS+GB-R12.5	EP-G	VB	■	LGS+GB-R12.5	EP-G	VB	□	LGS	GB-NC9.5	塩ビ製						
	会議室2・3	FL±0	2700	コンクリート	長尺塩ビシートt=2	LGS+GB-R12.5	EP-G	VB	■	一般部:LGS+GB-R12.5 114条区画:LGS+GB-F15.0	EP-G	VB	□	LGS	GB-NC9.5	塩ビ製	可動式パーテーション					
共通	階段室	-	-	長尺塩ビシートt=2	LGS+GB-R12.5	EP-G	VB	■	LGS+GB-R12.5	EP-G	VB	□	LGS	GB-D9.5	塩ビ製							

内部仕上の略号・種類・認定番号(参考)						複合下地の略号・種類・認定番号			共通事項		
略号	種類	認定番号	略号	種類	認定番号	略号	種類	認定番号	略号	種類	認定番号
GB-R9.5	せっこうボード	QM-9828	GB-NC9.5(壁)	不燃積層せっこうボード	NM-0441	VB	ビニル巾木		A	不陸調整合板t=4	<b>共通事項</b> 1: GW: リースは10kg/m3、売却は24kg/m3品とする。 2: 内装仕上は、全てF☆☆☆☆又は告示対象外材料にて施工する。 よって、使用面積(令第20条の7)の制限を受けない。 3: 天井等は、全てF☆☆☆☆又は告示対象外材料にて施工する。 4: 石綿及びクロロピリホスは使用しない。 5: ライニング壁下地は、GB二重貼り使用の場合は片側をコンパネとしてよい。 6: 間仕切壁にGWを入れる場合は、天井まで充填とする。 (1F又は2Fの天井のみ) 7: 天井仕上で一般と異なる重量のある天井下地は強度計算書を提出する。 8: 「石膏ボード、仕上げ材のひび割れ対策について」に従って所定の目地を入れること。 9: 石膏ボードを二重貼りとする場合で売却物件かつ長さが20mを超える壁面には目地を設けること。
GB-R12.5・15	せっこうボード	NM-8619	GB-P9.5	吸音用あなきせっこうボード	QM-9827	WB	木製巾木			不陸調整合板t=4	
GB-F12.5・15・21	強化せっこうボード	NM-8615	GB-H9.5・12.5・15	硬質せっこうボード	NM-9645	GW	ガラスウール		不陸調整合板t=4 (木製根太+コンパネt=12)		
GB-D9.5(壁)	化粧せっこうボード	QM-9824	DR9・12	ロックウール化粧吸音板	NM-8599				コンパネt=12		
GB-D12.5(壁)	化粧せっこうボード	NM-0128	ケイカル板	けい酸カルシウム板	NM-8578(≥t=5)	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り		+ポリスチレンフォームt=20		
GB-S9.5・12.5	シーリングせっこうボード(準不燃)	QM-0898	化粧ケイカル板	化粧けい酸カルシウム板	NM-8579(≥t=6)	EP	合成樹脂調合エマルジョンペイント塗り		+デッキプレート		
GB-NS12.5	シーリングせっこうボード(不燃)	NM-9639	ビニルクロス	ビニルクロス	QM-9405	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り		H12建告第1400号		
GB-D9.5(天井)	化粧せっこうボード	QM-0524	ビニルクロス(不燃)	不燃壁紙	NM-9899	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り		デッキ用床パネル(木製根太+ コンパネt=12+不陸調整合板t=4)		
GB-NC9.5(天井)	不燃積層せっこうボード	NM-1864	SOP・EPなど	塗装	NM-8585				+デッキプレート		

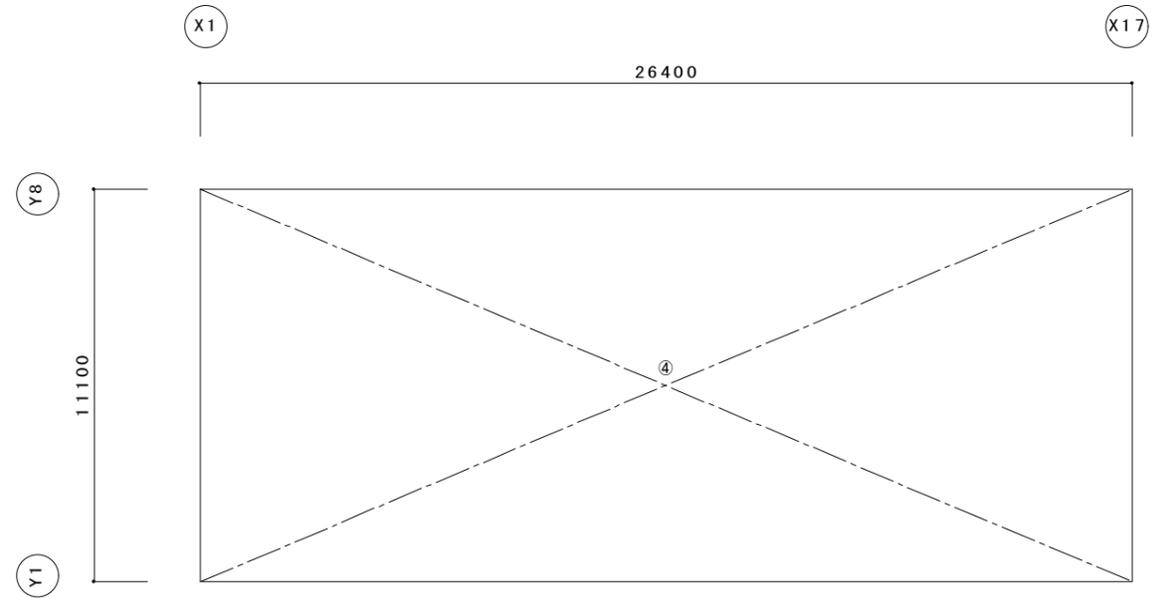


敷地求積図 S=1/500

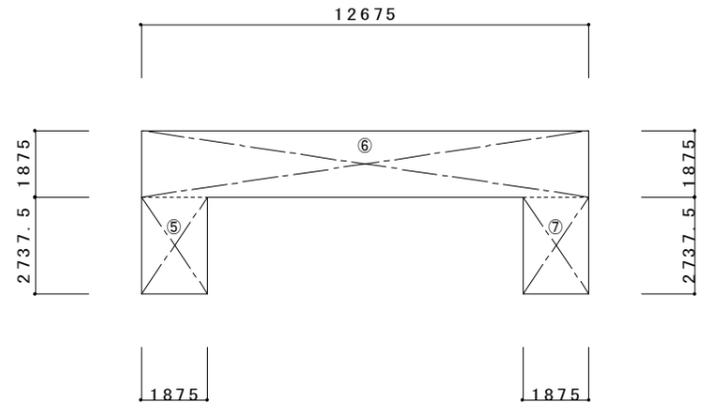
小数点第3位以降切り捨て  
敷地面積 10,469.87 m<sup>2</sup>

地番	底辺(m)	高さ(m)	倍面積(m <sup>2</sup> )
1	16.77	1.86	31.192
2	23.74	15.40	365.596
3	8.80	0.80	7.040
4	27.97	7.12	199.146
5	37.84	11.29	427.213
6	38.91	7.10	276.261
7	43.00	5.60	240.800
8	53.00	17.24	913.720
9	22.00	1.91	42.020
10	56.78	7.69	436.638
11	66.00	13.39	883.740
12	66.00	32.50	2145.000
13	62.25	16.60	1033.350
14	67.56	14.02	947.191
15	70.87	4.60	326.002
16	70.87	34.12	2418.084
17	61.77	36.21	2236.691

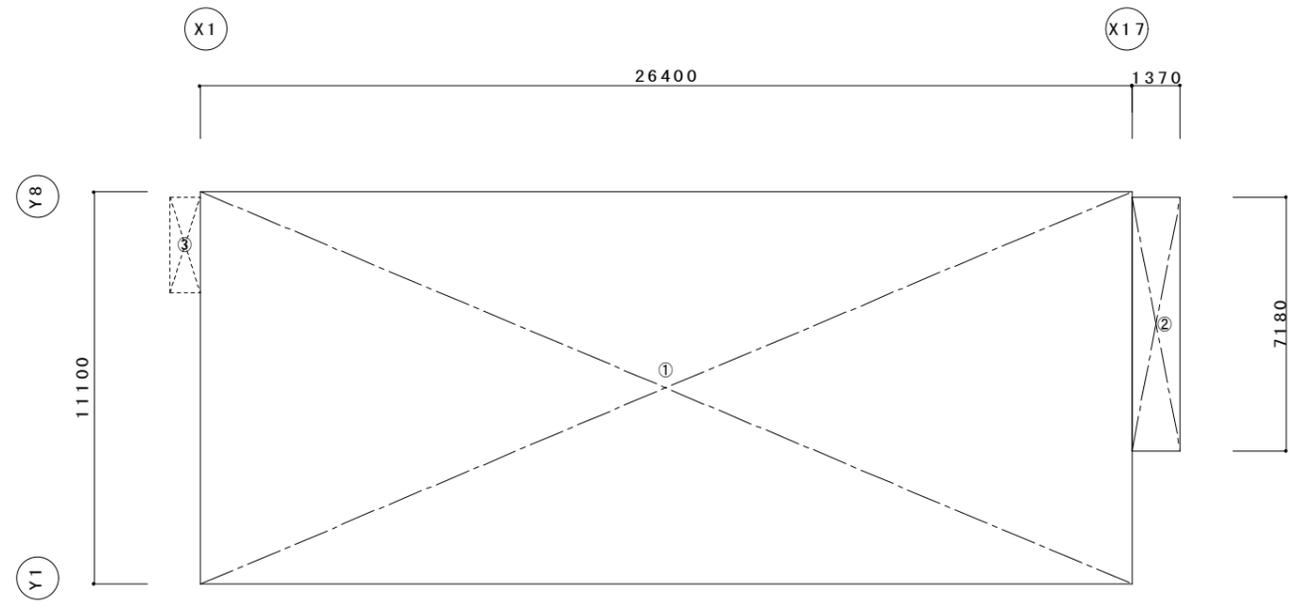
地番	底辺(m)	高さ(m)	倍面積(m <sup>2</sup> )
18	38.43	5.55	213.286
19	29.14	7.70	224.378
20	14.39	8.18	117.710
21	60.73	14.16	859.936
22	58.60	5.44	318.784
23	60.47	29.94	1810.471
24	60.47	19.82	1198.515
25	51.79	15.60	807.924
26	17.00	6.42	109.140
27	7.60	2.34	17.784
28	16.26	4.00	65.040
29	48.86	15.07	736.320
30	48.86	5.30	258.958
31	48.50	12.31	597.035
32	31.89	21.16	674.792
倍面積合計			20939.758
面積			10,469.878



2階求積図 S: 1/100

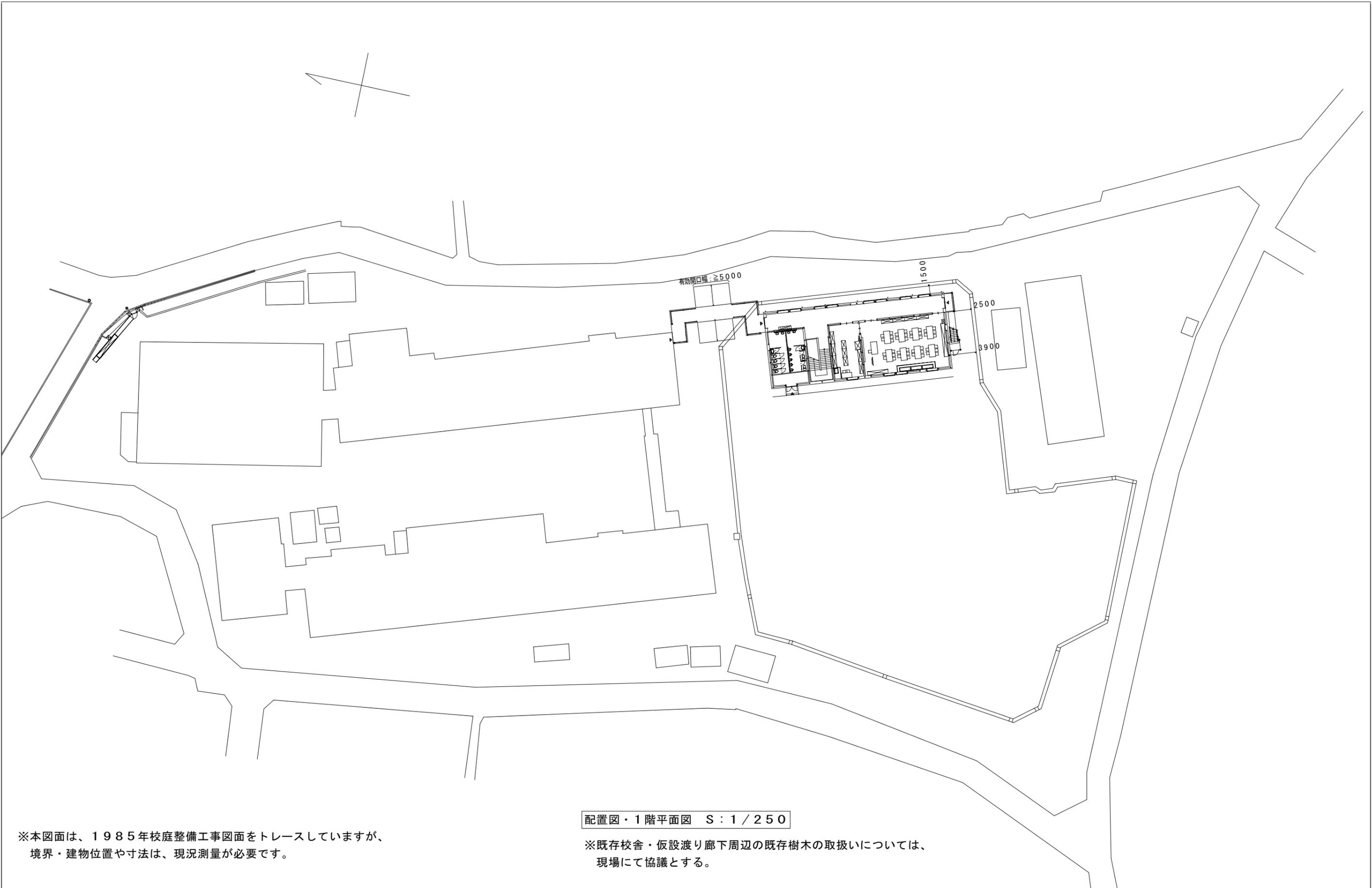


渡り廊下 求積図 S: 1/100



1階求積図 S: 1/100

仮設校舎棟					
建築面積					
①: 建物	26.400	x	11.100		293.040
②: 外部階段	1.370	x	7.180		9.836
③: 庇		x			0.000
					302.876
延べ床面積					
①: 建物	26.400	x	11.100		293.040
④: 建物	26.400	x	11.100		293.040
					586.080
渡り廊下棟					
建築面積					
⑤: 渡り廊下	1.875	x	2.7375		5.132
⑥: 渡り廊下	12.675	x	1.8750		23.765
⑦: 渡り廊下	1.875	x	2.7375		5.132
					34.029
延べ床面積					
開放廊下の為、延べ床面積は0.00㎡とする。					

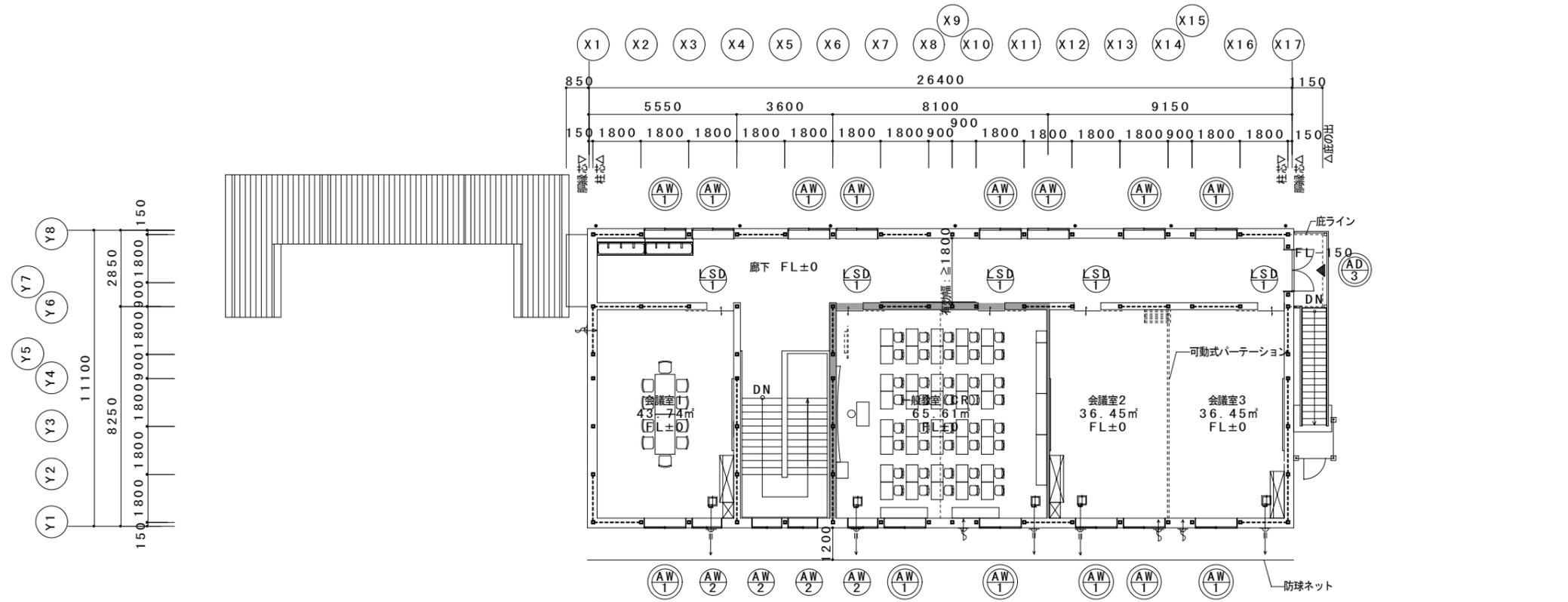


配置図・1階平面図 S : 1 / 250

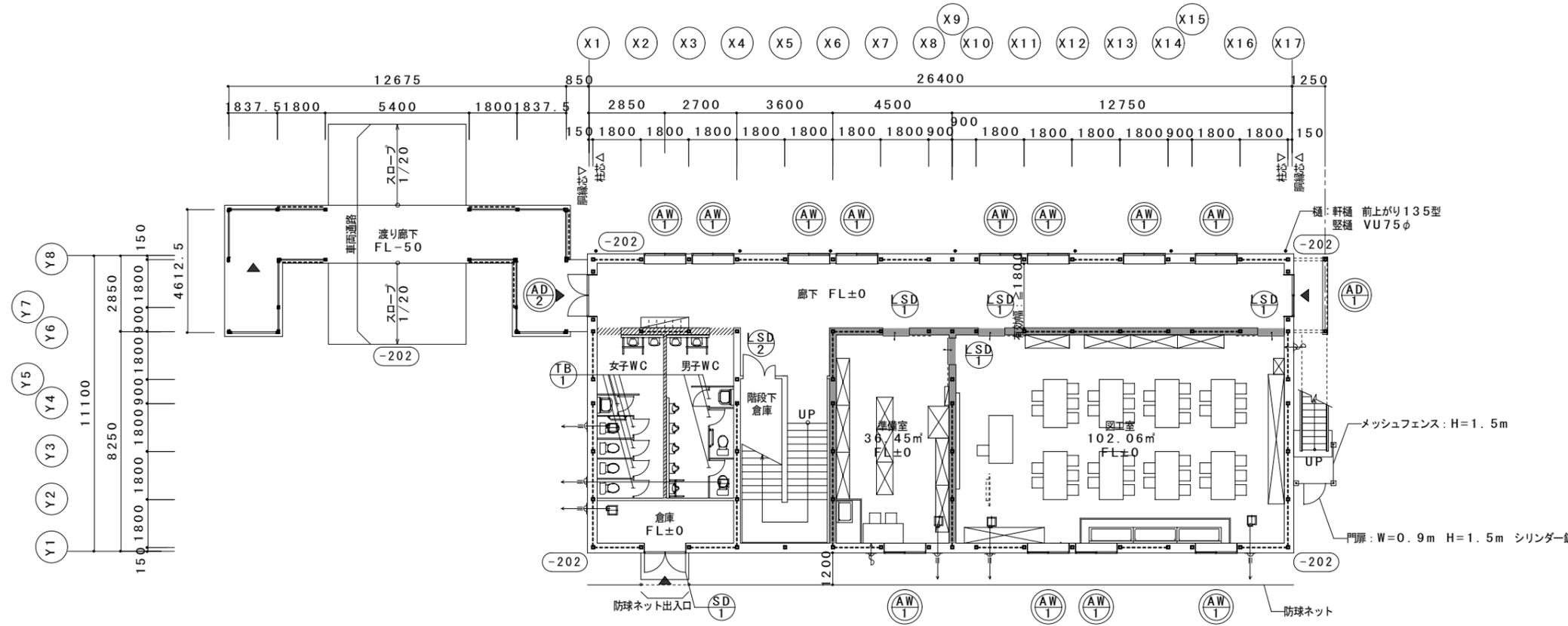
※本図面は、1985年校庭整備工事図面をトレースしていますが、境界・建物位置や寸法は、現況測量が必要です。

※既存校舎・仮設渡り廊下周辺の既存樹木の取扱いについては、現場にて協議とする。

横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	令和 6年 3月	縮尺	1/250	図面名称	配置図・1階平面図
			A3(1/250)	施設番号	
		設計者		棟番号	
		有限会社 小倉一級建築士事務所		図面枚数	
		一級建築士登録 第 254463 号 小倉 宏志		図面番号	A-06



2階平面図 S: 1/100



1階平面図 S: 1/100

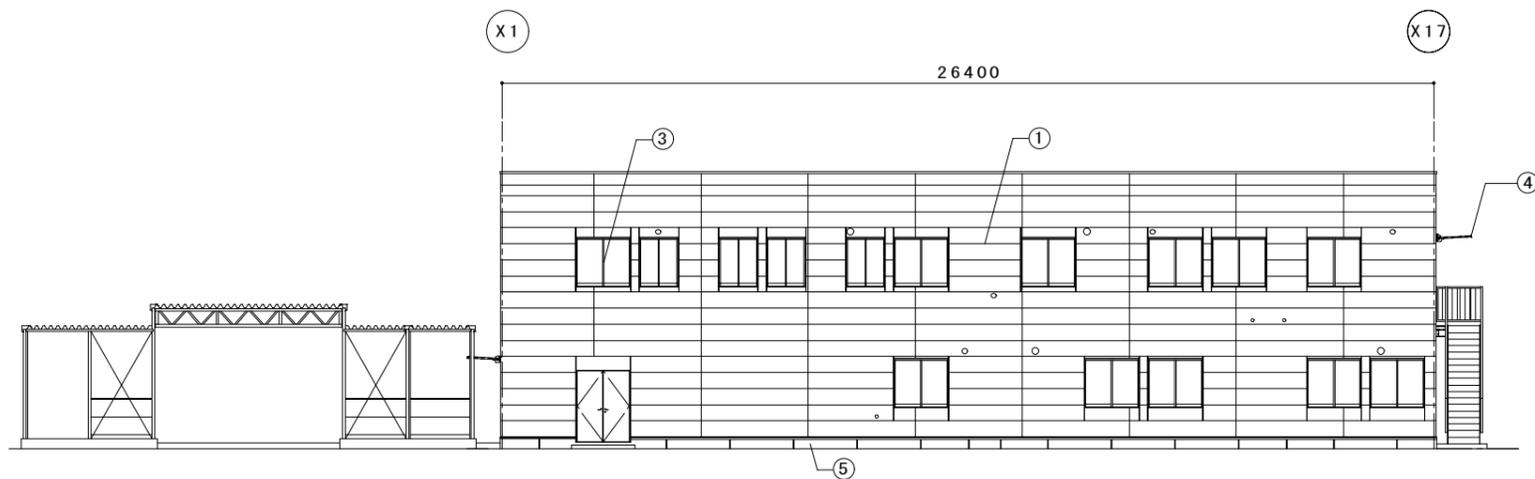
凡例

-----	壁ブレースを示す
▲	外部出入口を示す
⊖	消火活動上有効開口部
////	遮音壁 (内部グラスウール24kg/m <sup>3</sup> t=50) を示す
■	防火上主要な間仕切壁を示す (令114条区画) 仕様: GB-F15.0 両面貼
備考	
○○○○	FLからの高さを示す
☐	天井換気扇を示す
→	排気 ベントキャップを示す
←	給気 ベントキャップを示す
☐	天井換気扇を示す
→	排気 ベントキャップを示す
←	給気 ベントキャップを示す

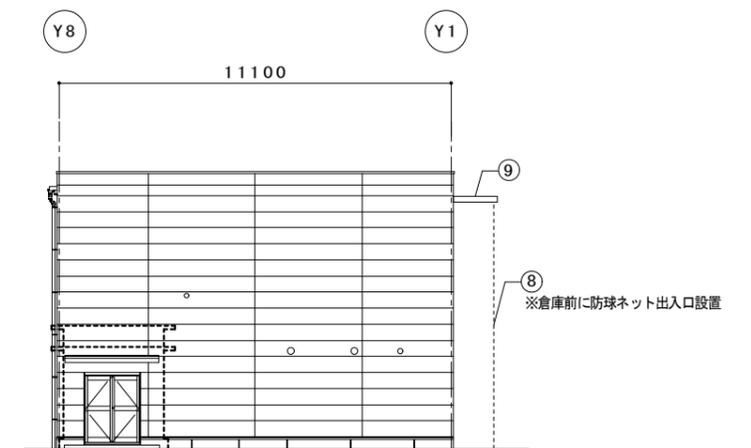
横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設校舎設置その他工事
年月日	令和6年3月	縮尺	1/100 A3(1/200)
図面名称	1階平面図・2階平面図		
設計者	有限会社 小倉一級建築士事務所	図面枚数	1
図面番号	A-07	図面枚数	1

■外部仕上表

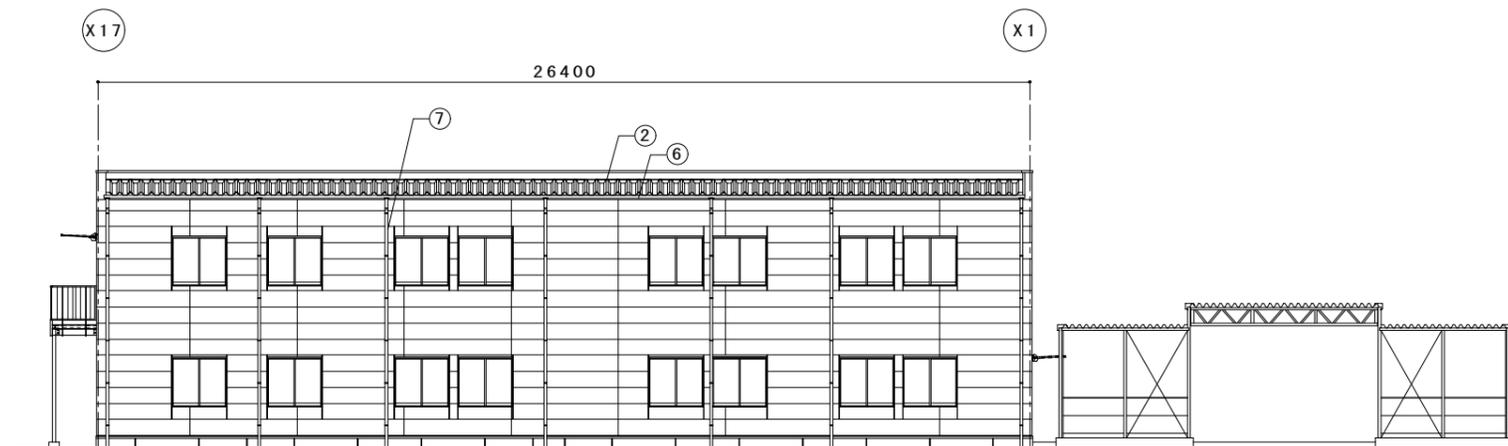
①	外壁	窯業系サイディングt=16 (木目調)
②	屋根	ガルバリウム鋼板
③	サッシ	アルミサッシ
④	庇	鋼製
⑤	外部巾木	コンクリート打放し補修
⑥	軒樋	塩ビ製 前上り135型
⑦	縦樋	カラーVU 75φ
⑧	防球ネット	ネット ※倉庫前に防球ネット出入口設置
⑨	防球ネット取付下地	鋼製



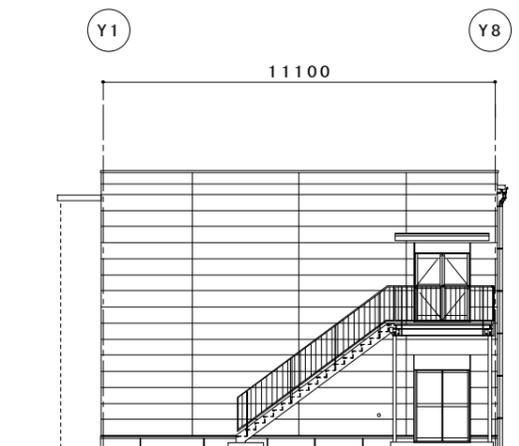
Y1通り立面図 S=1/100



X1通り立面図 S=1/100

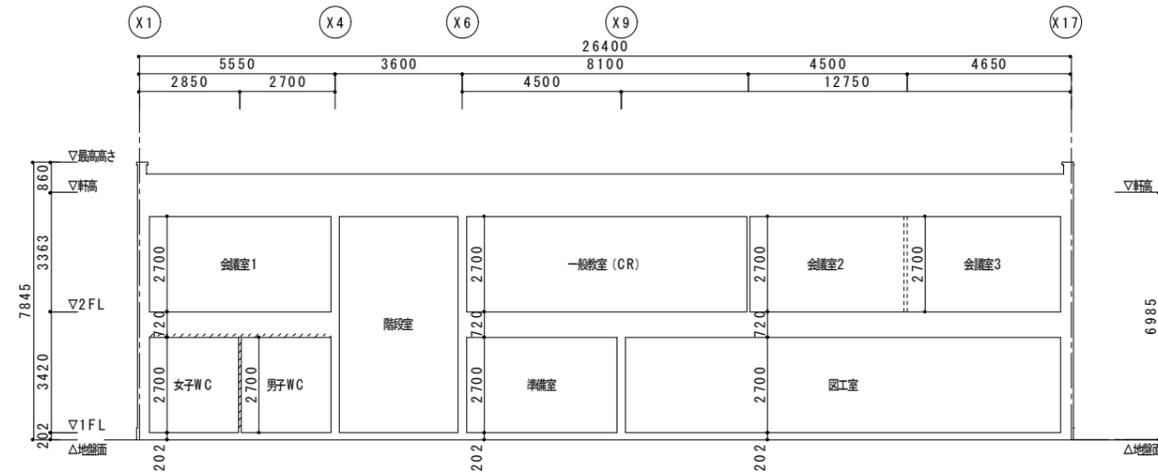


Y8通り立面図 S=1/100

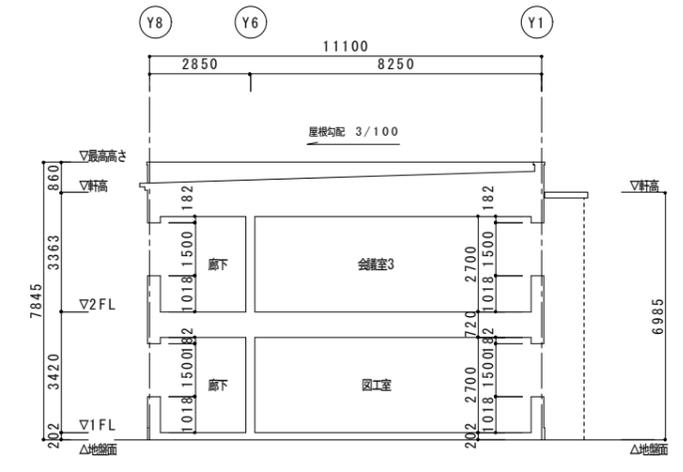


X17通り立面図 S=1/100

凡例	
	遮音壁 (内部ガラスウール24kg/m3 t=50) を示す
備考	



A-A断面図 S:1/100



B-B断面図 S:1/100

横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設校舎設置その他工事	
年月日	令和6年3月	縮尺	1/100	断面図
設計者		図面名称	断面図	
有限会社 小倉一級建築士事務所		図面番号	A-09	
一級建築士登録 第254463号 小倉 宏志		図面枚数		

建具工事共通事項		各種建具の共通事項		標準建具金物				寸法の規定		枠の形状(参考)		杏摺の形状(参考)		ガラリの形状(参考)					
一般事項		各種建具の共通事項		形式		支持金物		締り金物		その他金物		・ドア		・窓(引違い)		・ガラリ		・窓(開き)	
<p>1 建具工事に該当する範囲は建具キープランに明示する。造作家具を除くものとする。</p> <p>2 扉は、指定の無い限り両面フラッシュとする。</p> <p>3 握玉、レバーハンドルの高さは、建具表に記載の無い場合FL+1000とする。</p> <p>4 引手、押板の高さは、建具表に記載の無い場合FL+1100とする。</p> <p>5 排煙用オペレーターの高さは、建具表に記載の無い場合FL+1500以下とする。</p> <p>6 建具操作の信号および電源の配線、配管、接続工事は設備工事とし、その他は建具工事とする。</p> <p>7 扉の開き勝手、扉の位置は平面図、建具キープラン、平面詳細図等による。</p> <p>8 各扉の丁番は、特記無き場合ステンレス製とし、鋼製建具の場合は旗丁番127mm×3枚吊りとする。</p> <p>9 ドアクローザ(DC)は、特記無き場合、露出型ヒューズ無しとする。また、取付け面についても特記無き場合、建具表に記載の室名側に取付ける。</p> <p>10 枠およびドアガラリの材質仕上は、特記無き場合、扉と同材とする。</p> <p>11 親子扉および両開き扉のドアクローザ(DC)は、特記無き場合、片側設置(防火戸を除く)とする。</p> <p>12 防火戸に取り付け、フロアヒンジ・オートヒンジ・ドアクローザ(DC)は、ストッパーなしとする。</p> <p>13 両開きおよび親子開きの防火戸は、順位調整器付きとする。</p> <p>14 キーシステムは下記による。</p> <p>○グランドマスターキー (GMK) 本/組 ○同一キー 本/組 ○マスターキー (MK) 3本/組 ○マスターキーなし</p> <p>15 記載の無い事項については、システム特記仕様書による。</p>		<p>■ 鋼製建具</p> <p>1 建具表に記載の無い場合、扉の厚さは以下のように定める。(A:扉面積㎡)</p> <p>40mm(A≤2.5㎡)、45mm(2.5㎡&lt;A≤3.5㎡)、50mm(3.5㎡&lt;A≤5㎡)、60mm(A&gt;5㎡)</p> <p>2 枠材厚さは、外部廻りt2.3、内部はt1.6とし、扉のフラッシュ板はt1.6とする。</p> <p>■ 鋼製軽量建具</p> <p>1 鋼製軽量扉は、扉厚40mmベーパーハニカム芯、両面鋼板t0.6とする。</p> <p>■ 木製建具</p> <p>1 建具表に記載の無い場合、扉厚さは36mmとする。</p>		<p>高・親子開き戸</p> <p>片開き戸</p> <p>片引き戸</p> <p>引違い窓</p> <p>引違い戸</p> <p>たてすり出し窓</p> <p>内開き・片開き窓</p> <p>内倒し・外倒し窓</p> <p>外倒し・突出し窓(排煙窓)</p> <p>ガラリ</p>		<p>H</p> <p>H</p> <p>ドアハンガー・付属金物</p> <p>戸車・レール</p> <p>戸車・レール</p> <p>フリクションステー</p> <p>H</p> <p>H</p> <p>H</p> <p>-</p> <p>-</p>		<p>LL</p> <p>LL</p> <p>シリンダー引き戸錠</p> <p>クレセント(または引き寄せハンドル)</p> <p>引き戸錠</p> <p>カムラッチハンドル</p> <p>カムラッチハンドル</p> <p>トップラッチ</p> <p>-</p> <p>-</p>		<p>戸当たり、DC、フランス落とし</p> <p>戸当たり、DC</p> <p>引き手</p> <p>引き手</p> <p>引き手</p> <p>アームストッパー(おとり止め)</p> <p>アーム</p> <p>ステアダンパー・オペレーター</p> <p>フラッシングまたは合フランジとする</p>		<p>・A1</p> <p>・A1G</p> <p>・A2</p> <p>・A2G</p> <p>・C</p> <p>・D(常閉扉)</p>		<p>・B1</p> <p>・B1G</p> <p>・B2</p> <p>・B2G</p> <p>・D(常閉扉)</p>		<p>・A(なし)</p> <p>・B</p> <p>・C</p> <p>・D</p> <p>・E(屋外用)</p> <p>・F(段差用)</p> <p>・G(点検扉)</p>		<p>・A</p> <p>・B</p> <p>・C</p> <p>・D</p> <p>アンダーカット</p> <p>・有効開口率は備考欄に記入 ・ダンパー付は形状欄に記入 (FD 防火ダンパー付) (SFD 煙感知器連動防火ダンパー付)</p>	
建具の種類と符号		ガラスの種類と符号		仕上の種類と符号				錠、金物等の種類と符号				法規制の種類と符号							
SD 鋼製扉	PW 樹脂製窓	SS 鋼製シャッター	FL フロート板ガラス	L 合せガラス	A1 陽極酸化塗装複合被膜A1種	AE アクリル樹脂エナメル	DL 本締錠	GL グレモン錠	H 丁番	特	特定防火設備(常時閉鎖式)令112条第19項第1号	防	防火設備(常時閉鎖式)令112条第19項第1号						
LSD 鋼製軽量扉	SG 鋼製ガラリ	AS アルミ製シャッター	F 型板ガラス	T 強化ガラス	A2 陽極酸化塗装複合被膜A2種	CL クリアラッカー	LL レバーハンドル錠	EL 非常用錠	FH フロアヒンジ	特	特定防火設備(常時閉鎖式)令112条第19項第2号(遅延性能)	防	防火設備(常時閉鎖式)令112条第19項第2号(遅延性能)						
SSD ステンレス製扉	SSG ステンレス製ガラリ	SIW スライディングウォール	FWG 網入型板ガラス	LoE Low-Eガラス	HL ヘアライン	OS オイルステン	ML モノロック	(非常開装置付本締錠)	PH ピボットヒンジ	特	特定防火設備(随時閉鎖式・煙感連動式・遅延性能)	防	防火設備(随時閉鎖式)令112条第19項第2号(遅延性能)						
AD アルミ製扉	AG アルミ製ガラリ	P パーティション	PWG 網入磨き板ガラス	A 複層ガラス空気層	2-UE 2液形ポリウレタンエナメル	FS 化粧フィルムシート貼	DML 本締錠付モノロック	E 電気錠	LH ラバトリーヒンジ	特	法第2条第9号の2ロに規定する防火設備	不	不燃扉(常時閉鎖式)						
WD 木製扉	WG 木製ガラリ	F 三方枠	HG 熱線吸収ガラス	AL アルミハネル無垢	SOP 合成樹脂調合ペイント	PPW ポリエステル化粧合板	C ケースハンドル	DHL 表示錠	GH グレビティヒンジ	特		不							
AW アルミ製窓	PG 合成樹脂ガラリ	TB トイレブース	RG 熱線反射ガラス	AP アルミサンドイッチハネル	FE フタル酸樹脂エナメル	MPW メラミン化粧合板	CH ケースハンドル錠	SL 空錠	DC ドアクローザ	特		不							
符号	取付場所	法規制	AW1 1F 準備室、図工室、廊下 2F 会議室1・2・3、廊下 一般教室(CR)	-	AW2 1F 会議室1、階段室 2F 一般教室(CR)	-	AW3 1F 廊下 2F -	-	SD1 1F 倉庫 2F -	-	AW1	AW2	AW3	SD1					
数量	形式	26	引違い窓	4	引違い窓														
姿図																			
仕上	見込	A1	70	A1	70														
ガラス種類	厚さ(mm)	T4		T4															
特記		戸車・レール・クレセント・引き手・網戸 開口制限ストッパー(2階のみ)		戸車・レール・クレセント・引き手・網戸 開口制限ストッパー(2階のみ)															
符号	取付場所	法規制	AD1 1F 廊下 2F -	-	AD2 1F 廊下 2F -	-	AD3 1F 廊下 2F -	-	SD1 1F 倉庫 2F -	-	AD1	AD2	AD3	SD1					
数量	形式	1	引違い戸	1	両開きドア	1	両開きドア	1	両開きドア										
姿図																			
仕上	見込	A1	70	A1	70	A1	70	焼付塗装	100										
ガラス種類	厚さ(mm)	PWG6.8		PWG6.8		PWG6.8		-											
特記		戸車・レール・引き戸錠・引き手		H・LL(外側:シリンダー・内側:サムターン) 戸当たり・DC・フランス落とし		H・LL(外側:シリンダー・内側:サムターン) 戸当たり・DC・フランス落とし・破壊錠		H、DC、LL(外側:シリンダー・内側:サムターン)											
符号	取付場所	法規制	LSD1 1F 準備室、図工室 2F 会議室1・2・3、 一般教室(CR)	-	LSD2 1F 階段下倉庫	-	TB1 1F 女子WC、男子WC 2F -	-			LSD1	LSD2	TB1						
数量	形式	9	片引き戸	1	親子開き戸		8	トイレブース											
姿図																			
仕上	見込	化粧鋼板 t=0.6		100	化粧鋼板 t=0.6	100	MPW	40											
ガラス種類	厚さ(mm)	T4(W500×H700)																	
特記		ドアハンガー・付属金物・引き手		H、DC、LL(外側:シリンダー・内側:サムターン)		GH・戸当たり・表示錠													

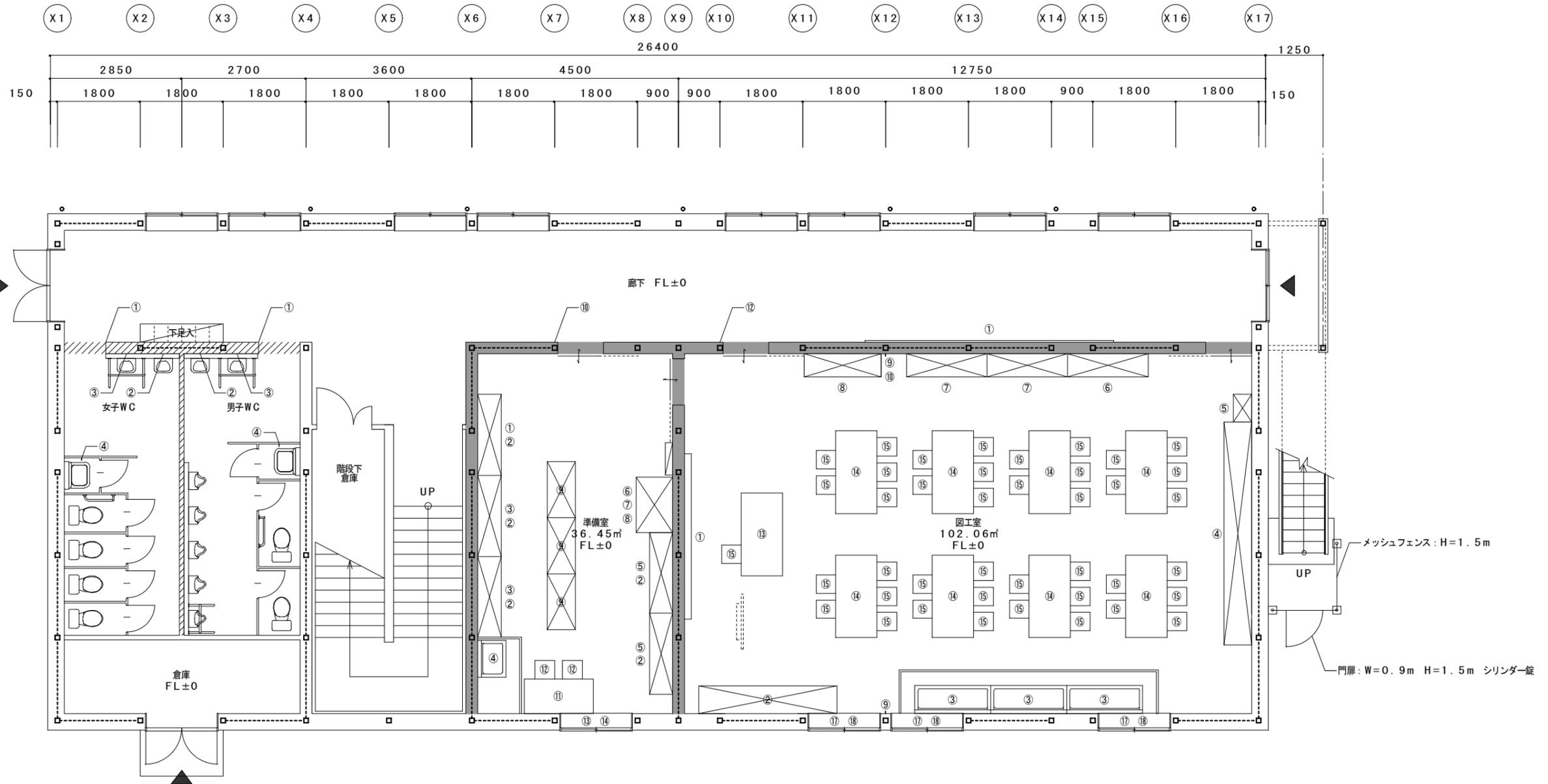
外部建具表											
建具符号		建具の種類と符号		ガラスの種類と符号		使用サッシ		・排煙計算が令126条の2を対象法令として行なわれている場合は引違い窓のクレセント及び出入口の開錠装置の高さは、床から1500mm以下とする。			
建具種類 AW 1 建具番号		SD 鋼製扉	SG 鋼製ガラリ	FL フロート板ガラス	T 強化ガラス	■ 標準サッシ	□ 高气密サッシ				
		AD アルミ製扉	AG アルミ製ガラリ	F 型板ガラス	FT 型板強化ガラス	□ 標準引違い戸	■ ビル用引違い戸				
		AW アルミ製窓	SS 鋼製シャッター	FWG 網入型板ガラス	AL アルミパネル無垢	□ 標準引開き戸	■ ビル用開き戸				
		PW 樹脂製窓		PWG 網入磨き板ガラス	AP アルミサンドイッチパネル						
符号	取付場所	AW 1		AW 2		AD 2		AD 1			
数量(ヶ所)	形式										
姿図											
仕上	見込(mm)	陽極酸化塗装複合被膜A1種		陽極酸化塗装複合被膜A1種		陽極酸化塗装複合被膜A1種		陽極酸化塗装複合被膜A1種			
ガラス種類	厚さ(mm)	T4		T4		PWG6.8		PWG6.8			
支持金物等		戸車 レール クレセント 引き手		戸車 レール クレセント 引き手		丁番 レバーハンドル錠 戸当たり ドアクローザ フランス落とし		戸車 レール 引き戸錠 引き手			
備考		網戸		網戸		-		-			

階数	室名	計算式	面積(m <sup>2</sup> )
1階	準備室	8.250×4.500	37.12
	図工室	8.250×12.750	105.18
2階	会議室1	8.250×5.550	45.78
	一般教室(CL)	8.250×8.100	66.82
	会議室2・3	8.250×9.150	75.48

建具	排煙有効面積(m <sup>2</sup> )	換気有効面積(m <sup>2</sup> )	採光有効面積(m <sup>2</sup> )	消防有効開口部(m <sup>2</sup> )
AW-1 S1	0.418×0.712 = 0.29	V1 1.300×0.712 = 0.92	L1 1.300×1.535 = 1.99	F1 1.300×0.712 = 0.92
AW-2 S2	0.418×0.485 = 0.20	V2 1.300×0.485 = 0.63	L2 1.300×1.080 = 1.40	
AD-1				F3 2.000×1.501 = 3.00
AD-2				F4 2.000×0.674 = 1.34

階数	室名	排煙計算 令126条の2第1項			換気計算 法28条2項 令20条の2			採光計算 法28条1項		
		必要面積(m <sup>2</sup> )	計画面積(m <sup>2</sup> )	判定	必要面積(m <sup>2</sup> )	計画面積(m <sup>2</sup> )	判定	必要面積(m <sup>2</sup> )	計画面積(m <sup>2</sup> )	判定
1階	準備室	A×1/50=0.74	建告 1436 号第 四 号二(4)を適用	-	A×1/20=1.85	機械換気設備設置	-	A×1/20=1.85	< (L1×1)×1.0 = 1.99	OK
	図工室	A×1/50=2.10	建告 1436 号第 四 号二(4)を適用	-	A×1/20=5.25	機械換気設備設置	-	A×1/5=21.03	非常用照明設置	-
2階	会議室1	A×1/50=0.91	建告 1436 号第 四 号二(4)を適用	-	A×1/20=2.28	機械換気設備設置	-	A×1/20=2.28	< (L1×1+L2×1)×1.0 = 3.39	OK
	一般教室(CL)	A×1/50=1.33	建告 1436 号第 四 号二(4)を適用	-	A×1/20=3.34	機械換気設備設置	-	A×1/5=13.36	非常用照明設置	-
	会議室2・3	A×1/50=1.50	建告 1436 号第 四 号二(4)を適用	-	A×1/20=3.77	機械換気設備設置	-	A×1/20=3.77	< (L1×3)×1.0 = 5.97	OK

階数	必要面積(m <sup>2</sup> )	計画面積(m <sup>2</sup> )	判定
1階	11.100×26.400/30 = 9.76	F1×12+F3×1+F4×1 = 15.38	普通階
2階	11.100×26.400/30 = 9.76	F1×14 = 11.22	普通階



■備品リスト

1階：【廊下】

備品	数	W×D×H
① 木製押縁掲示板	1	W5400×H1200

1階：【女子WC】

備品	数	W×D×H
① ピクトサイン	1	JIS規格
② 鏡	1	W300×H450
③ 鏡	1	W300×H900
④ 掃除用フック	1	

1階：【男子WC】

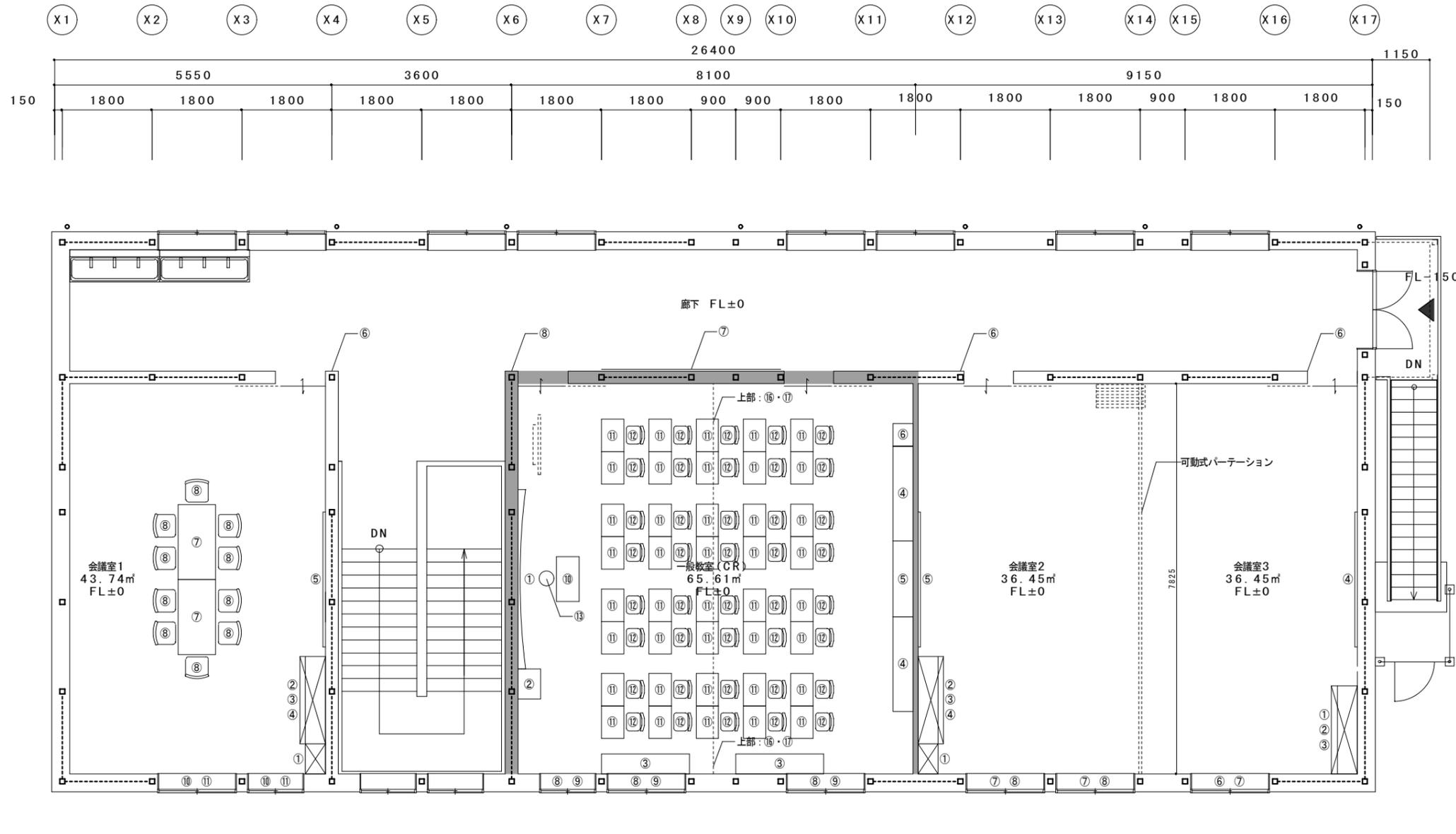
備品	数	W×D×H
① ピクトサイン	1	JIS規格
② 鏡	1	W300×H450
③ 鏡	1	W300×H900
④ 掃除用フック	1	

1階：【準備室】

備品	数	W×D×H	備品	数	W×D×H
① 整理引出キャビネット	1	W1760×D515×H980	⑨ 作業保管棚	3	W1220×D610×H1590
② 整理戸棚 (上段)	5	W1760×D515×H880	⑩ 室名札	1	持出しタイプ
③ 引出付整理戸棚	2	W1760×D515×H980	⑪ 会議テーブル	1	
④ 一掃流し	1	W800×D610×H700	⑫ 木製角椅子	2	
⑤ 整理戸棚 (下段)	2	W1760×D515×H980	⑬ カーテン	1	
⑥ 引出箱保管庫	1	W1200×D800×H980	⑭ カーテンレール	1	
⑦ 整理戸棚 (上段)	1	W1200×D515×H880			
⑧ 化粧天板	1				

1階：【図工室】

備品	数	W×D×H	備品	数	W×D×H
① 黒板	1	W3600×H1200	⑩ 姿見	1	W800×H1525
② 窓下作業台	1	W3000×D625×H670	⑪ ピクチャーレール	1	
③ 一掃流し	3	W1650×D610×H570	⑫ 室名札	1	持出しタイプ
④ 作業台	1	W4850×D625×H670	⑬ 教師用木工台	1	
⑤ 掃除用具入	1	W600×D400×H1700	⑭ 児童用木工台	8	
⑥ ショーケース	1	W1740×D500×H2040	⑮ 木製角椅子	41	
⑦ 展示棚	2	W1740×D500×H2040	⑯ テリ箱	2	
⑧ 収納戸棚	1	W1645×D500×H2040	⑰ カーテン	3	
⑨ ステンレスフック	2	9φ	⑱ カーテンレール	3	



■備品リスト

2階：【会議室1】

備品	数	W×D×H
① 掃除用具入	1	W600×D400×H1700
② 整理戸棚 (下段)	1	W1760×D515×H1120
③ 整理戸棚 (上段)	1	W1760×D400×H880
④ 化粧天板	1	
⑤ ホワイトボード	1	W2700×H900
⑥ 室名札	1	持出しタイプ
⑦ 会議テーブル	2	
⑧ 会議用椅子	10	
⑨ チリ箱	1	
⑩ カーテン	2	
⑪ カーテンレール	2	

2階：【一般教室 (CR)】

備品	数	W×D×H	備品	数	W×D×H
① 曲面黒板	1	W3600×H1200	⑫ 教師用丸椅子	1	
② 教師用戸棚	1	W600×D450×H2000	⑬ チリ箱	1	
③ 観察台	2	W1760×D400×H740	⑭ カーテン	3	
④ 児童用ロッカー	2	W1900×D400×H1350	⑮ カーテンレール	3	
⑤ 児童用ロッカー	1	W1525×D400×H1350	⑯ 更衣カーテン	1	
⑥ 掃除用具入	1	W450×D400×H1700	⑰ 更衣カーテンレール	1	
⑦ 外套掛	2	40人分			
⑧ 室名札	1	持出しタイプ			
⑨ 教卓	1				
⑩ 生徒用机	40				
⑪ 生徒用椅子	40				

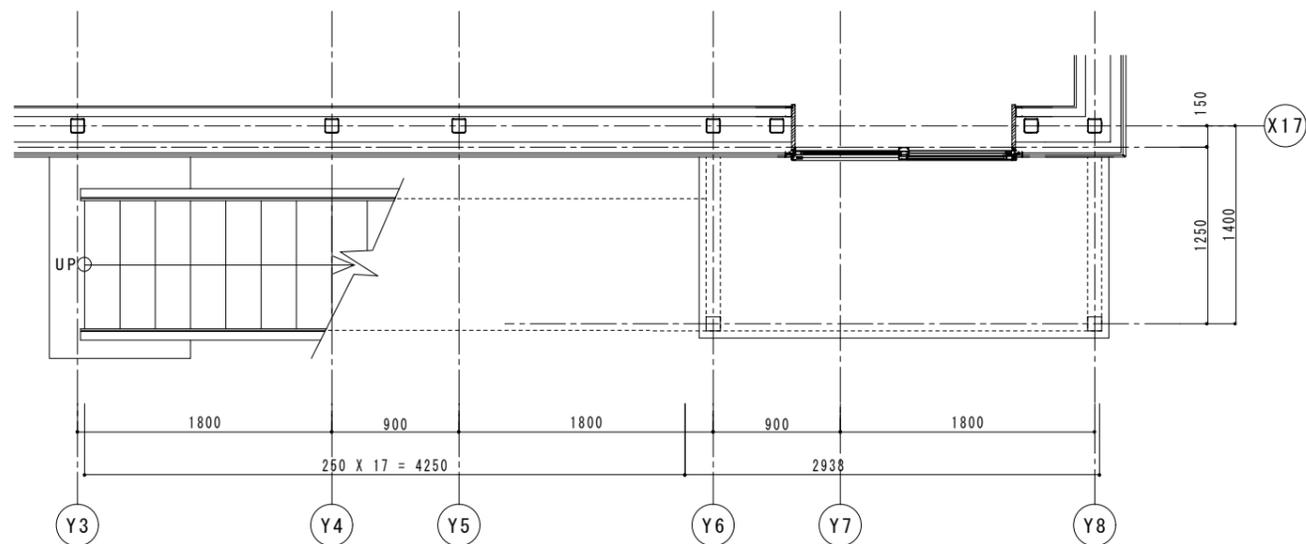
2階：【会議室2】

備品	数	W×D×H
① 掃除用具入	1	W600×D400×H1700
② 整理戸棚 (下段)	1	W1760×D515×H1120
③ 整理戸棚 (上段)	1	W1760×D400×H880
④ 化粧天板	1	
⑤ ホワイトボード	1	W2700×H900
⑥ 室名札	1	持出しタイプ
⑦ カーテン	2	
⑧ カーテンレール	2	

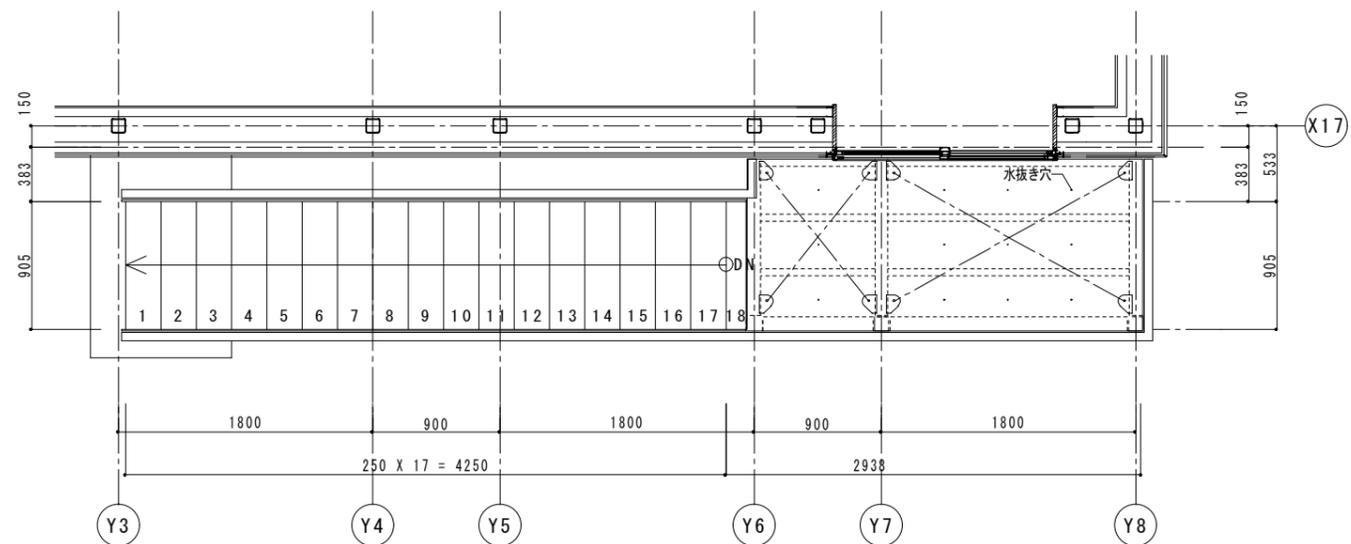
2階：【会議室3】

備品	数	W×D×H
① 整理戸棚 (下段)	1	W1760×D515×H1120
② 整理戸棚 (上段)	1	W1760×D400×H880
③ 化粧天板	1	
④ ホワイトボード	1	W2700×H900
⑤ 室名札	1	持出しタイプ
⑥ カーテン	1	
⑦ カーテンレール	1	

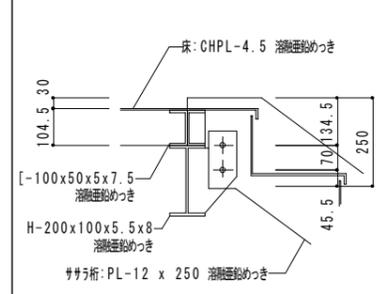




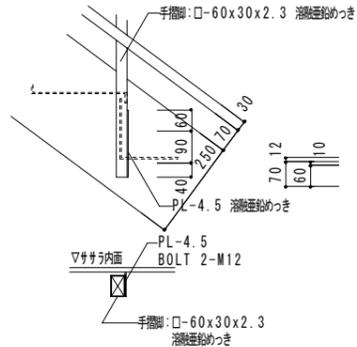
1階平面図 S:1/25



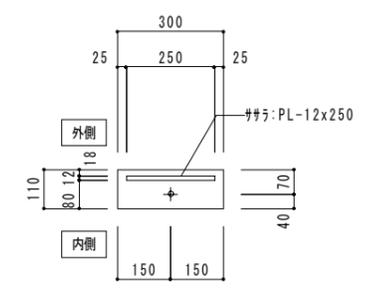
2階平面図 S:1/25



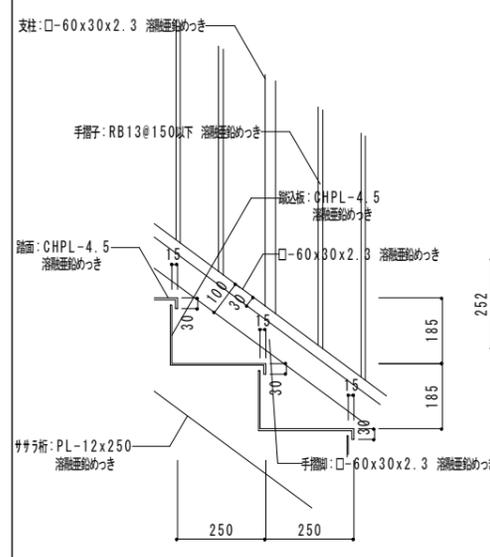
C部詳細図 S:1/10



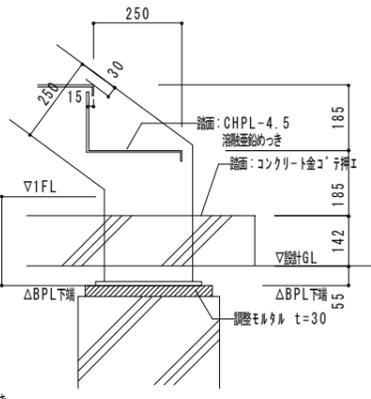
手摺脚詳細図 S:1/10



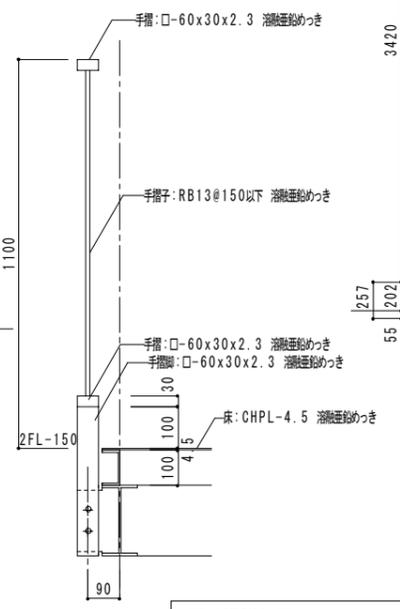
へースプレート詳細図 S:1/10



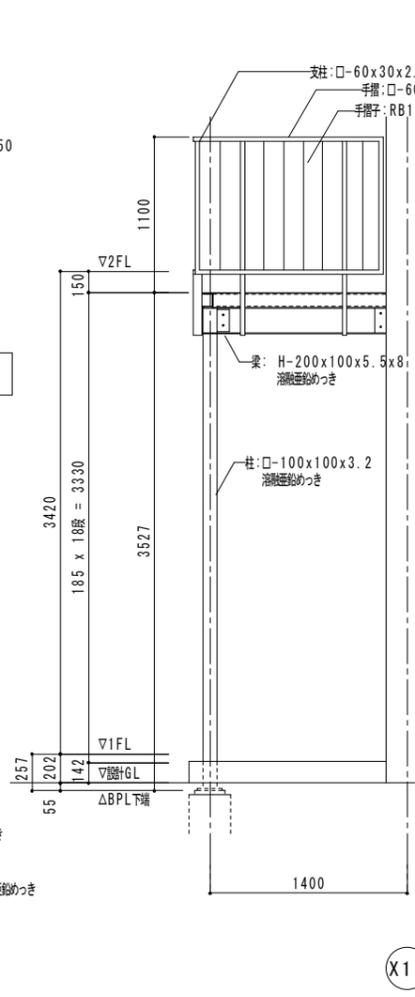
A部詳細図 S:1/10



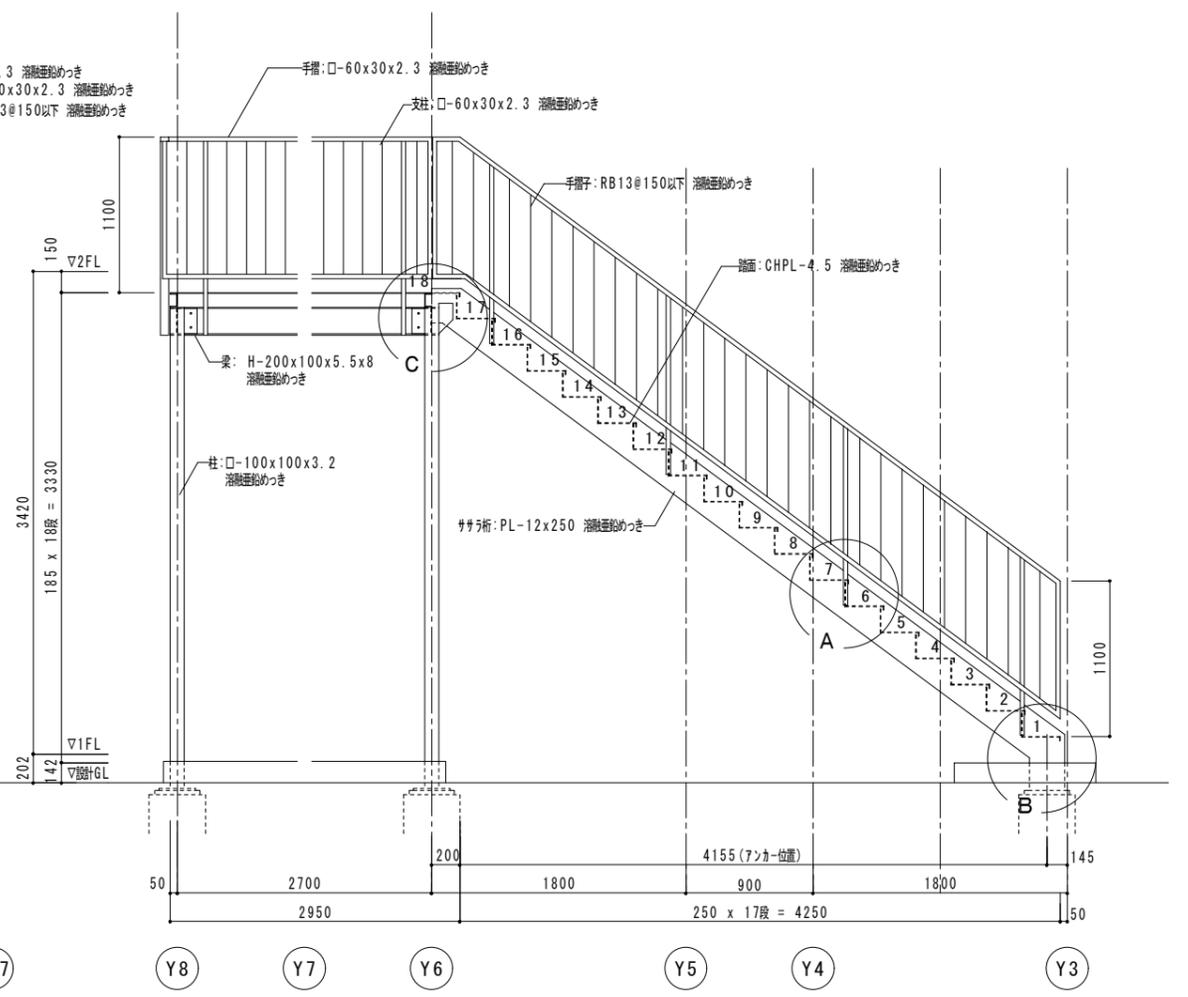
B部詳細図 S:1/10



踊り場詳細図 S:1/10



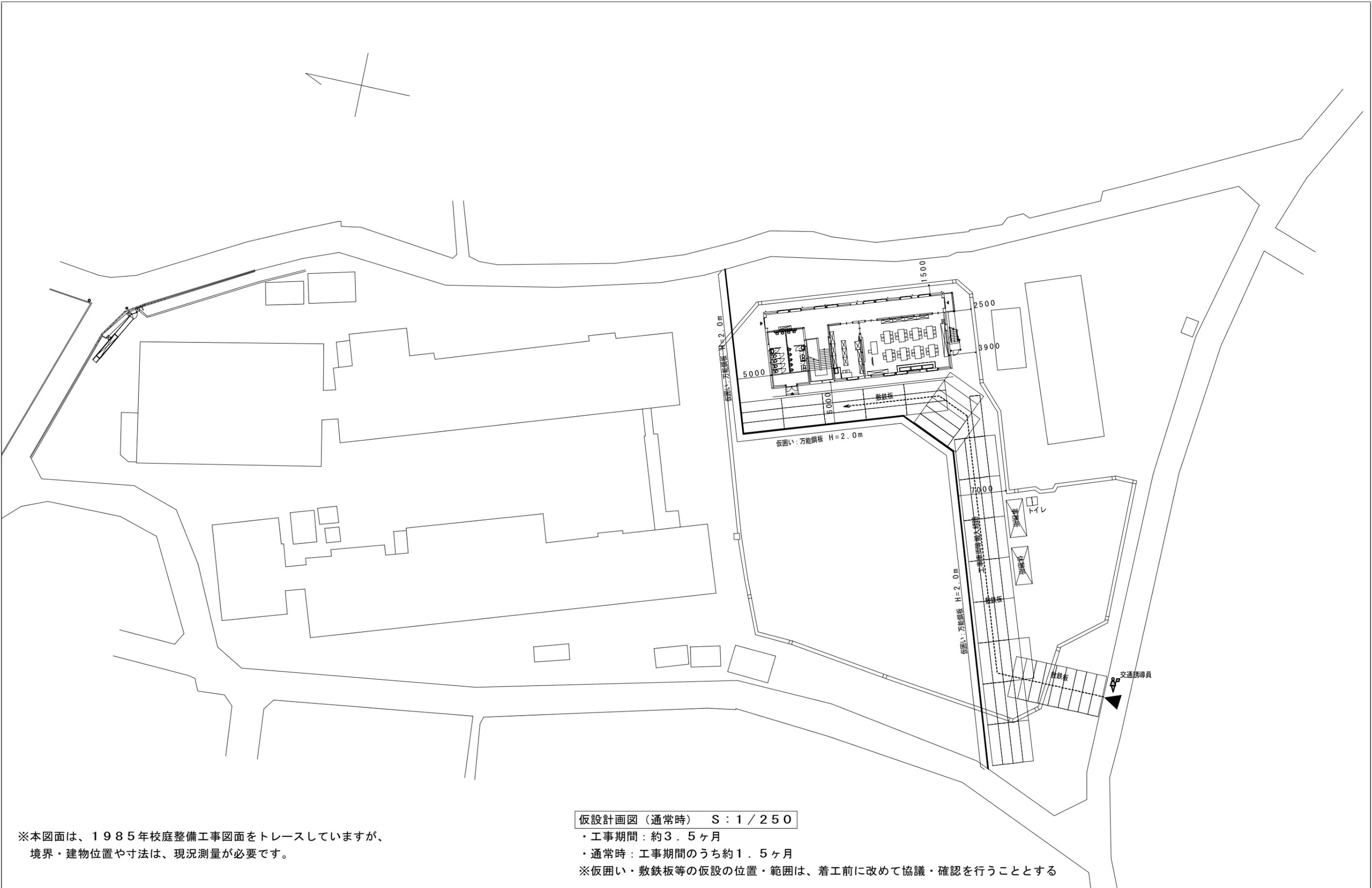
立面図(2) S:1/25



立面図(1) S:1/25

横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設校舎設置その他工事
年月日	令和 6年 3月	縮尺	1/25-1/10 A1(1/50-1/20)
図面名称	外階段詳細		
設計者	有限会社 小倉一級建築士事務所	図面枚数	図面番号
施設番号	棟番号	層番号	図面枚数
一級建築士登録 第 254463 号 小倉 宏志			A-15



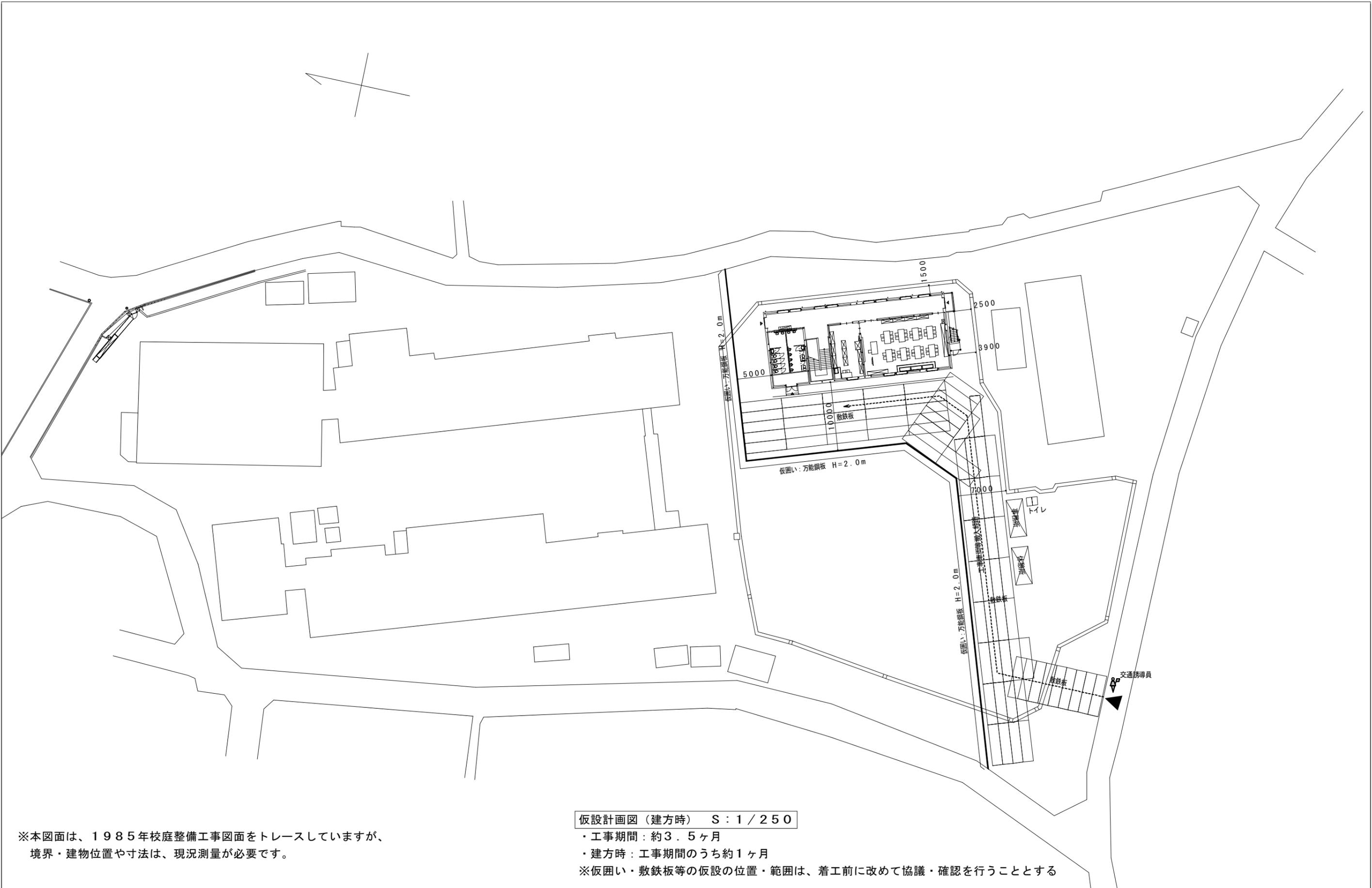


※本図面は、1985年校庭整備工事図面をトレースしていますが、境界・建物位置や寸法は、現況測量が必要です。

仮設計画図（通常時） S : 1 / 250

- ・工事期間：約3.5ヶ月
  - ・通常時：工事期間のうち約1.5ヶ月
- ※仮囲い・敷鉄板等の仮設の位置・範囲は、着工前に改めて協議・確認を行うこととする

横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	令和6年3月	縮尺	1/250 A3(1/250)		
図面名称	仮設計画図（通常時）				
設計者	株式会社 小倉一級建築士事務所	施設番号	棟番号	図面枚数	図面番号
一級建築士登録 第 254463 号 小倉 宏志					A-17

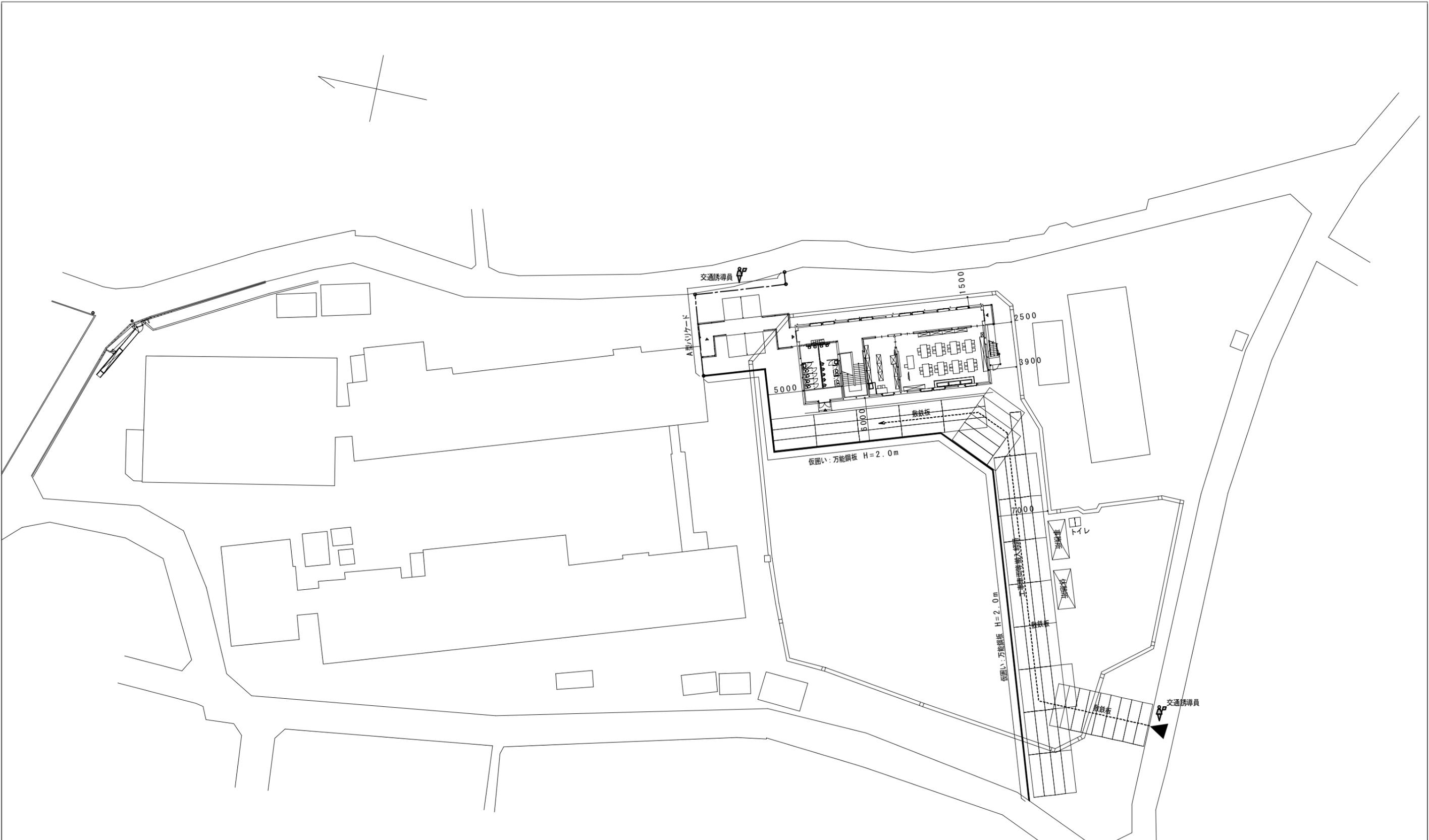


※本図面は、1985年校庭整備工事図面をトレースしていますが、境界・建物位置や寸法は、現況測量が必要です。

仮設計画図（建方時） S : 1 / 250

- ・工事期間：約3.5ヶ月
- ・建方時：工事期間のうち約1ヶ月
- ※仮囲い・敷鉄板等の仮設の位置・範囲は、着工前に改めて協議・確認を行うこととする

横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	令和6年3月	縮尺	1/250 A3(1/250)		
図面名称	仮設計画図（建方時）				
設計者	株式会社 小倉一級建築士事務所	施設番号	棟番号	図面枚数	図面番号
一級建築士登録 第 254463 号 小倉 宏志					A-18



仮設計画図（渡り廊下 建方時） S : 1 / 250

※本図面は、1985年校庭整備工事図面をトレースしていますが、境界・建物位置や寸法は、現況測量が必要です。

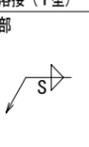
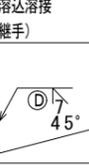
- ・工事期間：約3.5ヶ月
  - ・渡り廊下 建方時：工事期間のうち約1ヶ月
- ※仮囲い・敷鉄板等の仮設の位置・範囲は、着工前に改めて協議・確認を行うこととする

横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	令和6年3月	縮尺	1/250 A3(1/250)		
図面名称	仮設計画図（渡り廊下 建方時）				
設計者	株式会社 小倉一級建築士事務所	施設番号	棟番号	図面枚数	図面番号
一級建築士登録 第 254463 号 小倉 宏志					A-19

<p>・本仕様の中で選択式の項目は、■を採用して □は採用しない。          ・■であっても上位の項目が□の場合は採用しない。</p>	
<h3>1. 構造概要</h3>	
<p>・建設場所          ・工事種別          ・建物用途          ・階数規模          ・屋上荷重          ・特殊荷重          ・増築計画          ・外的条件</p>	<p>横浜市鶴見区北寺尾4-25-1          ■新築 □増築 □改築          小学校          鉄骨造（ブレース構造） 地上2階建          □空調屋外機 □ソーラーシステム □屋上緑化設備 □          □エレベーター（乗用13人乗り） □小荷物昇降機          なし          風速（V0） 34m/s          地表面粗度区分 □I □II ■III □IV          積雪 積雪量：30cm 単位重量：20N/m<sup>2</sup>・cm          凍結深度 0.00m          構造体（用途係数） □I類（1.5） □II類（1.25） ■III類（1.0）          非構造部材 □A類 ■B類</p>
<p>・耐震安全基準</p>	<p>構造体（用途係数） □I類（1.5） □II類（1.25） ■III類（1.0）          非構造部材 □A類 ■B類</p>
<p>・部材の種類</p>	<p>■新品 □再利用部材</p>
<p>・令第129条の2の3の事項</p>	<p>建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。          ■建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがあるものには、有効なさび止め又は防腐の為の措置を講じること。          □屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上所要な部分に緊結すること。          □煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造又は鉄製の支柱を設けたものを除き、90cm以下とすること。          □煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリートブロック造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。          ■建築物に設ける給水、排水その他の配管設備（給湯設備*を除く。）は、          ■風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。          ■建築物の部分を通して配管する場合には、当該貫通部に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講じること。          ■管の伸縮その他の変形により該当管の損傷が生じるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講じること。          ■管を支持し、又は固定する場合には、吊り金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のために措置を講じること。          □法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上水槽等については、平成12建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとして、平成12建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。          ■給湯設備*は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。          *「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当したものを除いたもの</p>
<h3>2. 地盤・地業</h3>	
<p>・地盤調査資料</p>	<p>事前資料：■有り □無し 調査予定：□有り □無し          調査場所：■敷地内 □近隣          調査方式：□スウェーデン式静貫入試験 ■標準貫入試験 ■平板載荷試験          資料確認：□添付の調査報告書参照</p>
<p>・地盤許容支持力</p>	<p>50 kN/m<sup>2</sup>（長期）</p>
<p>・支持層位置</p>	<p>□表層 ■GL-0.60m □その他</p>
<p>・調査水位</p>	<p>GL - m</p>
<p>・基礎支持形式</p>	<p>■直接基礎 ■布基礎 □ベタ基礎 ■独立基礎          □地盤改良 □表層改良 □粉体セメント系固化材原位置混合処理工法（□発塵抑制型 □六価クロム低排出型）          □柱状改良 □スラリー状セメント系固化材原位置混合処理工法（ソイルセメントコラム）          □杭基礎 □摩擦杭 □一般支持杭 □認定底根固め支持杭</p>
<p>・地業材料</p>	<p>■砕石（再生クラッシュランRC-40） □切込砕石 □川砂利</p>
<p>・残土処分</p>	<p>□場内敷き均し □場内指定場所堆積 ■場外処分</p>

<h3>3. 鉄筋コンクリート基礎工事</h3>																																		
<h4>(1) コンクリート</h4>																																		
<p>・使用材料</p>	<p>■コンクリートはJIS A5308によるレディーミクストコンクリートとする。          ■使用するセメントはJIS R5210によるポルトランドセメントとする。          ■普通ポルトランドセメント □早強ポルトランドセメント</p>																																	
<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>基礎（構造体）</th> <th>土間</th> <th>上階床</th> <th>捨てコン</th> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>普通</td> <td>普通</td> <td>普通</td> <td>普通</td> </tr> <tr> <td>設計基準強度（N/mm<sup>2</sup>）</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>スラブ</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> </table>	項目	基礎（構造体）	土間	上階床	捨てコン	種類	普通	普通	普通	普通	設計基準強度（N/mm <sup>2</sup> ）	21	21	21	18	スラブ	18	18	18	18	<table border="1"> <tr> <th>計画供用期間の級（躯体部）</th> <th>■短期</th> <th>□標準</th> <th>□長期</th> <th>□超長期</th> </tr> <tr> <td>Fd 耐久設計基準強度（N/mm<sup>2</sup>）</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>30</td> <td>36</td> </tr> </table> <p>※Fq:品質基準強度 = Max(Fc, Fd)とする。</p>				計画供用期間の級（躯体部）	■短期	□標準	□長期	□超長期	Fd 耐久設計基準強度（N/mm <sup>2</sup> ）	18	24	30	36
項目	基礎（構造体）	土間	上階床	捨てコン																														
種類	普通	普通	普通	普通																														
設計基準強度（N/mm <sup>2</sup> ）	21	21	21	18																														
スラブ	18	18	18	18																														
計画供用期間の級（躯体部）	■短期	□標準	□長期	□超長期																														
Fd 耐久設計基準強度（N/mm <sup>2</sup> ）	18	24	30	36																														
<p>・強度補正</p>	<p>■構造体強度補正値は以下による。（JASS5-2022）</p> <table border="1"> <tr> <th>気温θ（℃）</th> <th>打込み日から28日までの予想平均気温</th> <th>暑中間期</th> </tr> <tr> <td>早強ポルトランドセメント</td> <td>0 ≤ θ &lt; 5</td> <td>5 ≤ θ</td> <td rowspan="2">2.5 &lt; 平均θ</td> </tr> <tr> <td>普通ポルトランドセメント</td> <td>0 ≤ θ &lt; 8</td> <td>8 ≤ θ</td> </tr> <tr> <td>補正値（N/mm<sup>2</sup>）</td> <td>+6</td> <td>+3</td> <td>+6</td> </tr> </table>				気温θ（℃）	打込み日から28日までの予想平均気温	暑中間期	早強ポルトランドセメント	0 ≤ θ < 5	5 ≤ θ	2.5 < 平均θ	普通ポルトランドセメント	0 ≤ θ < 8	8 ≤ θ	補正値（N/mm <sup>2</sup> ）	+6	+3	+6																
気温θ（℃）	打込み日から28日までの予想平均気温	暑中間期																																
早強ポルトランドセメント	0 ≤ θ < 5	5 ≤ θ	2.5 < 平均θ																															
普通ポルトランドセメント	0 ≤ θ < 8	8 ≤ θ																																
補正値（N/mm <sup>2</sup> ）	+6	+3	+6																															
<p>・型 枠</p>	<p>型枠の材質：■合板 □金具パネル          ■型枠の存置期間を定めるためのコンクリートの材齢は以下による。          平均気温（℃） 10℃以上20℃未満 20℃以上          早強ポルトランドセメント 3日 2日          普通ポルトランドセメント 6日 4日</p>																																	
<p>・品質管理</p>	<p>■上記以前に脱枠する場合は、圧縮強度試験を行ない、強度が5N/mm<sup>2</sup>以上に達している事を確認すること。          ■コンクリートはJIS認証工場の製品とし、施工は公共建築工事標準仕様書による。          ■AE剤、AE減水剤を用いるコンクリートの空気量は4.5%とする。          ■水セメント比は65%以下とする。（土間コンクリートは60%以下とする）          ■単位水量は185kg/m<sup>3</sup>以下とする。          ■単位セメント量は270kg/m<sup>3</sup>以上とする。          ■塩化物含有量試験により、塩化物イオン量が0.30kg/m<sup>3</sup>以下であることを確認すること。          ■アルカリシリカ反応性試験により、無害を確認した骨材を使用すること。          ■構造体コンクリートの圧縮強度試験に使用する供試体の採取方法は、JASS5-T-603による。          ■構造体コンクリートの圧縮強度試験は、工事監理者が指定する、第三者機関とする。          ■構造体コンクリートの圧縮強度試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱い要領」第4条の試験機関にて行なうこと。          ■コンクリートの養生は、被覆、散水などによる5日以上の保湿養生を基本とする。</p>																																	
<h4>(2) 鉄 筋</h4>																																		
<p>・使用材料</p>	<p>■鉄筋は、JIS G3112による規格品とする。          ■溶接金網は、JIS G3551による規格品とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>径</th> <th>継ぎ手</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>■SD295</td> <td>D10~D16</td> <td>■重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>□SD345</td> <td>D19~</td> <td>□重ね継手 □ガス圧接</td> <td></td> </tr> <tr> <td>■溶接金網</td> <td>6φ×150×150</td> <td>■重ね継手</td> <td></td> </tr> </table>				材 料 名	径	継ぎ手	備 考	■SD295	D10~D16	■重ね継手		□SD345	D19~	□重ね継手 □ガス圧接		■溶接金網	6φ×150×150	■重ね継手															
材 料 名	径	継ぎ手	備 考																															
■SD295	D10~D16	■重ね継手																																
□SD345	D19~	□重ね継手 □ガス圧接																																
■溶接金網	6φ×150×150	■重ね継手																																
<p>・品質管理</p>	<p>■施工はJASS5（2022）による。          ■強度試験に代えて品質証明書（ミルシート）の確認を行なう。          □D19以上の鉄筋をガス圧接する場合は日本鉄筋継手協会の「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。          ■鉄筋の加工、組立ては別紙「鉄筋コンクリート配筋標準図」による。</p>																																	
<h3>4. 鉄骨躯体工事</h3>																																		
<h4>(1) 使用材料</h4>																																		
<p>・鋼 材</p>	<table border="1"> <tr> <th>記 号</th> <th>材 料 名</th> <th>JIS番号</th> </tr> <tr> <td>SS400</td> <td>一般構造用圧延鋼材</td> <td>JIS G3101</td> </tr> <tr> <td>SSC400</td> <td>一般構造用軽量形鋼</td> <td>JIS G3350</td> </tr> <tr> <td>STK400</td> <td>一般構造用炭素鋼鋼管</td> <td>JIS G3444</td> </tr> <tr> <td>STKR400</td> <td>一般構造用角形鋼管</td> <td>JIS G3466</td> </tr> <tr> <td>SWH400(L)</td> <td>一般構造用溶接軽量H形鋼</td> <td>JIS G3353</td> </tr> <tr> <td>SNR400B</td> <td>建築構造用圧延棒鋼</td> <td>JIS G3138</td> </tr> <tr> <td>SN490B</td> <td>建築構造用圧延鋼材</td> <td>JIS G3136</td> </tr> <tr> <td>SNR490B</td> <td>建築構造用圧延棒鋼</td> <td>JIS G3138</td> </tr> <tr> <td>SUS304A</td> <td>建築構造用ステンレス鋼</td> <td>JIS G4321</td> </tr> </table>	記 号	材 料 名	JIS番号	SS400	一般構造用圧延鋼材	JIS G3101	SSC400	一般構造用軽量形鋼	JIS G3350	STK400	一般構造用炭素鋼鋼管	JIS G3444	STKR400	一般構造用角形鋼管	JIS G3466	SWH400(L)	一般構造用溶接軽量H形鋼	JIS G3353	SNR400B	建築構造用圧延棒鋼	JIS G3138	SN490B	建築構造用圧延鋼材	JIS G3136	SNR490B	建築構造用圧延棒鋼	JIS G3138	SUS304A	建築構造用ステンレス鋼	JIS G4321			
記 号	材 料 名	JIS番号																																
SS400	一般構造用圧延鋼材	JIS G3101																																
SSC400	一般構造用軽量形鋼	JIS G3350																																
STK400	一般構造用炭素鋼鋼管	JIS G3444																																
STKR400	一般構造用角形鋼管	JIS G3466																																
SWH400(L)	一般構造用溶接軽量H形鋼	JIS G3353																																
SNR400B	建築構造用圧延棒鋼	JIS G3138																																
SN490B	建築構造用圧延鋼材	JIS G3136																																
SNR490B	建築構造用圧延棒鋼	JIS G3138																																
SUS304A	建築構造用ステンレス鋼	JIS G4321																																

<p>・ブレース</p>	<table border="1"> <tr> <th>項 目</th> <th>仕様・形式など</th> <th>JIS番号</th> </tr> <tr> <td>材料（M12～）</td> <td>■SNR400B</td> <td>JIS G3138</td> </tr> <tr> <td>表面仕上げ</td> <td>■めっき（ユニクロ） □溶融亜鉛めっき仕上</td> <td>JIS H8625 JIS H8641</td> </tr> <tr> <td>ブレース形式</td> <td>■鉛・クロムフリーさび止めペイント1種</td> <td>JIS K5674</td> </tr> <tr> <td>胴形式</td> <td>■ターンバックル（S-S-T-S）</td> <td>JIS A5540</td> </tr> <tr> <td>ボルト形式</td> <td>■割り枠式 □パイプ式</td> <td>JIS A5541</td> </tr> <tr> <td>取付けボルト</td> <td>■羽子板ボルト □両ねじボルト ■ボルト □高力ボルト（F8T支圧接合）</td> <td>JIS A5540</td> </tr> </table>	項 目	仕様・形式など	JIS番号	材料（M12～）	■SNR400B	JIS G3138	表面仕上げ	■めっき（ユニクロ） □溶融亜鉛めっき仕上	JIS H8625 JIS H8641	ブレース形式	■鉛・クロムフリーさび止めペイント1種	JIS K5674	胴形式	■ターンバックル（S-S-T-S）	JIS A5540	ボルト形式	■割り枠式 □パイプ式	JIS A5541	取付けボルト	■羽子板ボルト □両ねじボルト ■ボルト □高力ボルト（F8T支圧接合）	JIS A5540	<p>・ボルトセット</p> <table border="1"> <tr> <th>項 目</th> <th>仕様・形式など</th> <th>JIS番号</th> </tr> <tr> <td>■六角ボルト</td> <td>ボルト ■呼び径六角ボルト □全ねじ六角ボルト</td> <td>JIS B1180</td> </tr> <tr> <td>セット</td> <td>ナット ■1種 □3種</td> <td>JIS B1181</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平座金 ■丸型 □角型</td> <td>JIS B1256</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ばね座金</td> <td>JIS B1251</td> </tr> <tr> <td></td> <td>仕上げ ■電気めっき（ユニクロ、クロメート） □溶融亜鉛めっき（外部露出部のみ） □ステンレス製（外部露出部のみ）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>□高力ボルト</td> <td>□JIS型（□F10T、□F8T） □トルシア型（S10T）</td> <td>JIS B1186 大臣認定品</td> </tr> <tr> <td>■基礎ボルト</td> <td>仕様材料：■SS400 ■SNR400B ■SNR490B 形 状：■U型 □L型 ■J型 □定着板 ねじ加工：■軋造（SNR） □切削（SS） ■施工後必ず防錆処理を行なうこと</td> <td>JIS G3101 JIS G3138 JIS K5674</td> </tr> </table>	項 目	仕様・形式など	JIS番号	■六角ボルト	ボルト ■呼び径六角ボルト □全ねじ六角ボルト	JIS B1180	セット	ナット ■1種 □3種	JIS B1181		平座金 ■丸型 □角型	JIS B1256		ばね座金	JIS B1251		仕上げ ■電気めっき（ユニクロ、クロメート） □溶融亜鉛めっき（外部露出部のみ） □ステンレス製（外部露出部のみ）		□高力ボルト	□JIS型（□F10T、□F8T） □トルシア型（S10T）	JIS B1186 大臣認定品	■基礎ボルト	仕様材料：■SS400 ■SNR400B ■SNR490B 形 状：■U型 □L型 ■J型 □定着板 ねじ加工：■軋造（SNR） □切削（SS） ■施工後必ず防錆処理を行なうこと	JIS G3101 JIS G3138 JIS K5674
項 目	仕様・形式など	JIS番号																																													
材料（M12～）	■SNR400B	JIS G3138																																													
表面仕上げ	■めっき（ユニクロ） □溶融亜鉛めっき仕上	JIS H8625 JIS H8641																																													
ブレース形式	■鉛・クロムフリーさび止めペイント1種	JIS K5674																																													
胴形式	■ターンバックル（S-S-T-S）	JIS A5540																																													
ボルト形式	■割り枠式 □パイプ式	JIS A5541																																													
取付けボルト	■羽子板ボルト □両ねじボルト ■ボルト □高力ボルト（F8T支圧接合）	JIS A5540																																													
項 目	仕様・形式など	JIS番号																																													
■六角ボルト	ボルト ■呼び径六角ボルト □全ねじ六角ボルト	JIS B1180																																													
セット	ナット ■1種 □3種	JIS B1181																																													
	平座金 ■丸型 □角型	JIS B1256																																													
	ばね座金	JIS B1251																																													
	仕上げ ■電気めっき（ユニクロ、クロメート） □溶融亜鉛めっき（外部露出部のみ） □ステンレス製（外部露出部のみ）																																														
□高力ボルト	□JIS型（□F10T、□F8T） □トルシア型（S10T）	JIS B1186 大臣認定品																																													
■基礎ボルト	仕様材料：■SS400 ■SNR400B ■SNR490B 形 状：■U型 □L型 ■J型 □定着板 ねじ加工：■軋造（SNR） □切削（SS） ■施工後必ず防錆処理を行なうこと	JIS G3101 JIS G3138 JIS K5674																																													
<p>・デッキプレート</p>	<table border="1"> <tr> <th>項 目</th> <th>仕様・形式など</th> <th>JIS番号</th> </tr> <tr> <td>種類（記号）</td> <td>□SDP1T（G） ■SDP2（G）</td> <td>JIS G3352</td> </tr> <tr> <td>構造形式</td> <td>□デッキ構造スラブ用 ■合成スラブ用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防錆措置</td> <td>■溶融亜鉛めっきZ12 □その他（ ）</td> <td></td> </tr> </table>	項 目	仕様・形式など	JIS番号	種類（記号）	□SDP1T（G） ■SDP2（G）	JIS G3352	構造形式	□デッキ構造スラブ用 ■合成スラブ用		防錆措置	■溶融亜鉛めっきZ12 □その他（ ）																																			
項 目	仕様・形式など	JIS番号																																													
種類（記号）	□SDP1T（G） ■SDP2（G）	JIS G3352																																													
構造形式	□デッキ構造スラブ用 ■合成スラブ用																																														
防錆措置	■溶融亜鉛めっきZ12 □その他（ ）																																														
<p>・表面処理</p>	<table border="1"> <tr> <th>項 目</th> <th>仕様・形式など</th> <th>JIS番号</th> </tr> <tr> <td>・さび止め塗装</td> <td>■鉛・クロムフリーさび止めペイント1種 □溶融亜鉛めっき □特殊変性エポキシ樹脂さび止めプライマー</td> <td>JIS K5674 JIS H8641</td> </tr> <tr> <td>・仕上げ塗装</td> <td>□合成樹脂調合ペイント □めっき表し（外部露出部のみ） □その他（ ）</td> <td>JIS K5516</td> </tr> </table>	項 目	仕様・形式など	JIS番号	・さび止め塗装	■鉛・クロムフリーさび止めペイント1種 □溶融亜鉛めっき □特殊変性エポキシ樹脂さび止めプライマー	JIS K5674 JIS H8641	・仕上げ塗装	□合成樹脂調合ペイント □めっき表し（外部露出部のみ） □その他（ ）	JIS K5516																																					
項 目	仕様・形式など	JIS番号																																													
・さび止め塗装	■鉛・クロムフリーさび止めペイント1種 □溶融亜鉛めっき □特殊変性エポキシ樹脂さび止めプライマー	JIS K5674 JIS H8641																																													
・仕上げ塗装	□合成樹脂調合ペイント □めっき表し（外部露出部のみ） □その他（ ）	JIS K5516																																													
<p>・材料の品質管理</p>	<table border="1"> <tr> <th>項 目</th> <th>仕様・形式など</th> <th>JIS番号</th> </tr> <tr> <td>・塗装範囲 (指定箇所がある場合)</td> <td>■コンクリートに埋め込まれる部分も塗装する。 ■閉鎖型形状の内部は、塗装しない。 □耐火被覆を行う部分は、塗装しない。 ■内外部に露出しない部分は錆止め塗装まで。 □高力ボルト接合の摩擦面は、塗装しない。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>□材料試験を行なう。 ■品質証明書（ミルシート）の確認を行なう。</td> <td></td> </tr> </table>	項 目	仕様・形式など	JIS番号	・塗装範囲 (指定箇所がある場合)	■コンクリートに埋め込まれる部分も塗装する。 ■閉鎖型形状の内部は、塗装しない。 □耐火被覆を行う部分は、塗装しない。 ■内外部に露出しない部分は錆止め塗装まで。 □高力ボルト接合の摩擦面は、塗装しない。			□材料試験を行なう。 ■品質証明書（ミルシート）の確認を行なう。																																						
項 目	仕様・形式など	JIS番号																																													
・塗装範囲 (指定箇所がある場合)	■コンクリートに埋め込まれる部分も塗装する。 ■閉鎖型形状の内部は、塗装しない。 □耐火被覆を行う部分は、塗装しない。 ■内外部に露出しない部分は錆止め塗装まで。 □高力ボルト接合の摩擦面は、塗装しない。																																														
	□材料試験を行なう。 ■品質証明書（ミルシート）の確認を行なう。																																														
<h4>(2) 製作・施工</h4>																																															
<p>・製作工場</p>	<p>■全国鐵構工業協会による性能評価を取得している者          □J □R □M □H □S □未取得</p>																																														
<p>・製作管理技術者資格</p>	<p>□1級建築士 □2級建築士 □1級鉄骨製作管理技術者 ■2級鉄骨製作管理技術者</p>																																														
<p>・製作全般</p>	<p>■鉄骨の製作は、製作要領書による。          ■溶接の仕様、寸法などは、下記の溶接基準による。</p>																																														
<p>・製品検査内容</p>	<table border="1"> <tr> <th>項 目</th> <th>検査内容</th> </tr> <tr> <td>■寸法精度</td> <td>寸法、ひずみなどの測定</td> </tr> <tr> <td>■隅肉溶接</td> <td>すみ肉溶接状況の目視による確認</td> </tr> <tr> <td>□部分溶込溶接（異形隅肉溶接）</td> <td>開先形状、溶接状況の目視による確認</td> </tr> <tr> <td>□完全溶込溶接</td> <td>超音波探傷試験</td> </tr> <tr> <td>■ボルト接合</td> <td>スプリングワッシャーのつぶれ確認</td> </tr> <tr> <td>□高力ボルト接合</td> <td>マーキングのずれ、ピンテール破断の確認</td> </tr> </table>	項 目	検査内容	■寸法精度	寸法、ひずみなどの測定	■隅肉溶接	すみ肉溶接状況の目視による確認	□部分溶込溶接（異形隅肉溶接）	開先形状、溶接状況の目視による確認	□完全溶込溶接	超音波探傷試験	■ボルト接合	スプリングワッシャーのつぶれ確認	□高力ボルト接合	マーキングのずれ、ピンテール破断の確認																																
項 目	検査内容																																														
■寸法精度	寸法、ひずみなどの測定																																														
■隅肉溶接	すみ肉溶接状況の目視による確認																																														
□部分溶込溶接（異形隅肉溶接）	開先形状、溶接状況の目視による確認																																														
□完全溶込溶接	超音波探傷試験																																														
■ボルト接合	スプリングワッシャーのつぶれ確認																																														
□高力ボルト接合	マーキングのずれ、ピンテール破断の確認																																														

<p>・製品検査者など</p>	<table border="1"> <tr> <th>項 目</th> <th>自主</th> <th>施工者</th> <th>第三者</th> <th>工事監理者</th> </tr> <tr> <td>工場製作部分</td> <td>■全数確認</td> <td>□対物 %</td> <td>■書類 □ %</td> <td>■書類確認</td> </tr> <tr> <td>現場組立部分</td> <td>■全数確認</td> <td>□対物 %</td> <td>■書類 -</td> <td>■書類確認</td> </tr> </table> <p>第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるため、自ら契約した検査会社をいう。          □A種（形鋼で固定） □B種（鉄筋で固定）          □C種（筒で覆い位置修正後モルタル充填） ■合板製型板に固定          ■柱底均しモルタル（■普通モルタル（容積比 セメント1：砂2） □無収縮モルタル）          □A種（無収縮モルタル圧入） □B種（モルタル詰め） □基礎上端均し均し          ■六角ボルトは、座金・ばね座金を併用しナットで固定          ■基礎ボルトは、座金・2重ナット又は溶接で固定          □高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付け順序は部材が十分に密着するように注意して行う。また、締付けは、一次、二次締めとする。          なお、導入張力確認試験は行わない。</p>	項 目	自主	施工者	第三者	工事監理者	工場製作部分	■全数確認	□対物 %	■書類 □ %	■書類確認	現場組立部分	■全数確認	□対物 %	■書類 -	■書類確認																				
項 目	自主	施工者	第三者	工事監理者																																
工場製作部分	■全数確認	□対物 %	■書類 □ %	■書類確認																																
現場組立部分	■全数確認	□対物 %	■書類 -	■書類確認																																
<p>・基礎ボルトの保持</p>																																				
<p>・柱脚均しモルタル</p>																																				
<p>・ボルトの締付け</p>																																				
<h4>溶接基準</h4>																																				
<p>・溶接の種類</p>	<p>被覆アーク溶接（手溶接）          ガスシールドアーク溶接（半自動溶接）          軟鋼用被覆アーク溶接棒 JIS Z3211          軟鋼及び高張力鋼マグ溶接用ソリッドワイヤ JIS Z3312          溶接の有効長さ ≥ 10S かつ 40mm          溶接の有効長さ = 溶接長さ - 2S</p>																																			
<p>・溶接材料</p>																																				
<p>・溶接有効長さ</p>																																				
<p>名称・記号</p>	<p>基準図</p>	<p>規定</p>																																		
<p>隅肉溶接（T型）</p>		<p>S：溶接サイズ          t：薄方の板厚          t ≤ 6mmのとき t ≤ S ≤ 1.5t          かつ S ≤ 6mm          t &gt; 6mmのとき S ≤ t</p>																																		
<p>一般部</p>		<p>S：溶接サイズ          t：薄方の板厚          W：重ね幅          S = t          W ≥ 5t かつ W ≥ 28mm</p>																																		
<p>隅肉溶接（重ね継手）</p>		<p>S：溶接サイズ          t：薄方の板厚          W：重ね幅          S = t          W ≥ 5t かつ W ≥ 28mm</p>																																		
<p>完全溶込溶接（T継手）</p>		<p>t：板厚（t ≥ 8）          D：開先深さ</p> <table border="1"> <tr> <th>t</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td>9.0</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>12.0</td> <td>10</td> </tr> </table>			t	D	9.0	7	12.0	10																										
t	D																																			
9.0	7																																			
12.0	10																																			
<p>フレア溶接（L型）</p>		<p>S：溶接サイズ          t：軽量形鋼の厚さ          t ≥ 3のとき S = t          t &lt; 3のとき S = 3</p>																																		
<p>軽量形鋼</p>																																				
<p>フレア溶接（K型）</p>		<p>S：溶接サイズ</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び径</th> <th>d</th> <th>K</th> <th>S</th> </tr> <tr> <td>M10</td> <td>8.9</td> <td>5</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>M12</td> <td>10.7</td> <td>6</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>M14</td> <td>12.5</td> <td>6</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <td>M16</td> <td>14.5</td> <td>7</td> <td>5.6</td> </tr> <tr> <td>M18</td> <td>16.2</td> <td>8</td> <td>5.6</td> </tr> <tr> <td>M20</td> <td>18.2</td> <td>8</td> <td>5.6</td> </tr> <tr> <td>M22</td> <td>20.2</td> <td>9</td> <td>6.3</td> </tr> </table>			呼び径	d	K	S	M10	8.9	5	3.5	M12	10.7	6	4.2	M14	12.5	6	4.9	M16	14.5	7	5.6	M18	16.2	8	5.6	M20	18.2	8	5.6	M22	20.2	9	6.3
呼び径	d	K	S																																	
M10	8.9	5	3.5																																	
M12	10.7	6	4.2																																	
M14	12.5	6	4.9																																	
M16	14.5	7	5.6																																	
M18	16.2	8	5.6																																	
M20	18.2	8	5.6																																	
M22	20.2	9	6.3																																	
<p>ブレース羽子板ボルト</p>		<p>S：溶接サイズ</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び径</th> <th>d</th> <th>K</th> <th>S</th> </tr> <tr> <td>M24</td> <td>21.9</td> <td>10</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>M27</td> <td>24.9</td> <td>11</td> <td>7.7</td> </tr> <tr> <td>M30</td> <td>27.5</td> <td>14</td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td>M33</td> <td>30.5</td> <td>15</td> <td>10.5</td> </tr> </table>			呼び径	d	K	S	M24	21.9	10	7.0	M27	24.9	11	7.7	M30	27.5	14	9.8	M33	30.5	15	10.5												
呼び径	d	K	S																																	
M24	21.9	10	7.0																																	
M27	24.9	11	7.7																																	
M30	27.5	14	9.8																																	
M33	30.5	15	10.5																																	
<p>フレア溶接</p>		<p>S：溶接サイズ</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び径</th> <th>d</th> <th>K</th> <th>S</th> </tr> <tr> <td>M24</td> <td>21.9</td> <td>10</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>M27</td> <td>24.9</td> <td>11</td> <td>7.7</td> </tr> <tr> <td>M30</td> <td>27.5</td> <td>14</td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td>M33</td> <td>30.5</td> <td>15</td> <td>10.5</td> </tr> </table>			呼び径	d	K	S	M24	21.9	10	7.0	M27	24.9	11	7.7	M30	27.5	14	9.8	M33	30.5	15	10.5												
呼び径	d	K	S																																	
M24	21.9	10	7.0																																	
M27	24.9	11	7.7																																	
M30	27.5	14	9.8																																	
M33	30.5	15	10.5																																	
<p>ブレース羽子板ボルト</p>																																				

・構造図に記載されている事項は、本標準図に優先して適用する。  
 ・構造図及び本標準図に記載されていない事項は、工事監理者と協議を行なう。

### 1. 鉄筋加工

・端部折曲げ形状	折曲げ角度	180°	135°	90°
形状				
鉄筋の余長		4d以上	6d以上 (幅止め筋は4d以上)	8d以上 (幅止め筋は4d以上)

・D16以下でR≥3d D19以上でR≥4d (中間部の折曲げも同様)

### あばら筋の形状

A. 単配筋の基本形	B. 複配筋の基本形
C. 片側床版付 (Bがより良い)	D. 両側床版付 (Bがより良い)
E. 複配筋	

U字型先端は 135° 以上とする

## 2. 組立

・継手・定着長さ

コンクリートの設計基準強度	18N/mm <sup>2</sup>	21 24N/mm <sup>2</sup>
重ね継手の長さ (L1)	45d または 35dフック付き	40d または 30dフック付き
定着の長さ (L2)	40d または 30dフック付き	40d または 25dフック付き
溶接金網の継手の長さ	1節半以上	1節半以上

・継手位置 (布基礎の場合)

・末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない  
 ・隣接する重ね継手位置は下図の何れかとする。

・重ね継手位置を下図の斜線位置 (引張力の最も小さい部分) とした場合は、上表の数値を25d以上に変更することができる。上表の数値とする場合、位置の制限は無しとする。

・梁主筋の範囲 (端部・中央部)

・かぶり厚さ

単位: mm		最小かぶり厚さ	設計かぶり厚さ
布基礎	基礎梁部	40	50
	フーチング部	60	70
土間コンクリート	上面	30	40
	下面	40	50
腰壁	全周	20	30

・鉄筋のあき

・かぶり厚さに捨てコンクリートは含まない。

・鉄筋のあきは以下の内、最大のもの以上とする。

- 鉄筋の呼び径の1.5倍以上
- 粗骨材最大寸法の1.25倍以上
- 25mm以上

## 3. 基礎

・連続基礎

・連続基礎の側柱交差部は、外周部の基礎主筋を連続して配置する。  
 ・中柱交差部における基礎主筋を連続する方向は構造図による。構造図に記載のない場合は基礎幅が広い基礎の配筋とする。  
 ・隅柱交差部は、両方向の基礎主筋を連続して配置する。

・側柱交差部

・中柱交差部

・隅柱交差部

・P1、P2は設計配筋間隔とする。  
 ・ハッチ部は基礎梁、柱を示す。

## 独立基礎

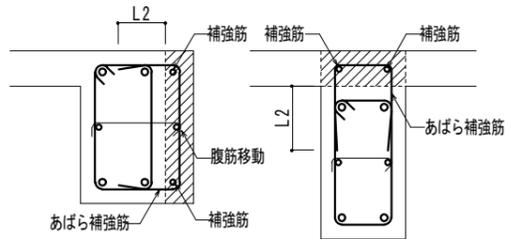
・独立基礎

基礎筋の上下の位置関係は構造図による

はかま筋のない場合 / はかま筋のある場合

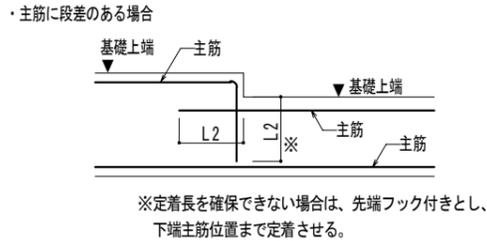
4. 各種補強

・増打ち補強  
(複配筋の場合)

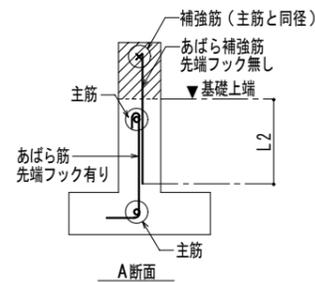
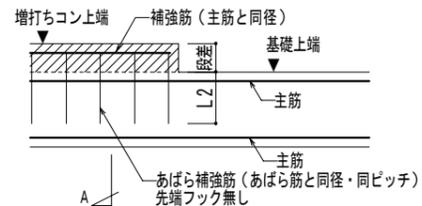


- ・補強筋を入れるのは、増打ち幅70mm以上の場合とする。
- ・補強筋は梁主筋の1サイズ落しかつD13以上とする。
- ・追加あばら補強筋は、あばら筋と同径、同ピッチとする。
- ・梁幅が400以上の梁の梁成方向に増打ちする場合は補強筋を3本とする。

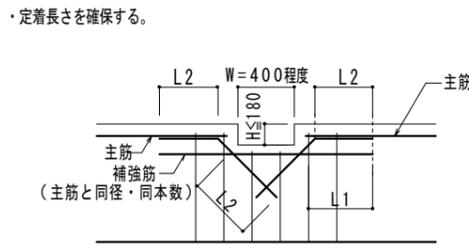
・梁段差部定着  
(単配筋の場合)



・主筋を通す場合(フカン部)

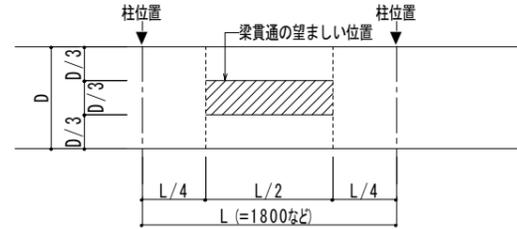


・床下換気口補強

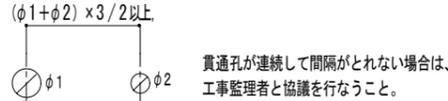


5. 梁貫通補強

・貫通位置



・貫通孔の間隔



・貫通孔の補強

80 ≤ φ ≤ 100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単配筋の場合 折筋 2-D13 縦筋 ST 2-D10</li> <li>・複配筋の場合 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D10</li> </ul>	
100 < φ ≤ 150	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単配筋の場合 折筋 2-D13 縦筋 ST 2-D10 横筋 2-D13 上下縦筋 2x(1-STD10)</li> <li>・複配筋の場合 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D10 横筋 2-(2-D13) 上下縦筋 2x(1-STD10)</li> </ul>	
150 < φ ≤ 250	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単配筋の場合 斜筋 4-D13 縦筋 ST 4-D13 横筋 2-D13 上下縦筋 2x(2-STD13)</li> <li>・複配筋の場合 斜筋 4-(2-D13) 縦筋 ST 4-D13 横筋 2-(2-D13) 上下縦筋 2x(2-STD13)</li> </ul>	

孔補強の有効範囲と定着長さのとり方

孔の上下方向の位置	
500 ≤ D < 700	d ≥ 175
700 ≤ D < 900	d ≥ 200
900 ≤ D	d ≥ 250

- ・図の点線はあばら筋とする。
- ・φ ≤ 梁成 / 3とし、間隔は3φ以上とする。
- ・250φ以上の開口部を設ける場合は、設計図による。
- ・認定品を使用できるのは複配筋の場合のみとし、仕様はメーカーの仕様による。 ※認定品とはウェブレン、リンプレン同等品とする。

6. 土間スラブ

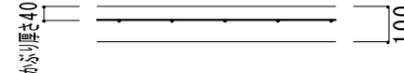
・床板開口部の補強

・配筋

・開口補強要領は、5.床板 による。

- ・捨てコン及び断熱材等の仕様は、設計図による。
- ・鉄筋の位置は土間コン上端より40下がりの位置とする

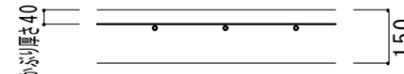
- ・コンクリートの厚み 100mm  
ワイヤーメッシュ6φ x 150 x 150



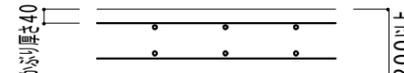
- ・コンクリートの厚み 120mm  
D10@200タテヨコシングルまたは、D13@200タテヨコシングル



- ・コンクリートの厚み 150mm  
D13@200タテヨコシングル

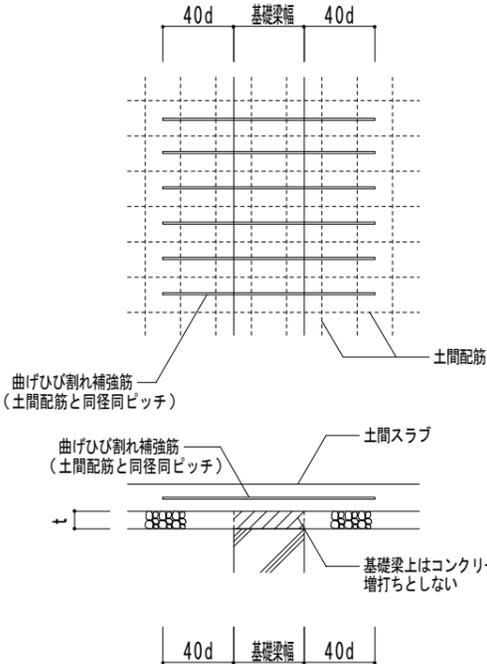


- ・コンクリートの厚み 200mm以上  
D13@200タテヨコダブル



・曲げひび割れ補強

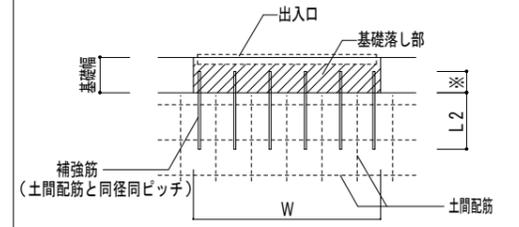
- ・内部基礎梁上に設置する。(間仕切壁設置範囲は除く)
- ・補強筋は土間配筋の間に均等配置とする。
- ・基礎梁が交差する場合、一方を優先し鉄筋を配置する。
- ・鉄筋径及び間隔は、土間配筋による。



- ・t=50以上の場合、砕石敷を基本とする。
- ・t=50未満の場合、砂および断熱材等により土間スラブと縁をきる。

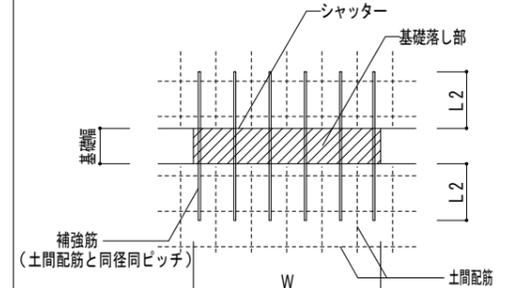
・基礎落し部の補強

・出入口等の開口部



※ かぶり厚さを確保してサッシ枠付近まで

・シャッター等の開口部



補強筋  
D10@200

・目地の設置

- ・土間スラブには、誘発目地、打継目地、絶縁目地を適宜設ける。
- 目地の仕様は下記の通りとし、種類、位置などは構造図による。

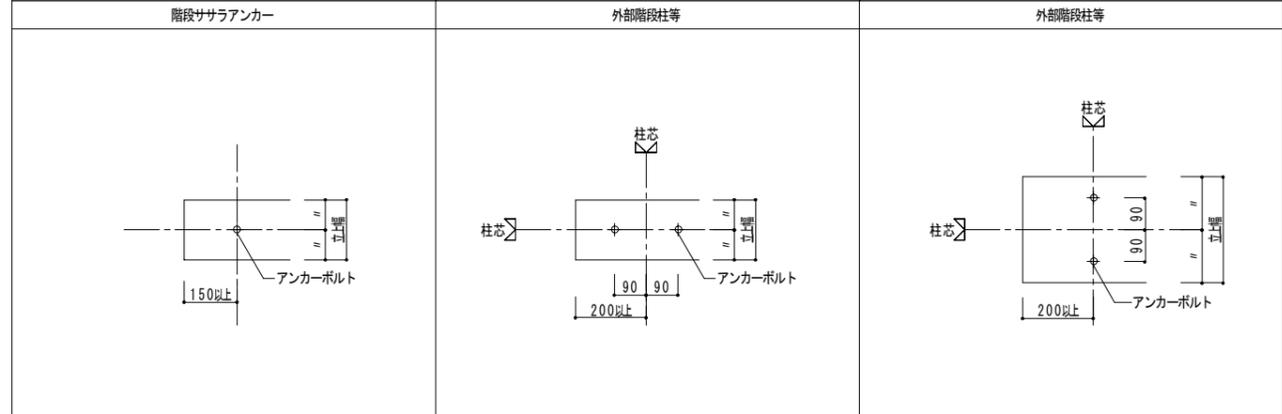
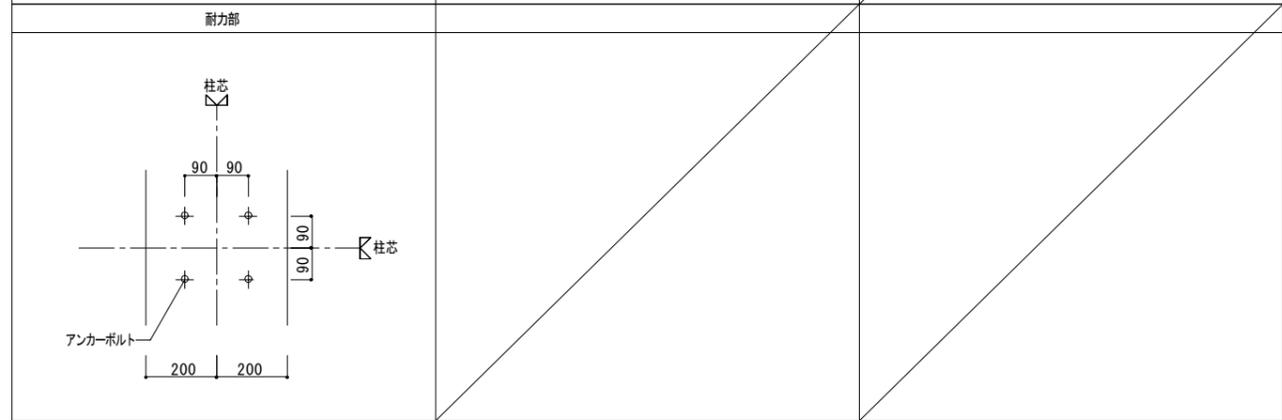
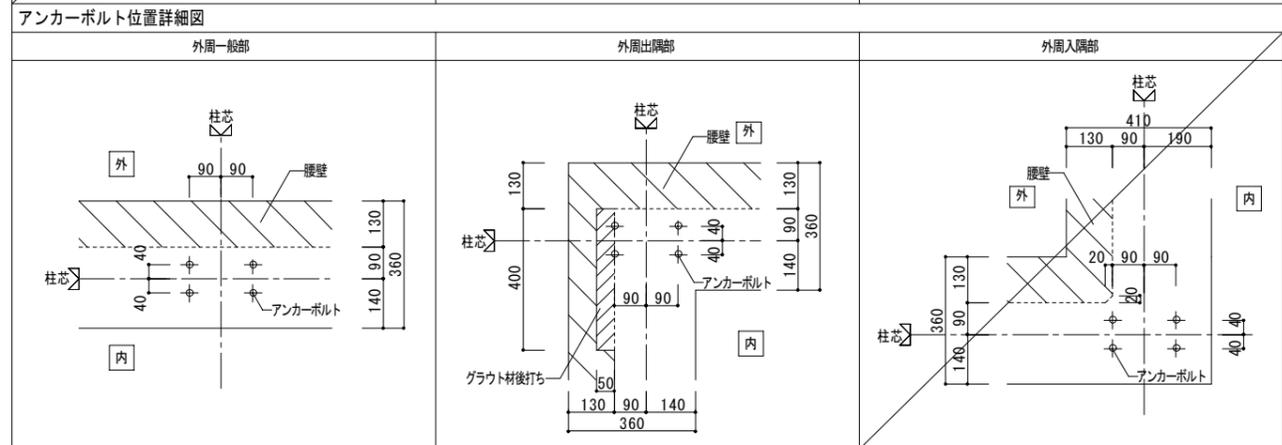
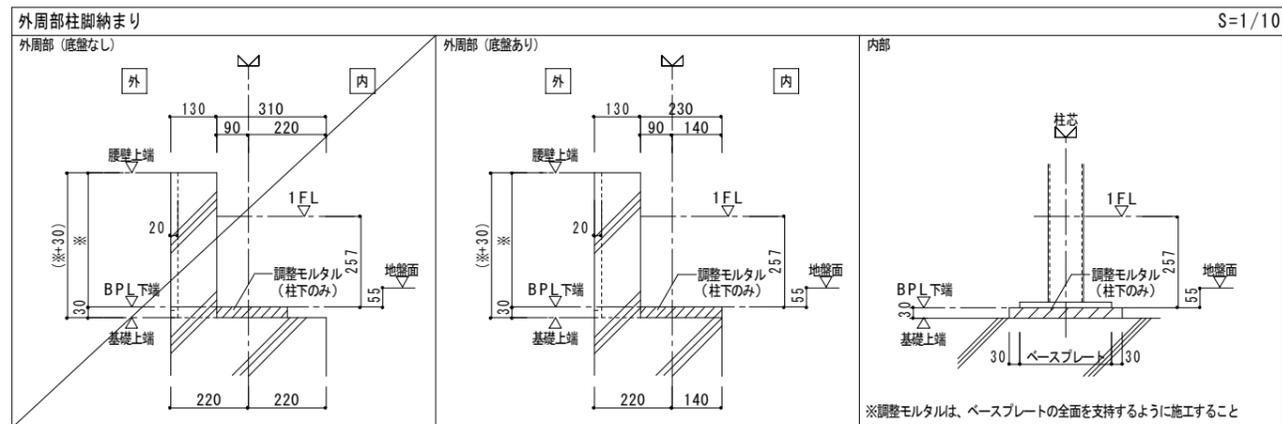
<p>①誘発目地</p> <p>使用箇所：土間スラブ全面 (塗床を含む土間スラブ露出部)</p> <p>目地材料：貧配合モルタルまたはシーリング材</p> <p>寸法形状：幅 3~5mm 深さ スラブ厚の1/4程度</p> <p>使用目的：コンクリートの乾燥収縮や支持地盤の不同沈下などによるひび割れをこの誘発目地に集中させ、他部分のひび割れの発生・進行を防止する。</p>	
<p>②打継目地(半絶縁型)</p> <p>使用箇所：コンクリートの打継部</p> <p>目地材料：シーリング材、エポキシ系注入目地材、樹脂製キャップなど</p> <p>寸法形状：一般仕様 15 x 15 鉄筋切断仕様 幅：6~10mm 深さ：スラブ厚の1/4程度</p> <p>※コンクリート打継部で鉄筋を切断する場合は、スリップバーを入れる。 相互の土間にはスリップバーにより平面上の1方向にのみ独立した動きが出来るが上下に段差がない。</p>	<p>(一般仕様)</p> <p>・打継部で鉄筋を切断しない目地材</p> <p>(鉄筋切断仕様)</p> <p>・打継部で鉄筋を切断する目地材</p> <p>後打ち部 埋じきや管</p> <p>スリップバー</p>
<p>③絶縁目地(完全絶縁型)</p> <p>使用箇所：機械基礎廻り、鉄柱廻り、幅(長さ)40mm以上ある場合の土間スラブ端部(腰壁との境)</p> <p>目地材料：樹脂系又はゴム系防水型独立気泡発砲体(商品名：ソフタイト、NKフィラーなど) ※エラストイトは、施工後はみ出す場合があるので使用不可。 上記の目地材を使用すること。</p> <p>寸法形状：幅 20または25mm 深さ 土間スラブ厚さ以上</p> <p>使用目的：柱廻りのひび割れ延長防止 機械振動を土間スラブに伝達させないため</p>	

溶接部の余盛高さ	溶接部の寸法許容差	頭付きスタッド	孔径	接合の精度																											
隅肉溶接 	アンダーカット 	スタッド溶接後の仕上がり高さとし、傾き $\Delta L, \theta$ 	<table border="1"> <tr> <th>ボルトの種類</th> <th>孔径 D</th> <th>軸径 d の範囲</th> </tr> <tr> <td>高力ボルト</td> <td><math>d + 2</math></td> <td><math>d &lt; 27</math></td> </tr> <tr> <td>ボルト</td> <td><math>d + 3</math></td> <td><math>d \geq 27</math></td> </tr> <tr> <td>アンカーボルト</td> <td><math>d + 5</math></td> <td></td> </tr> </table>	ボルトの種類	孔径 D	軸径 d の範囲	高力ボルト	$d + 2$	$d < 27$	ボルト	$d + 3$	$d \geq 27$	アンカーボルト	$d + 5$		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>図</th> <th>許容差</th> </tr> <tr> <td>孔の心ずれ e</td> <td></td> <td><math>e \leq 1\text{mm}</math></td> </tr> <tr> <td>孔相互の間隔 <math>\Delta P</math></td> <td></td> <td><math>-1\text{mm} \leq \Delta P \leq 1\text{mm}</math></td> </tr> <tr> <td>孔の食い違い e</td> <td></td> <td><math>e \leq 1\text{mm}</math></td> </tr> <tr> <td>孔のはしあき・へりあき <math>\Delta a</math></td> <td></td> <td><math>\Delta a 1 \geq -2\text{mm}</math> <math>\Delta a 2 \geq -2\text{mm}</math> かつ、平成12年建設省告示第1464号にある縁端距離を満足すること</td> </tr> </table>	名称	図	許容差	孔の心ずれ e		$e \leq 1\text{mm}$	孔相互の間隔 $\Delta P$		$-1\text{mm} \leq \Delta P \leq 1\text{mm}$	孔の食い違い e		$e \leq 1\text{mm}$	孔のはしあき・へりあき $\Delta a$		$\Delta a 1 \geq -2\text{mm}$ $\Delta a 2 \geq -2\text{mm}$ かつ、平成12年建設省告示第1464号にある縁端距離を満足すること
ボルトの種類	孔径 D	軸径 d の範囲																													
高力ボルト	$d + 2$	$d < 27$																													
ボルト	$d + 3$	$d \geq 27$																													
アンカーボルト	$d + 5$																														
名称	図	許容差																													
孔の心ずれ e		$e \leq 1\text{mm}$																													
孔相互の間隔 $\Delta P$		$-1\text{mm} \leq \Delta P \leq 1\text{mm}$																													
孔の食い違い e		$e \leq 1\text{mm}$																													
孔のはしあき・へりあき $\Delta a$		$\Delta a 1 \geq -2\text{mm}$ $\Delta a 2 \geq -2\text{mm}$ かつ、平成12年建設省告示第1464号にある縁端距離を満足すること																													
$0 \leq \Delta a \leq 0.4S$ かつ $\Delta a \leq 4$	前面隅肉溶接、側面隅肉溶接 $e \leq 0.3$ ただし、アンダーカット部分の長さの総和が溶接部分全体の長さの10%以下であり、かつ、その断面が鋭角的でない場合は、そのアンダーカットの深さ e を1mm以下とする事ができる。 上記は「鉄骨造の継手又は仕口の構造方法を定める件」（平成12年5月31日建設省告示第1464号）による。	管理許容差 $-1.5\text{mm} \leq \Delta L \leq +1.5\text{mm}$ $\theta \leq 3^\circ$	限界許容差 $-2\text{mm} \leq \Delta L \leq +2\text{mm}$ $\theta \leq 5^\circ$	上記は、JASS6の管理許容差を示す。																											

溶接基準図	柱～梁、梁～梁	柱～ベースプレート（一般柱、隅柱、開口部隅柱）	柱～ベースプレート（外部柱等）	柱～桁つなぎ材	梁～水平ブレース（ブレース径M12～M16）
	柱～鉛直ブレース（最上部）	柱～鉛直ブレース（中間部）	柱～鉛直ブレース（柱脚部）		
					※1：L1はフランジ上側の溶接長を示し、ゲージラインより40mm以上ずつ確保した寸法とする ※2：フランジ上側端部の溶接は40mm以上とし、2S以上まわし溶接とする ※3：L2はフランジ側面の溶接長を示し、ゲージラインより50mm以上ずつ、計100mm以上とする

丸鋼ブレース	軽量C形鋼 つづり合わせ	母屋の取付詳細	デッキプレート補足受け材（合成スラブ仕様）	デッキプレート（乾式床に限る）	梁との溶接及び頭付きスタッド（Vデッキ）
(M12～M22) 	溶接 	$H \leq 100$ $100 < H \leq 200$ $200 < H \leq 450$ $(450 < H \leq 550)$	デッキプレート補足受け材（合成スラブ仕様） 	デッキプレート（乾式床に限る） 受梁へのかかり寸法及び端部処理 	梁との溶接及び頭付きスタッド（Vデッキ） 合成スラブの場合は、別図合成スラブデッキ標準図を参照すること 
(M24～M33) 	はさみ板 	東：PL-4.5 脚部：PL-4.5曲げ加工 BOLT2-M12（強度区分4.8）	東：PL-4.5 脚部：PL-4.5曲げ加工 BOLT2-M12（強度区分4.8）	梁上通しの場合 既製品面戸（鉄板）折曲加工 梁上切断の場合 あて板（鉄板） あて板（非金属）	アークスポット溶接 $16\phi \text{ @ } 200$

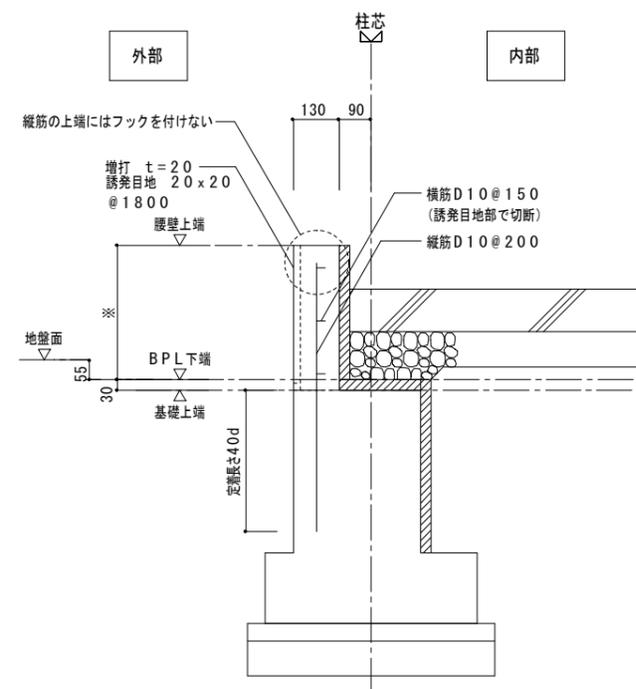
柱脚納まり図 S=1/10



腰壁配筋要領図 S=1/10

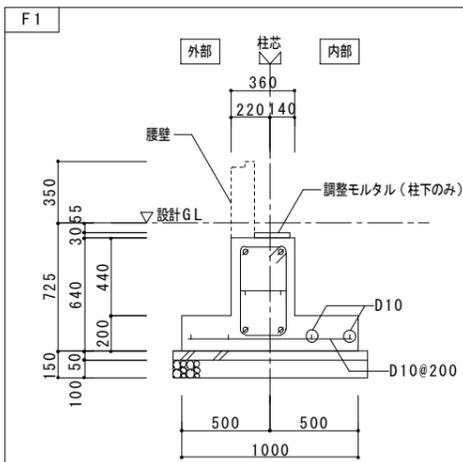
※部 (腰壁の立ち上がり)

外壁窯業系サイディング	平屋	450mm
	2階建て	390mm
外壁断熱サンドイッチパネル	平屋	465mm
	2階建て	485mm

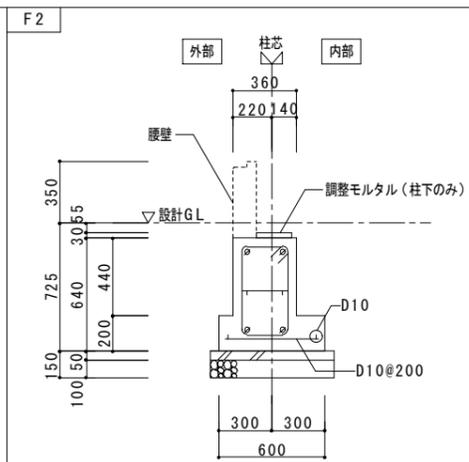




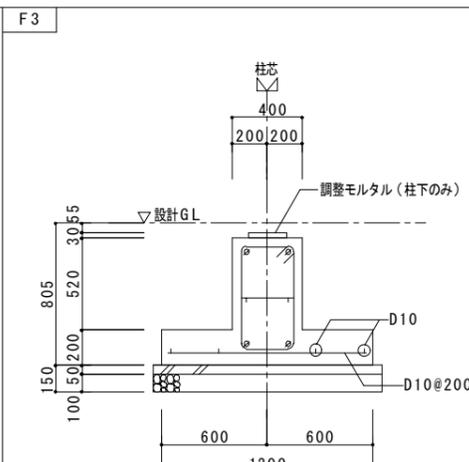
基礎断面図 S: 1/20



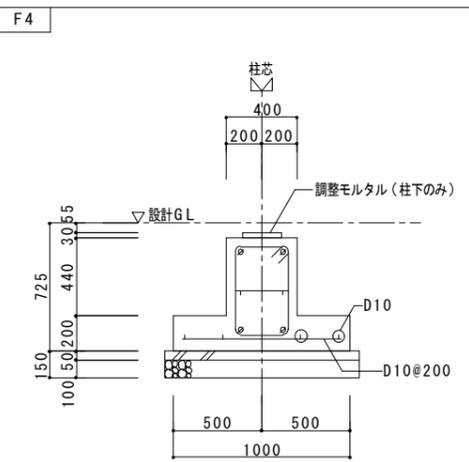
梁	主筋	上端筋	2-D16
		下端筋	2-D16
	STP		D13@200
	腹筋		2-D10
	巾止め筋		D10@1000



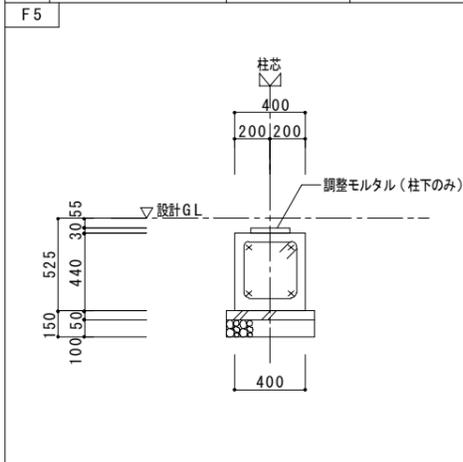
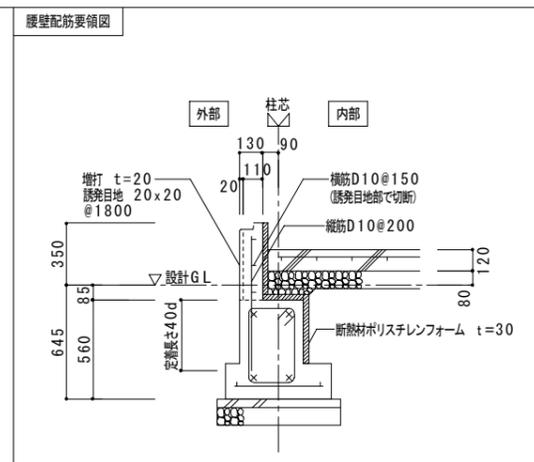
梁	主筋	上端筋	2-D16
		下端筋	2-D16
	STP		D13@200
	腹筋		2-D10
	巾止め筋		D10@1000



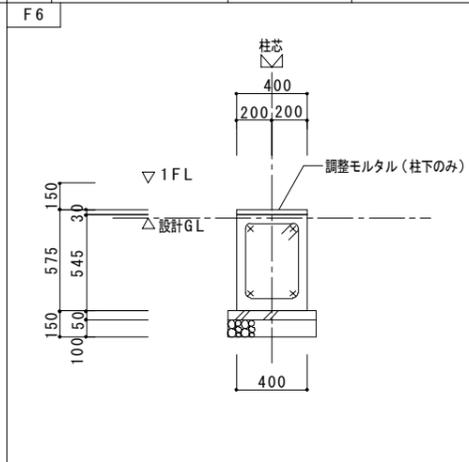
梁	主筋	上端筋	2-D16
		下端筋	2-D16
	STP		D13@200
	腹筋		2-D10
	巾止め筋		D10@1000



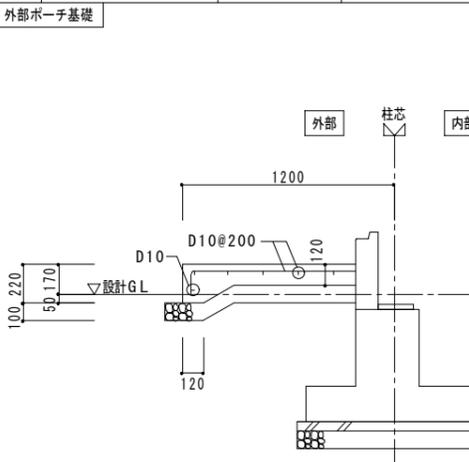
梁	主筋	上端筋	2-D16
		下端筋	2-D16
	STP		D13@200
	腹筋		2-D10
	巾止め筋		D10@1000



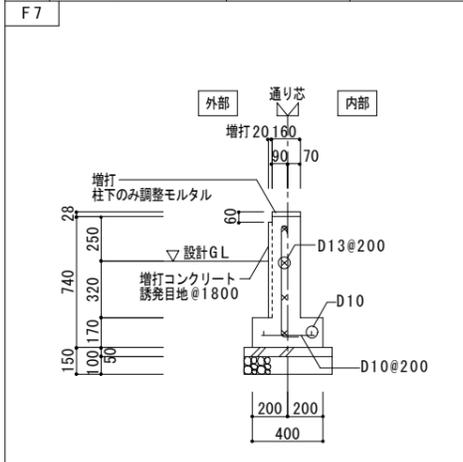
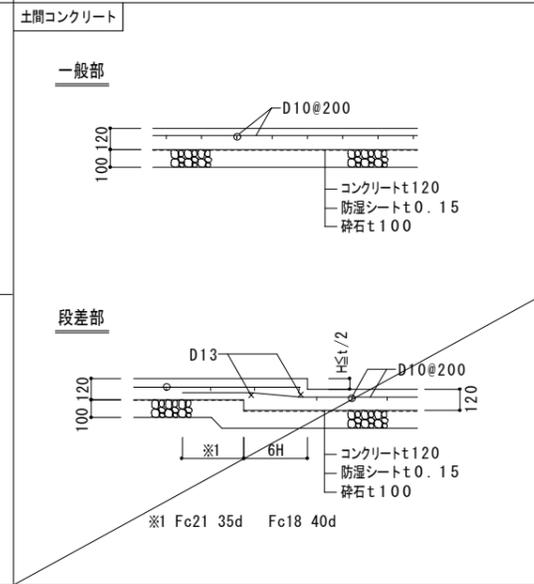
梁	主筋	上端筋	2-D13
		下端筋	2-D13
	STP		D13@200
	腹筋		-
	巾止め筋		-



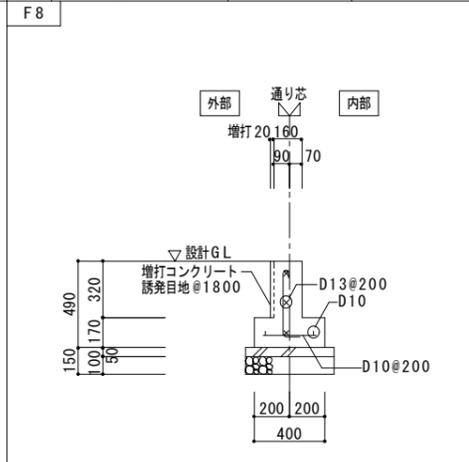
梁	主筋	上端筋	2-D13
		下端筋	2-D13
	STP		D13@200
	腹筋		-
	巾止め筋		-



梁	主筋	上端筋	2-D13
		下端筋	2-D13
	STP		D13@200
	腹筋		-
	巾止め筋		-

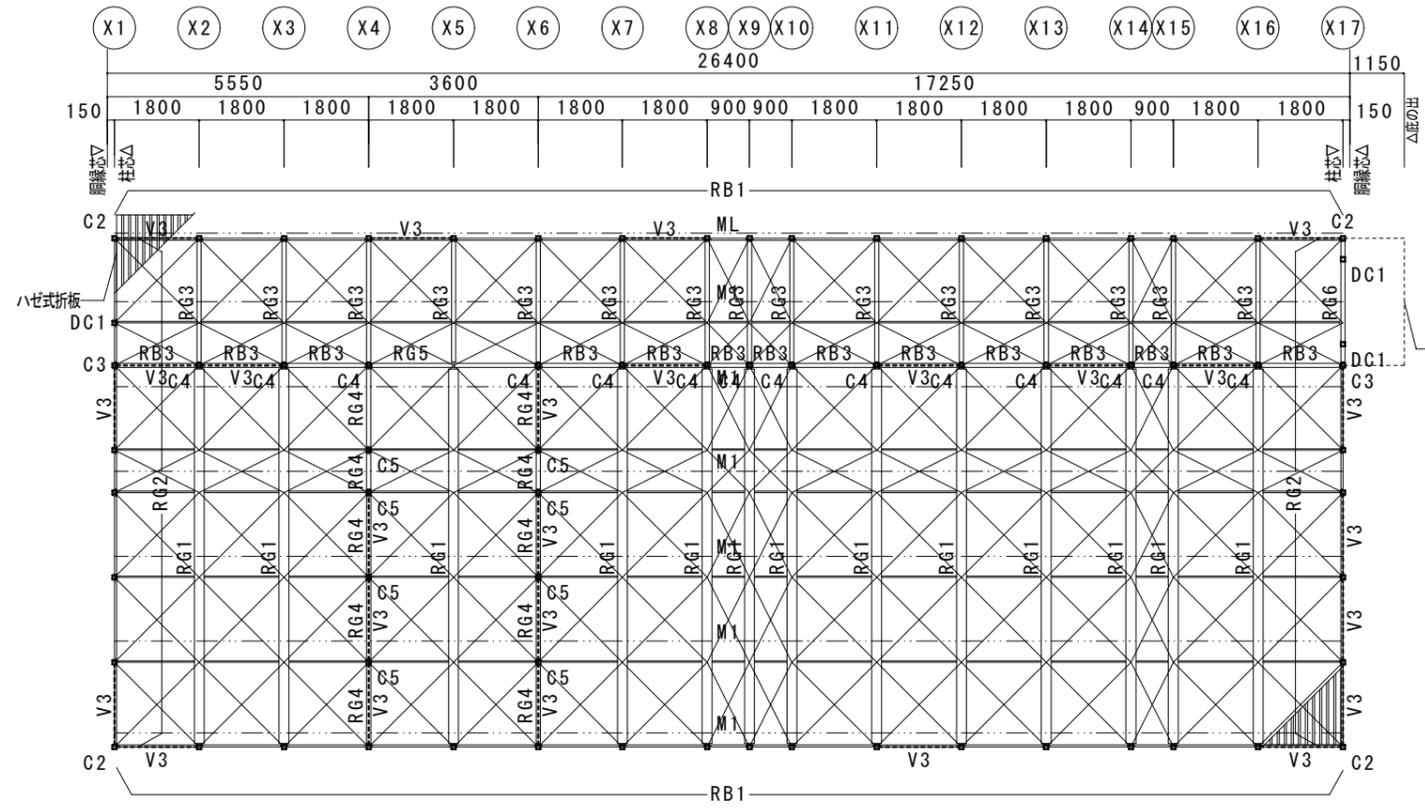
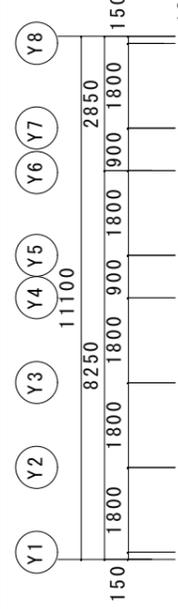
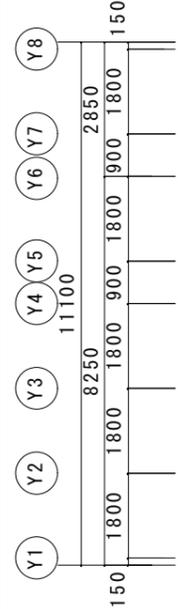


梁	主筋	上端筋	1-D13
		下端筋	1-D13
	STP		D10@200
	腹筋		2-D13
	巾止め筋		-



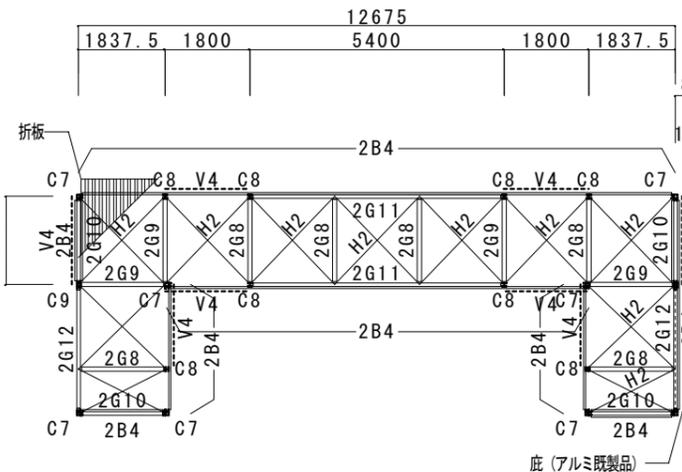
梁	主筋	上端筋	1-D13
		下端筋	1-D13
	STP		D10@200
	腹筋		2-D13
	巾止め筋		-

鉄筋径(呼び名)	D10	D13	D16	D19	D22	D25
表示記号	-	×	∅	●	○	◎

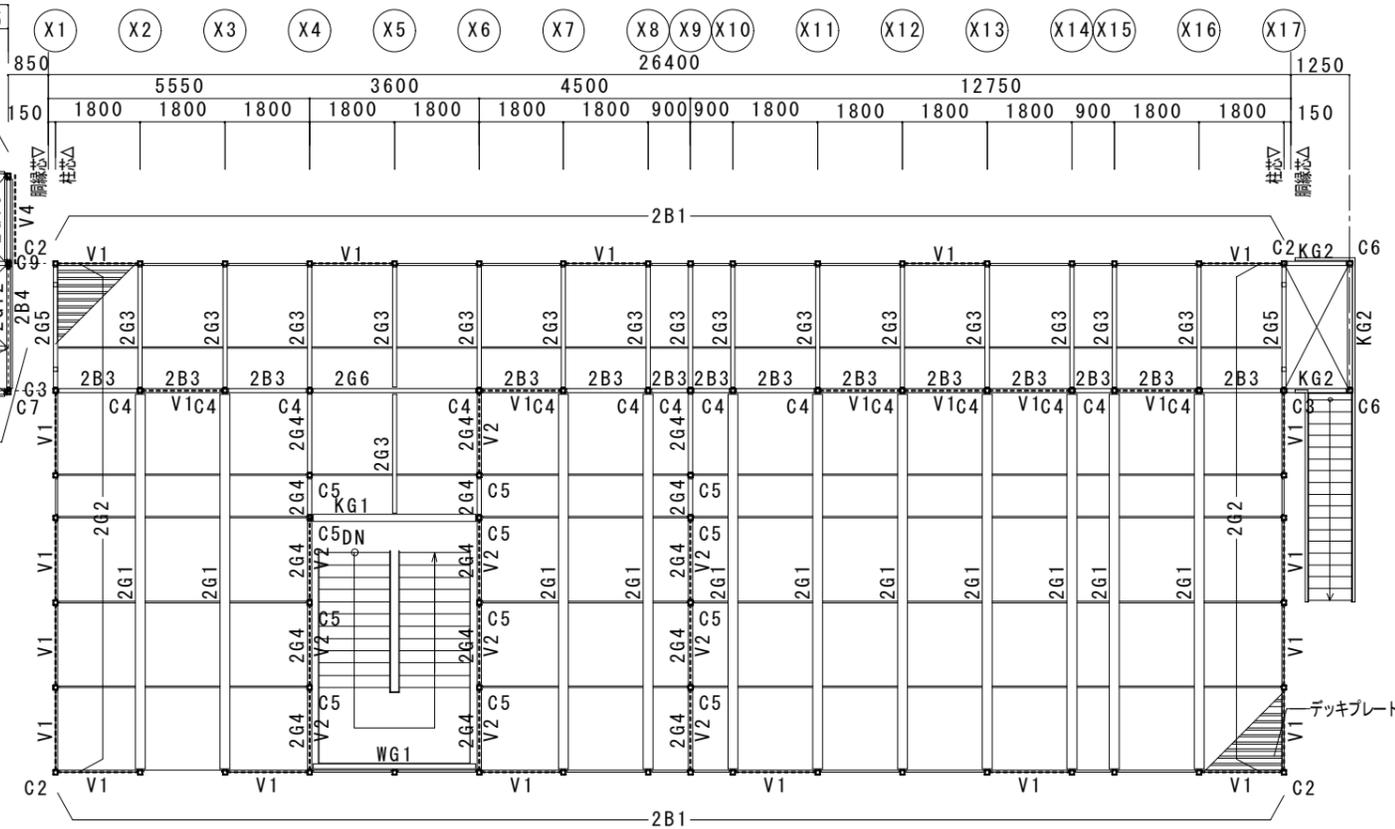


R階梁伏図 S:1/75

・特記なき場合は下記とする。  
 柱は、C1とする。  
 水平ブレースは、H1とする。  
 デッキプレートは、DS1とする。  
 梁つなぎは、2B2・RB2とする。



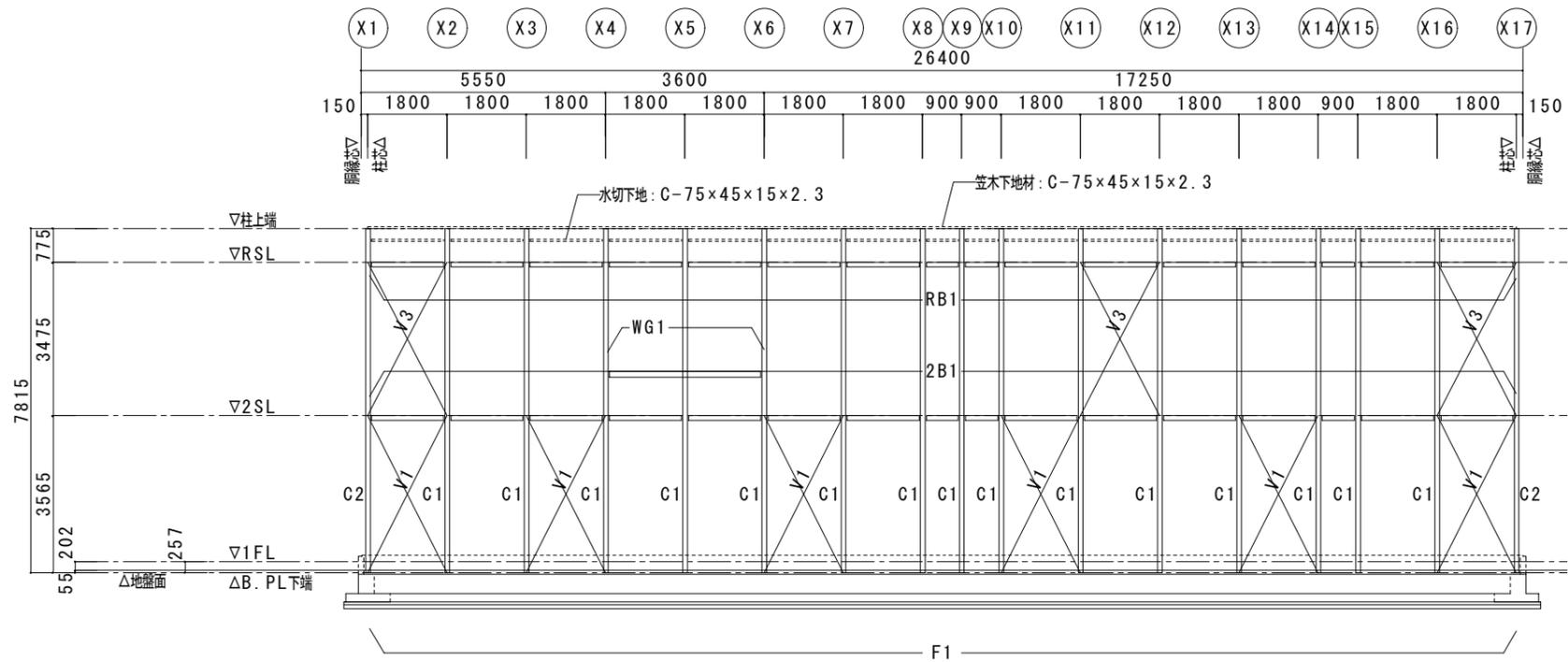
底 (アルミ既製品)



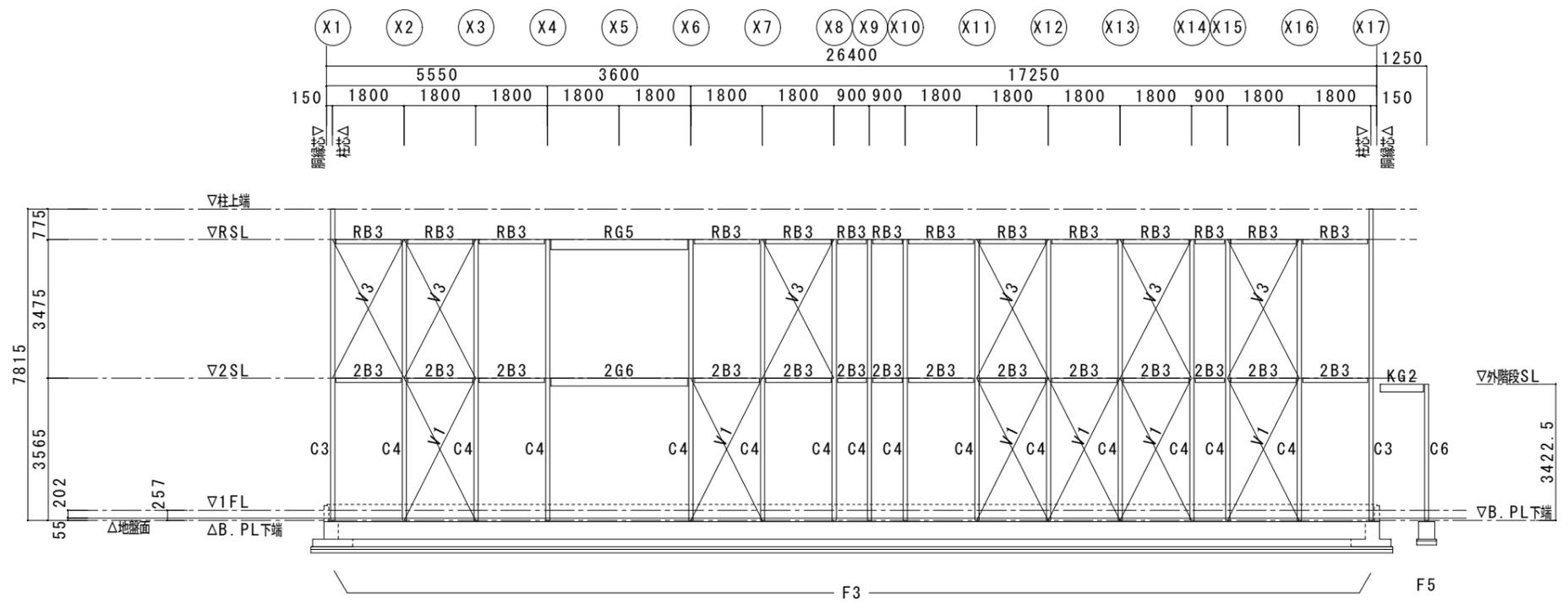
2階梁伏図 S:1/75

デッキプレート: DS1

横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設校舎設置その他工事
年月日	令和 6年 3月	縮尺	1/75 A3(1/150)
図面名称	梁伏図		
設計者	有限会社 小倉一級建築士事務所	図面枚数	1/10
施設番号	254463	図面番号	S-08

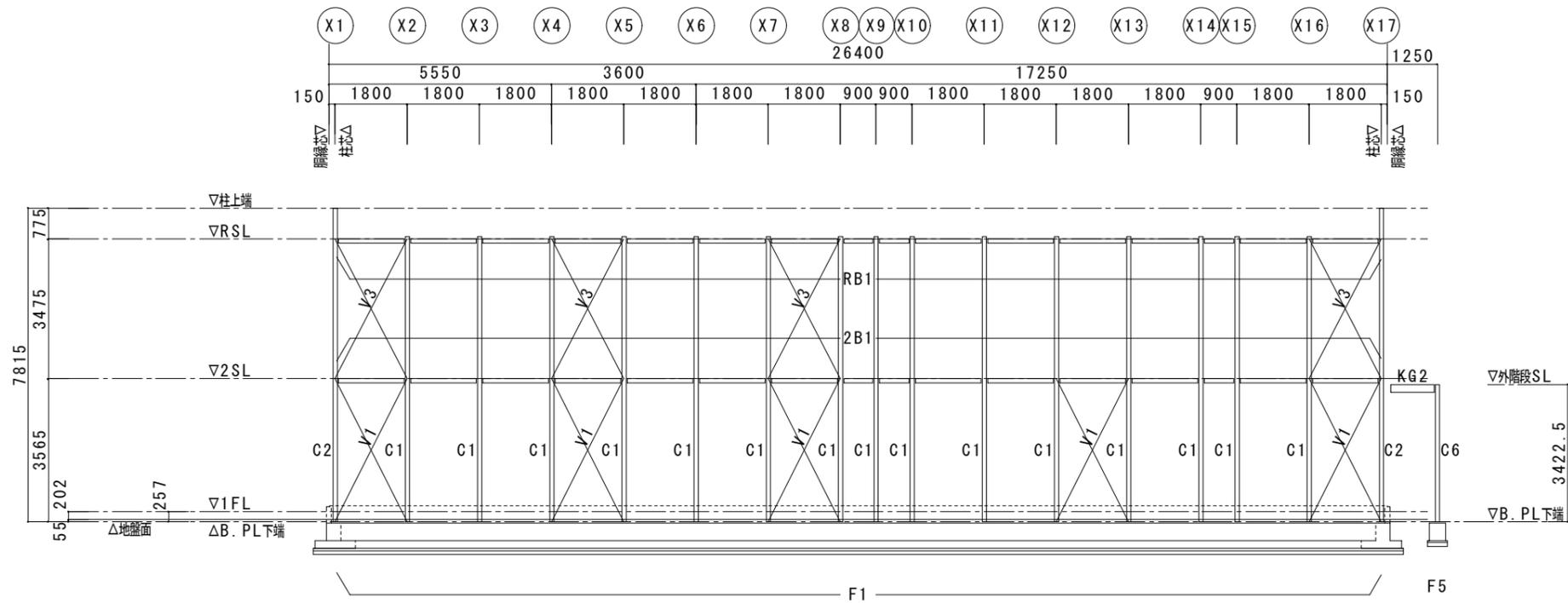


Y1通り軸組図 S:1/75

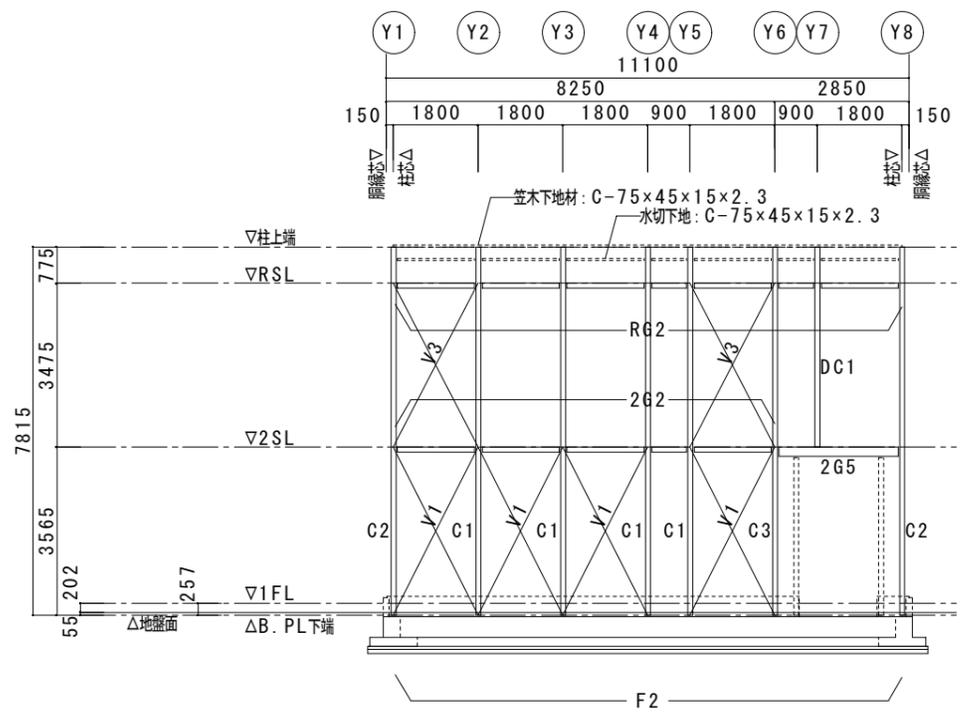


Y6通り軸組図 S:1/75

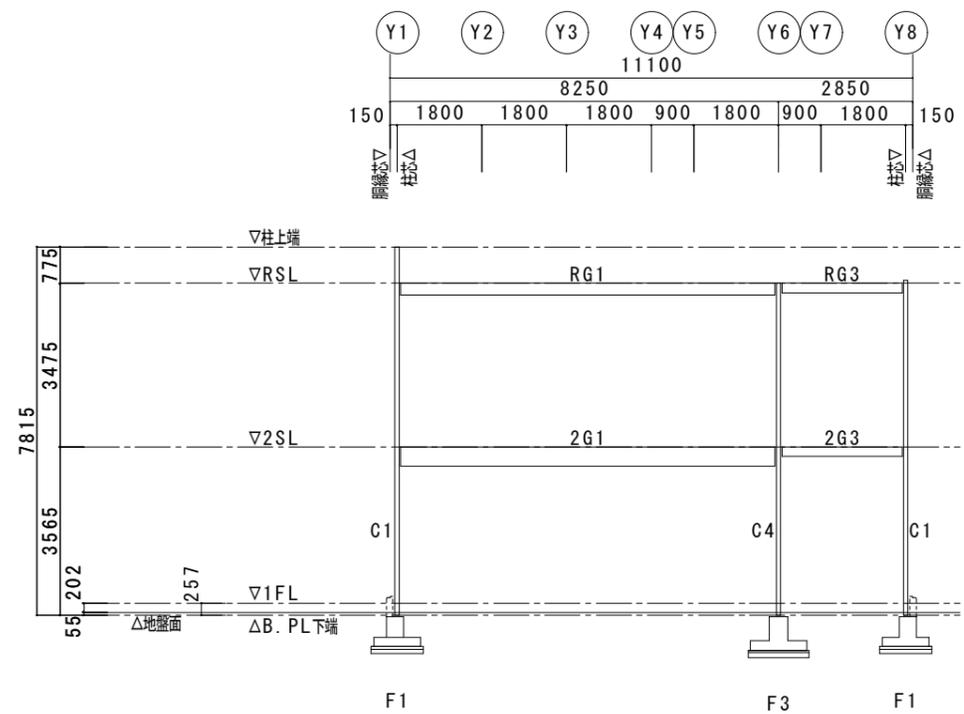
横浜市教育委員会		工事名	短小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	令和 6年 3月	縮尺	1/75	図面名称	
設計者		軸組図1			
有限会社 小倉一級建築士事務所		図面枚数	1/150		
一級建築士登録 第 254463 号 小倉 宏志		図面枚数	1/150		
		図面番号	S-09		



Y8通り軸組図 S:1/75

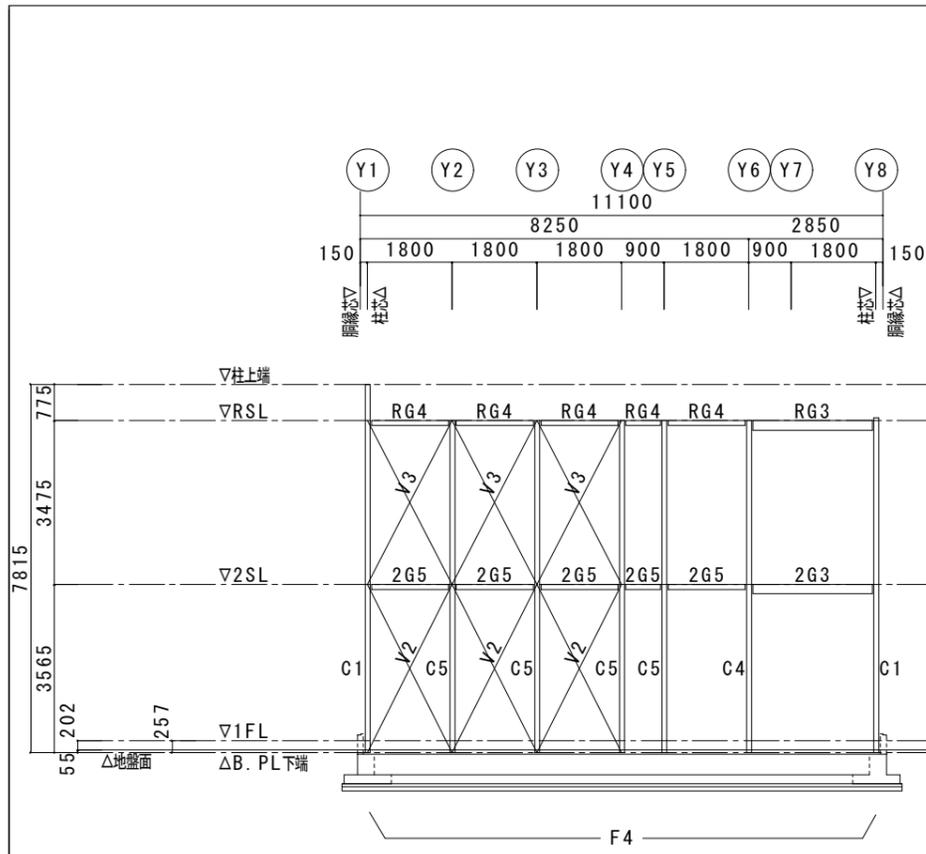


X1通り軸組図 S:1/75

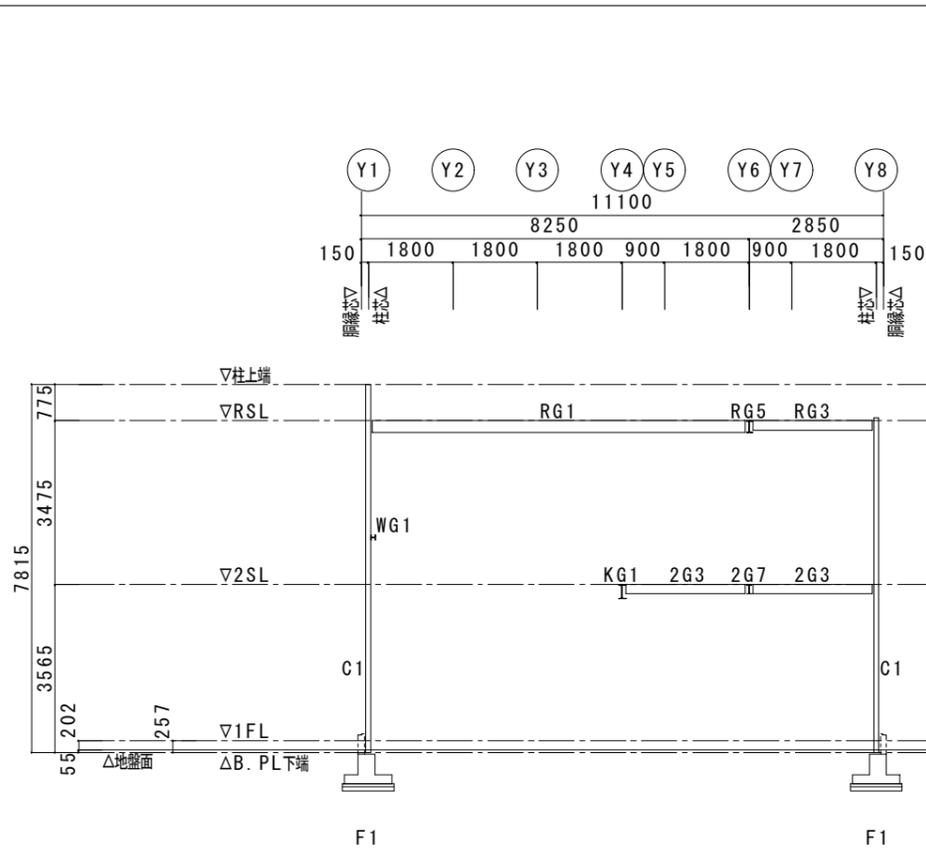


X2・X3・X7・X8・X10・X11・  
X12・X13・X14・X15・X16通り軸組図 S:1/75

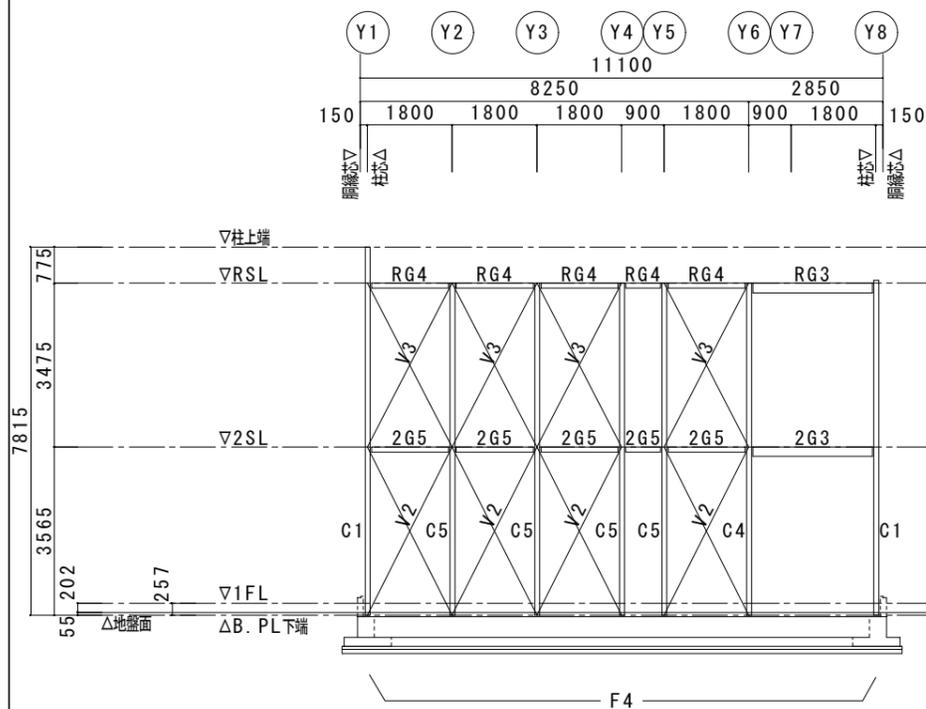
横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	令和 6年 3月	縮尺	1/75	図面名称	軸組図 2
			A3(1/150)	設計者	
				施 設 者	
				図面枚数	
				図面番号	
					S-10



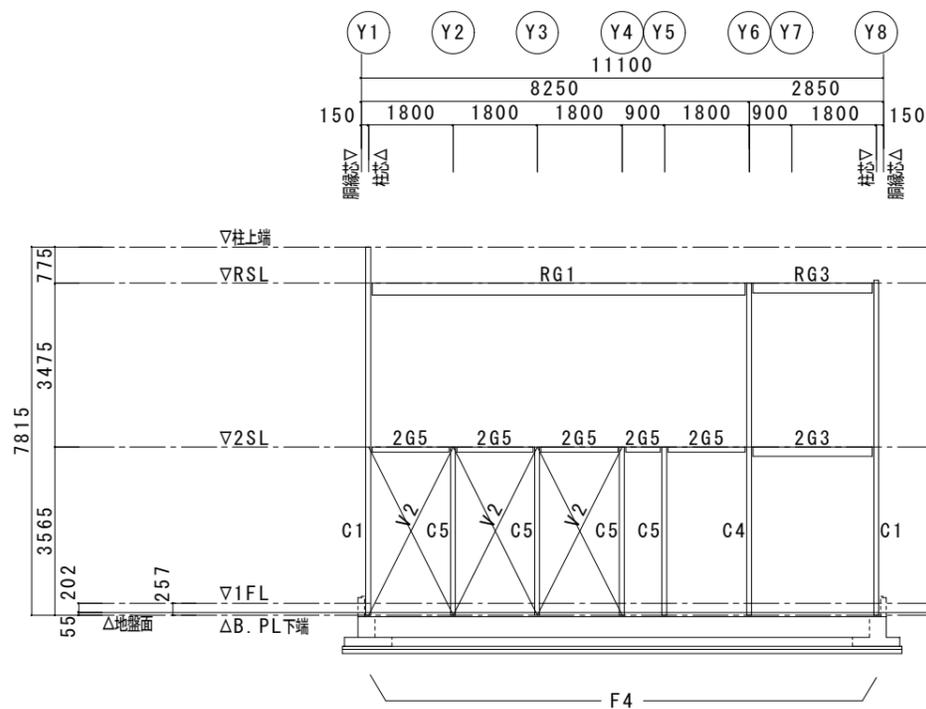
X4通り軸組図 S:1/75



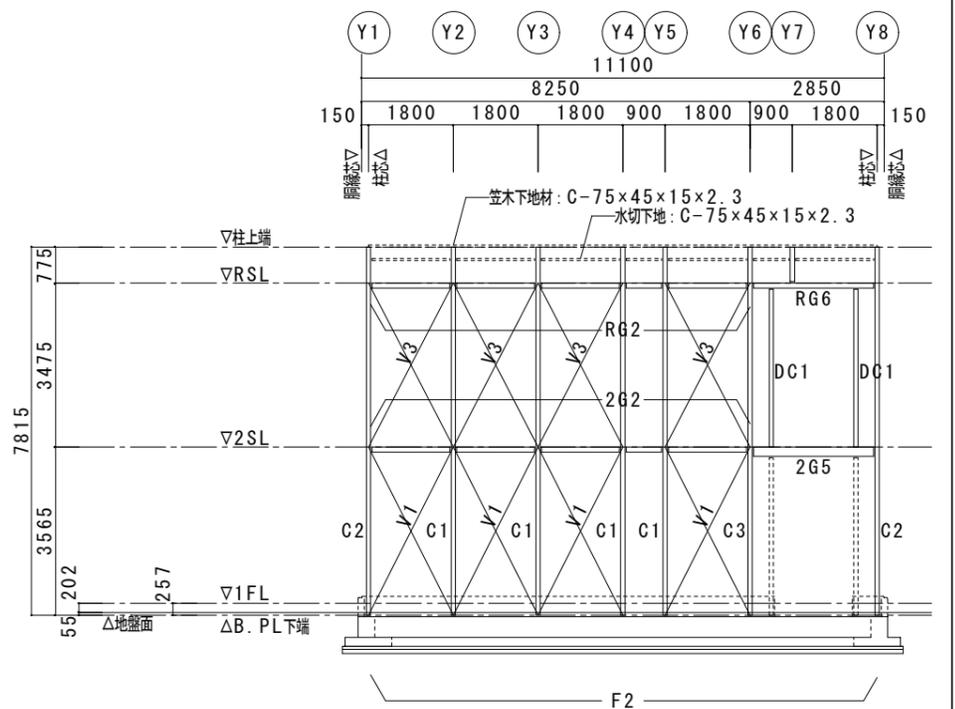
X5通り軸組図 S:1/75



X6通り軸組図 S:1/75



X9通り軸組図 S:1/75



X17通り軸組図 S:1/75

名称	C1		C2		C3		C4		C5		C6		DC1	
断面														
細長比														
部材	□-100x100x4.5	STKR400	□-100x100x3.2	STKR400	□-100x100x4.5	STKR400								
柱脚	B. PL-22 A. BOLT4-M16	SS400 SNR400B	B. PL-16 A. BOLT2-M16	SS400 SS400	GPL-6 BOLT3-M16	SS400 強度区分4.8								

名称	C7		C8		C9	
断面						
仕口	1Fフレス: M12又はM16		1Fフレス: M12又はM16		1Fフレス: M12又はM16	
細長比						
部材	□-75x75x2.3 +2C-75x45x15x2.3	STKR400 SSC400	LipH-75x90x15x3.2	SWH400L	□-75x75x2.3 +2C-75x45x15x2.3	STKR400 SSC400
柱脚	B. PL-16 A. BOLT2-M16	SN490B SNR400B	B. PL-16 A. BOLT2-M16	SN490B SNR400B	B. PL-16 A. BOLT2-M16	SN490B SNR400B

名称						
断面						
仕口						
細長比						
部材						
柱脚						

**アンカーボルト寸法表 S=NON** (単位: mm)

径 (d)	M12	M16	M20	M22	M24	M27	M30
BPL最大厚	16mm	22mm	25mm	28mm	32mm	36mm	40mm
L	240	320	400	440	480	540	600
a	30	40	50	55	60	70	80
b	50	65	80	90	100	110	120
c	80	95	110	120	125	135	140
D	50	50	60	75	75	90	100
t	9	9	16	16	16	16	16

位置 ※各柱の部材リスト及び、伏図による。  
 形状 ※部材リストに特記 (L型等) 無き場合や施工上支障がない場合はU型、J型を基本とする  
 材質 ※監理者と協議により、定着板を使用する事ができる。

特記事項  
 ※表記寸法は最低寸法とし、施工に支障のない範囲内で工事監理者確認の後変更可とする。  
 ※ナットはダブルナットとする。ボルトのねじ山は3山以上突出を確認する事。  
 ※SS400材は切削ネジとする。その他は転造ネジとする。  
 ※BPL下のモルタルは30mm以下とする。BPLは表内の最大厚以下とする。  
 ※L1寸法は部材リストによる。

**U型**

**J型**

※b=4d以上とする。

**L型**

※腰折L型!

※b=4d以上とする。

※L1寸法は部材リストによる。  
 ※L=L1+L2

**定着板**

※d=軸径+2mmとする

名称	2G1		2G2		2G3		2G4		2G5		2G6	
断面 仕口												
部材	H-400x200x8x13	SS400	C-100x50x5x7.5	SS400	H-200x100x5.5x8	SS400	2[-100x50x5x7.5	SS400	H-200x100x5.5x8	SS400	H-200x100x5.5x8	SS400
仕口	G. PL-9.0 BOLT4-M16	SS400 強度区分: 4.8	G. PL-6.0 BOLT2-M16	SS400 強度区分: 4.8	G. PL-6.0 BOLT2-M16	SS400 強度区分: 4.8	G. PL-6.0 BOLT2-M16	SS400 強度区分: 4.8	G. PL-6.0 BOLT2-M16	SS400 強度区分: 4.8	G. PL-6.0 BOLT2-M16	SS400 強度区分: 4.8
名称	2G8		2G9		2G10		2G11		2G12			
断面 仕口												
部材	LipH-75x90x15x2.3	SWH400L	A: LipH-75x90x15x2.3 B: C-60x30x10x2.3	SWH400L SSC400	C-75x45x15x2.3	SSC400	a: □-75x75x2.3以上 b: C-75x45x15x2.3以上 束: □-75x75x2.3以上	STKR400 SSC400 STKR400	a: □-75x75x2.3以上 b: C-75x45x15x2.3以上 束: □-75x75x2.3以上	STKR400 SSC400 STKR400		
仕口	G. PL-4.5 BOLT2-M12	SS400 強度区分: 4.8	G. PL-4.5 BOLT2-M12	SS400 強度区分: 4.8	BOLT2-M12以上	強度区分: 4.8	G. PL-4.5以上 BOLT3-M12以上	SS400 強度区分: 4.8	G. PL-4.5以上 BOLT3-M12以上	SS400 強度区分: 4.8		
名称	RG1		RG2		RG3		RG4		RG5		RG6	
断面 仕口												
部材	H-250x125x6x9	SS400	C-100x50x20x2.3	SSC400	H-200x100x5.5x8	SS400	2[-100x50x5x7.5	SS400	H-250x125x6x9	SS400	H-200x100x5.5x8	SS400
仕口	G. PL-6.0 BOLT3-M16	SS400 強度区分: 4.8	G. PL-4.5 BOLT2-M16	SS400 強度区分: 4.8	G. PL-6.0 BOLT2-M16	SS400 強度区分: 4.8	G. PL-6.0 BOLT2-M16	SS400 強度区分: 4.8	G. PL-6.0 BOLT3-M16	SS400 強度区分: 4.8	G. PL-6.0 BOLT2-M16	SS400 強度区分: 4.8
名称	WG1		KG1		KG2							
断面 仕口												
部材	H-100x100x6x8	SS400	H-300x150x6.5x9	SS400	H-200x100x5.5x8	SS400						
仕口	G. PL-6.0 BOLT4-M12	SS400 強度区分: 4.8	G. PL-6.0 BOLT3-M16	SS400 強度区分: 4.8	G. PL-6.0 BOLT2-M16	SS400 強度区分: 4.8						

名称	2B1		梁ツナギ 2B2 RB2		2B3 RB3		2B4		RB1		ML		M1			
断面仕口			C		 PL-6.0 BOLT1-M16 @600						L		C			
部材	[-100x50x5x7.5		SS400		C-60x30x10x2.3		SS400		2[-100x50x5x7.5		SS400		C-75x45x15x2.3		SS400	
仕口	G. PL-6.0		SS400		PL-4.5		SS400		G. PL-6.0		SS400		GPL-4.5		SS400	
	BOLT2-M16		強度区分: 4.8		BOLT2-M12		強度区分: 4.8		BOLT2-M16		強度区分: 4.8		BOLT2-M12		強度区分: 4.8	
名称	DS1 (合成床版)		ハゼ折板		折板											
断面仕口																
部材	EZ50 t=1.0 コンクリート 山止60mm		SDP2G		H=85, t=0.6 (二重折板)		H=88, t=0.5以上									
仕口																
名称	内階段				外階段											
断面仕口																
部材	a: PL-4.5 b: PL-12x250 c: C. PL-3.2				a: C. PL-4.5 b: PL-12x250											
仕口	B. PL-12x110x300 A. BOLT 1-M16				G. PL-6.0 BOLT2-M16				B. PL-12x110x300 A. BOLT 1-M16							
	SS400				SS400				SS400							
	SS400				強度区分: 4.8				SS400							
	SS400				強度区分: 4.8				強度区分: 4.8							
名称																
断面仕口																
部材																
仕口																

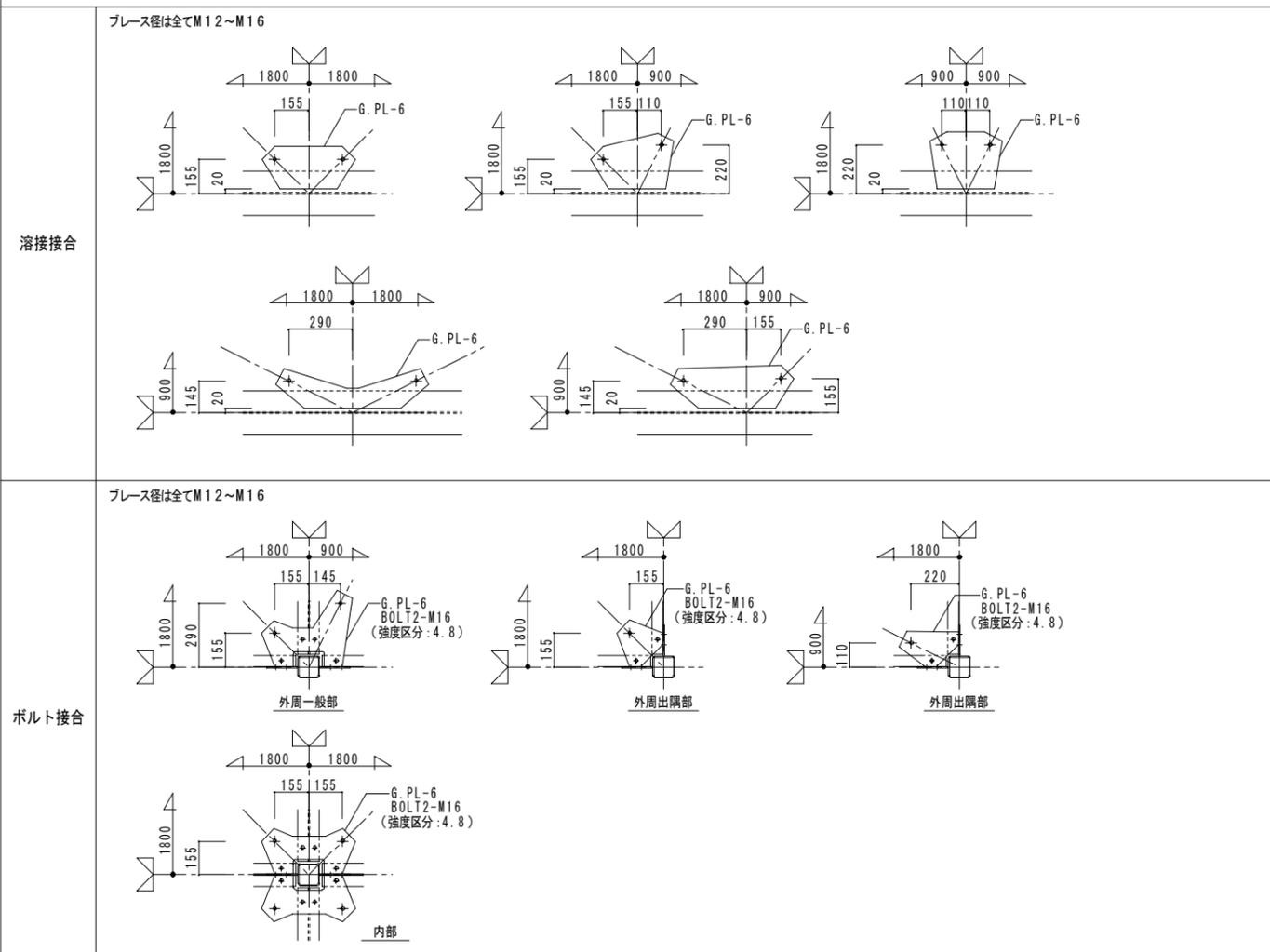
鉛直ブレース G. PL

S=1/15

水平ブレース G. PL

S=1/15

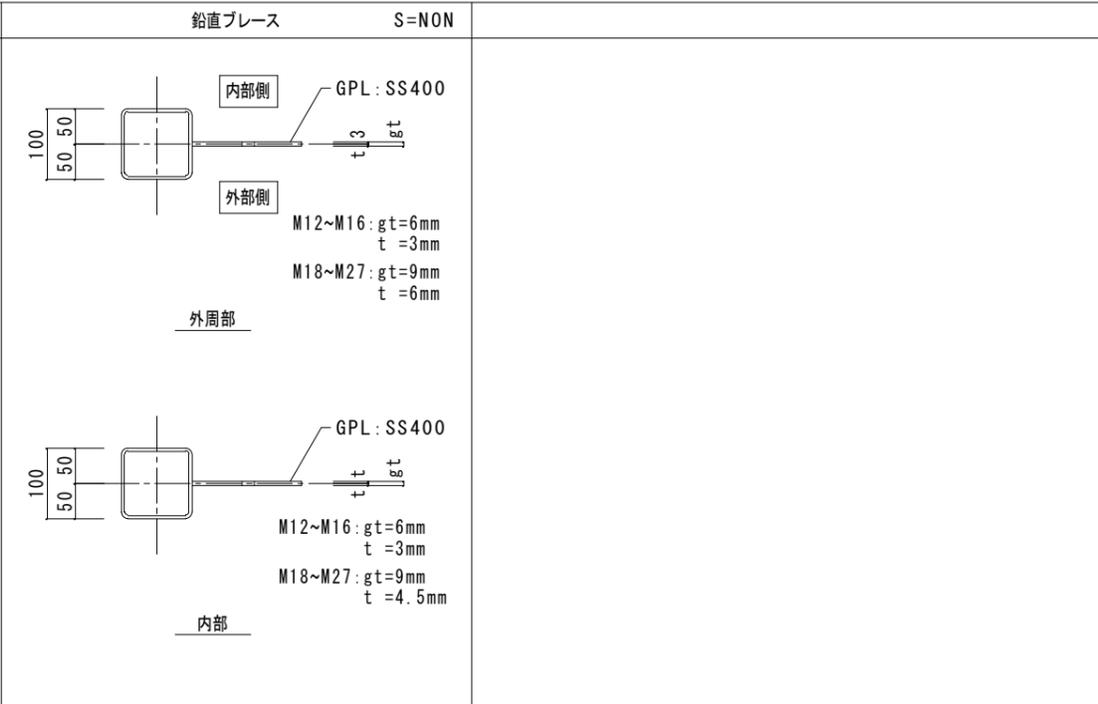
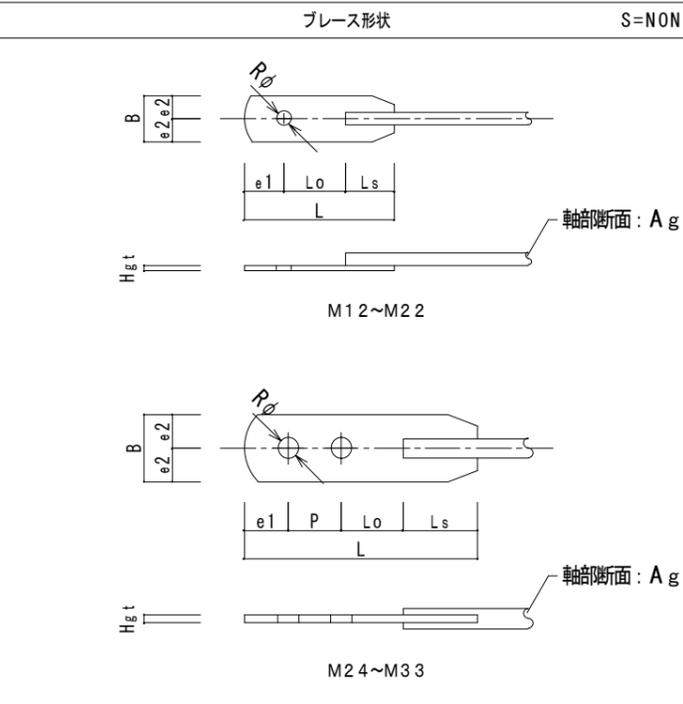
建物規模	平屋		2階建		3階建	
形式	1段ブレース	2段ブレース	1段ブレース	2段ブレース	1段ブレース	2段ブレース
最上階						
中間階						
最下階 平屋：1階						
柱脚部						

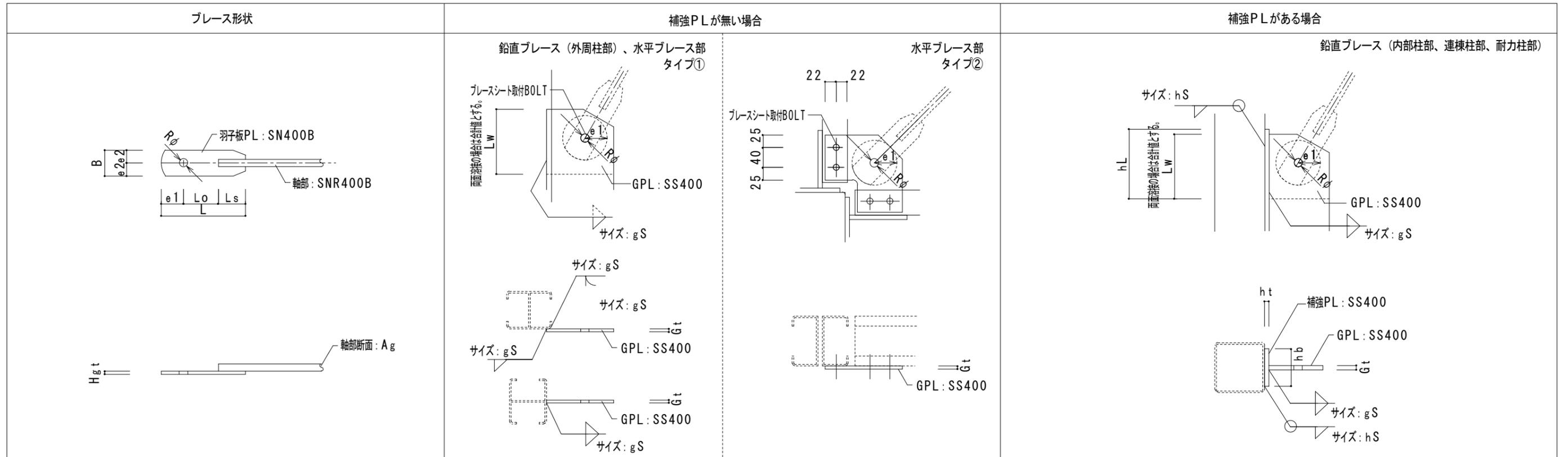


ブレース		羽子板 (mm)							取付ボルト					
採用	記号	ねじの呼び	軸部断面積 Ag (cm <sup>2</sup> )	板厚 Hgt	板幅 B	へりあき e2	はしあき e1	孔径 Rφ	Lo	Ls	ピッチ P	本数	ねじの呼び	中ボルト強度区分
○	H1	M12	0.88	6	50	25	40	17	52	40	-	1	M16	10.9
		M14	1.20	6	50	25	40	17	52	50	-	1	M16	10.9
○	V3	M16	1.63	6	50	25	45	17	59	55	-	1	M16	10.9
		M18	2.02	9	65	32.5	50	21.5	60	60	-	1	M20	10.9
○	V2	M20	2.56	9	65	32.5	50	21.5	60	75	-	1	M20	10.9
○	V1	M22	3.16	9	75	37.5	55	23.5	73	85	-	1	M22	10.9
		M24	3.69	9	75	37.5	50	21.5	70	85	60	2	M20	10.9
		M27	4.78	9	90	45	50	21.5	72	90	60	2	M20	10.9
		M30	5.86	12	90	45	55	23.5	83	95	60	2	M22	10.9
		M33	7.22	12	100	50	55	23.5	90	110	60	2	M22	10.9

備考

- ・JIS A5540、A5541 建築用ターンバックル
- ・材質：丸鋼 SNR400B
- 羽子板 SN400B
- ・数値は構造計算上の最小値を示し、製作時は上記数値以上とすること。
- ・〇〇Aは2段ブレースを示す。





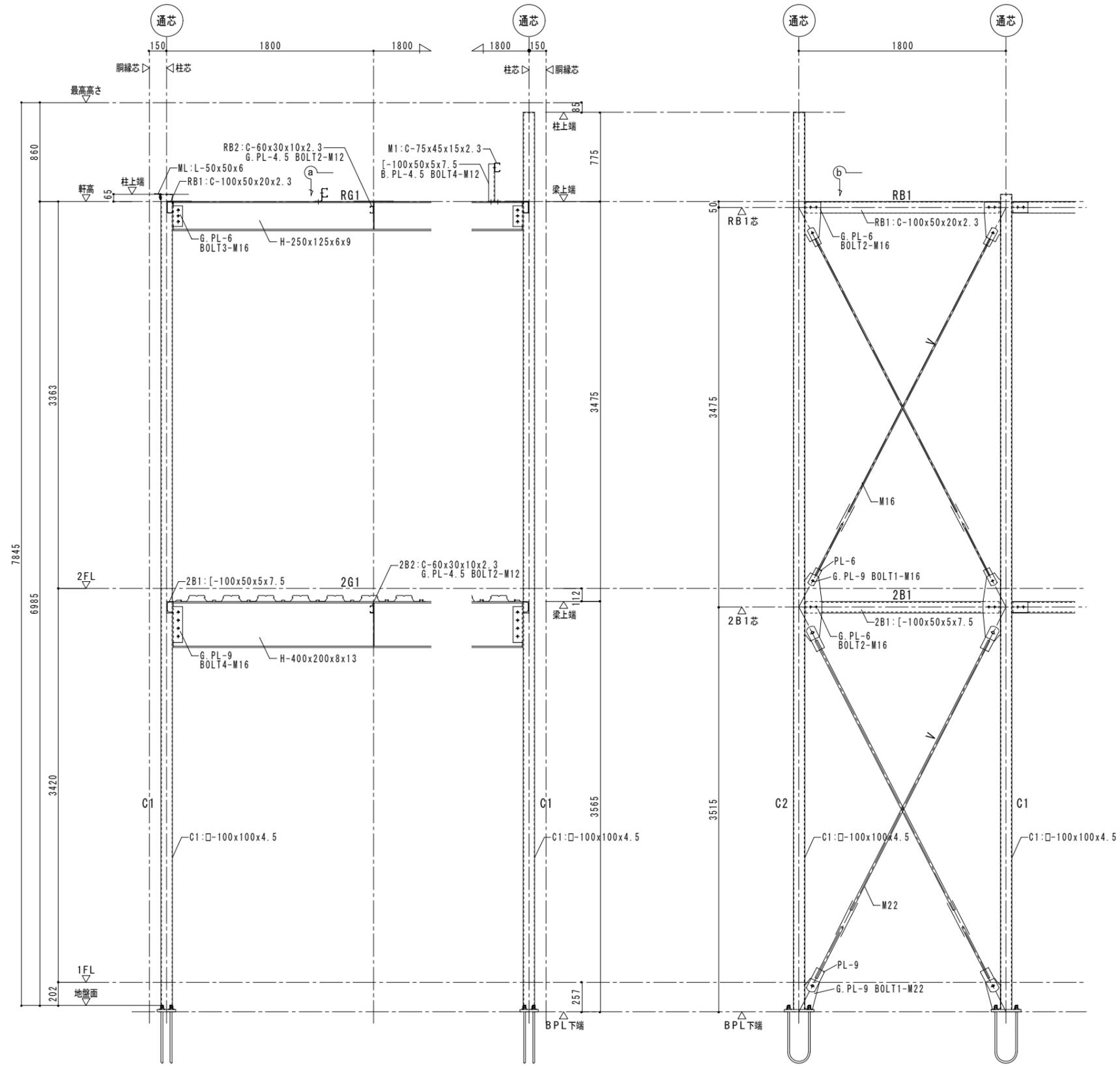
ブレース				羽子板							GPL					羽子板取り付けボルト		ブレースシート取り付けボルト (タイプ②のみ)			GPL					取り付けボルト			補強PL				
採用	記号	ねじの呼び	軸部断面 Ag (cm <sup>2</sup> )	(mm)							(mm)					本数 (本) n	ねじの呼び	中ボルト 強度区分	本数 (本) n	ねじの呼び	中ボルト 強度区分	(mm)					本数 (本) n	ねじの呼び	中ボルト 強度区分	(mm)			
				板厚 Hgt	板幅 B	へりあき e2	はしあき e1	孔径 Rφ	Lo	Ls	板厚 Gt	はしあき e1	孔径 Rφ	溶接サイズ gS	溶接長 Lw							板厚 Gt	はしあき e1	孔径 Rφ	溶接サイズ gS	溶接長 Lw				板厚 ht	板幅 hb	板長 hL	溶接サイズ hs
○	H2	M12	0.88	6.0	50	25	40	17	52	40	6.0	40	17	2.3	80	1	M16	10.9	4	M12	4.8	無し					無し						
		M12	0.88	6.0	50	25	40	17	52	40	6.0	40	17	2.3	200	1	M16	10.9	無し			同左				9.0	80	250	4.5				
○	V4	M16	1.64	6.0	50	25	45	17	59	55	6.0	45	17	2.3	200	1	M16	10.9	無し			同左				9.0	80	250	4.5				
		M20	2.58	9.0	65	32.5	50	21.5	66	75	9.0	50	21.5	2.3	200	1	M20	10.9	無し			同左				9.0	80	250	4.5				

備考

材質: 丸鋼 JISG3138 SNR400B ※ 庇の水平ブレースはメッキ仕様とし、取付ボルトはF8T(支圧接合)と読み替える。

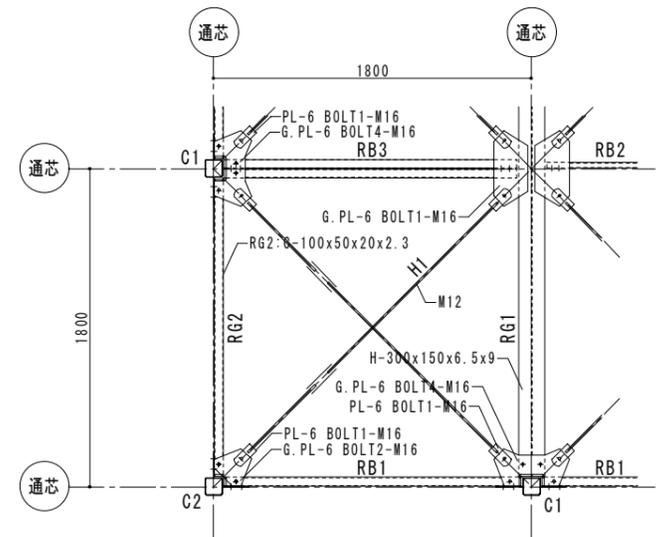
羽子板 JISG3136 SN400B

※ 数値は構造計算上の最小値を示す。製作時は上記数値以上とする。



X通り鉄骨詳細図 S=1/20

Y通り鉄骨詳細図 S=1/20



b部詳細図

横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設校舎設置その他工事		
年月日	令和6年3月	縮尺	1/20	図面名称	鉄骨詳細図
設計者		施設番号	棟番号	図面枚数	図面番号
有限会社 小倉一級建築士事務所 一級建築士登録 第254463号 小倉 宏志					S-17

# 旭小学校仮設教室設置その他工事（電気設備工事）

工事場所 鶴見区北寺尾四丁目25番1号

- 工事概要
- 1) 仮設校舎を新設する
  - 2) 校舎棟からの渡り廊下を新設する

電気設備工事

1. 上記建築工事に伴う電気設備工事を行う

工事仕様

- 1) 本工事は現場説明書、質問回答書、図面の他、下記基準により施工する。
  - a) 横浜市建築局「電気設備工事特別仕様書」（工事公告時最新版）による。
  - b) 公共建築工事標準仕様書「機械設備工事編」（工事公告時最新版）による。

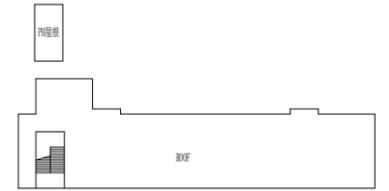
工事項目

1. 幹線・動力設備工事
2. 電灯・コンセント設備工事
3. 弱電・自動火災報知設備工事
4. その他通信設備工事

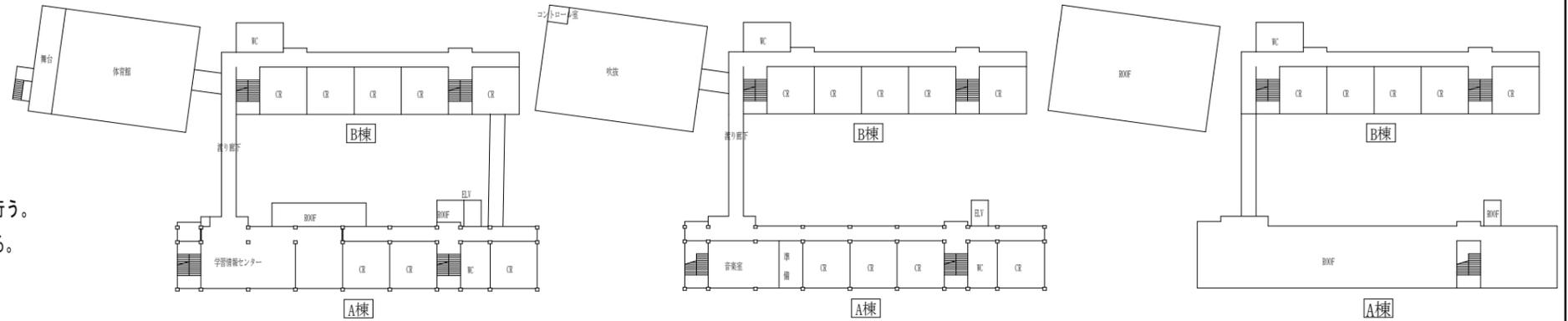
特記事項

1. 電気設備技術基準、内線規程並びに官公庁諸法規に準拠し施工する事。
2. 工事に際して事前に十分な調査を行い設計内容を十分に理解確認の上施工する。  
また不明事項については施工前に必ず監督員に連絡し指示を受けて施工する。
3. 別途発注の各工事業者とは着工に当たって十分な打合せを行い取合工事区分等の確認を行う。
4. 着工に当たって各工事業者、監督員と協議の上実施工程表を作成し監督員の承諾を受ける。
5. 工事中は、学校運営に支障なきよう安全対策に留意する。
6. 照明器具取外再取付に当たって器具清掃、管球取替とする。

図面リスト			
図面番号	図面名称	縮尺	
E-01	特記仕様書・案内図・配置図	A1:1/500	A3:1/1000
E-02	改修前・改修後受変電設備単線結線図	—	
E-03	改修後1、2階幹線・弱電設備平面図	A1:1/200	A3:1/400
E-04	仮設校舎1、2階幹線設備平面図	A1:1/100	A3:1/200
E-05	仮設校舎1、2階電灯設備平面図	A1:1/100	A3:1/200
E-06	仮設校舎1、2階コンセント設備平面図	A1:1/100	A3:1/200
E-07	仮設校舎1、2階弱電設備平面図	A1:1/100	A3:1/200
E-08	仮設校舎1、2階火報設備平面図	A1:1/100	A3:1/200



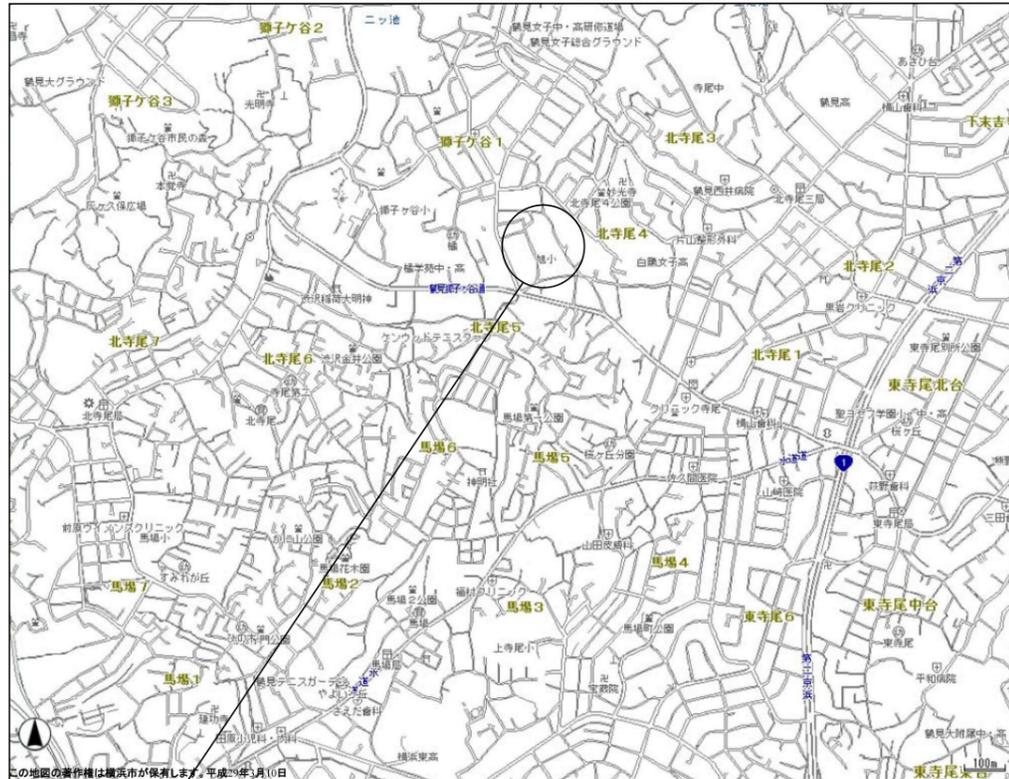
屋根伏図(S=1/600)



2階平面図(S=1/600)

3階平面図(S=1/600)

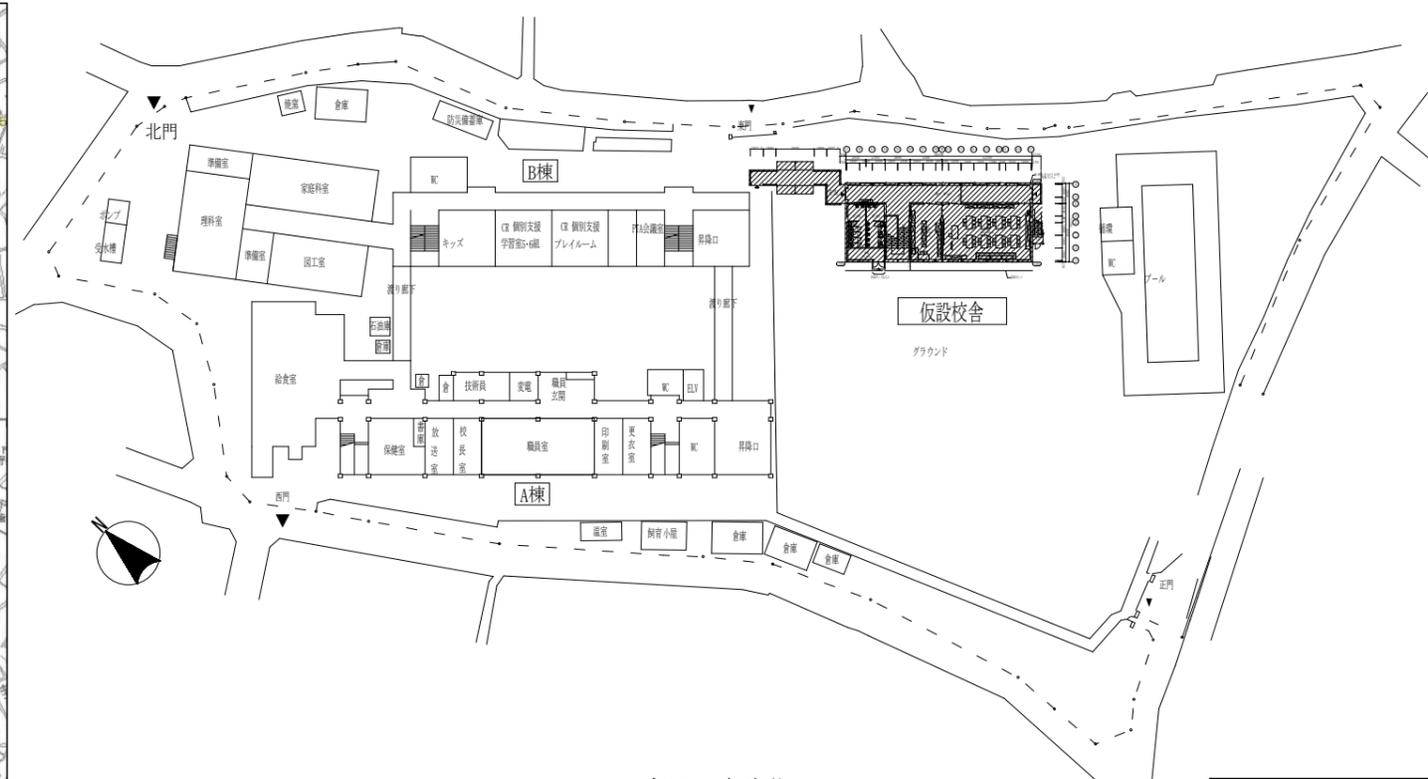
4階平面図(S=1/600)



案内図  
NO. SCALE

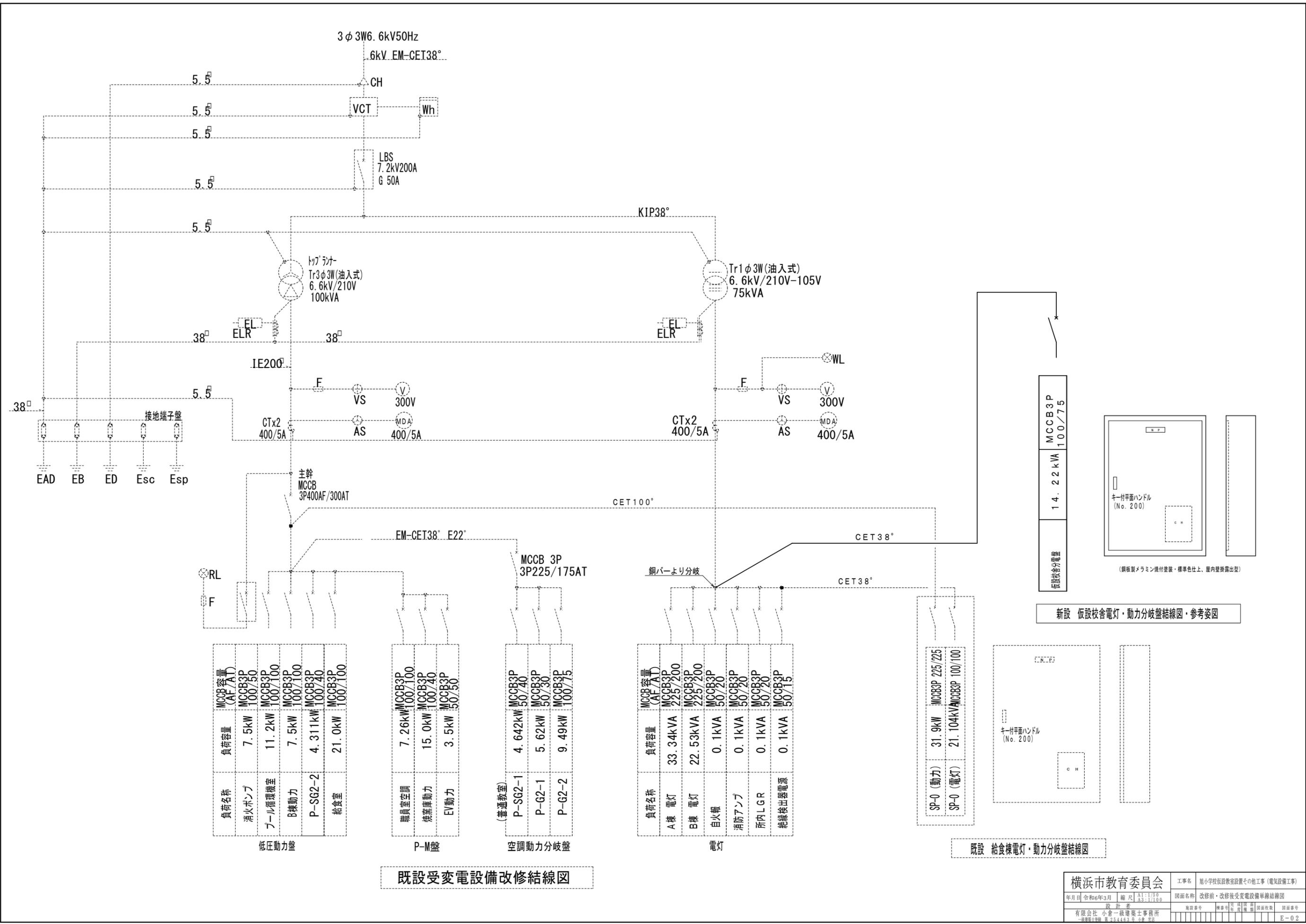
工事場所: 横浜市立 旭小学校

この地図の著作権は横浜市が保有します。平成29年3月10日



配置図・1階平面図(S=1/500)

横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設教室設置その他工事（電気設備工事）			
年月日	令和6年3月	縮尺	A1:1/500	A3:1/1000	図面名称	特記仕様書・案内図・配置図
設計者		設計番号	種別	完成年度	図面枚数	図面番号
有限会社 小倉一級建築士事務所						E-01
〒225-4463 小倉 5-2-2						



負荷名称	負荷容量	MCCB容量 (AF/AI)
消火ポンプ	7.5kW	MCCB3P 100/50
プール循環機室	11.2kW	MCCB3P 100/100
B棟動力	7.5kW	MCCB3P 100/100
P-SG2-2	4.311kW	MCCB3P 100/40
給食室	21.0kW	MCCB3P 100/100

低圧動力盤

負荷名称	負荷容量	MCCB容量 (AF/AI)
職員室空調	7.26kW	MCCB3P 100/100
焼窯庫動力	15.0kW	MCCB3P 100/40
EV動力	3.5kW	MCCB3P 50/50

P-M盤

負荷名称	負荷容量	MCCB容量 (AF/AI)
P-SG2-1	4.642kW	MCCB3P 50/40
P-G2-1	5.62kW	MCCB3P 50/30
P-G2-2	9.49kW	MCCB3P 100/75

空調動力分岐盤  
(普通教室)

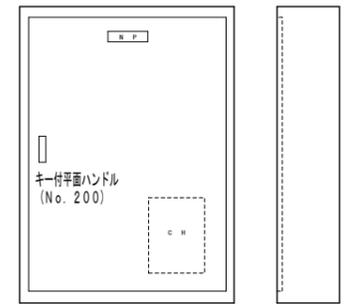
負荷名称	負荷容量	MCCB容量 (AF/AI)
A棟電灯	33.34kVA	MCCB3P 225/200
B棟電灯	22.53kVA	MCCB3P 225/200
自火報	0.1kVA	MCCB3P 50/20
消防アンプ	0.1kVA	MCCB3P 50/20
所内LGR	0.1kVA	MCCB3P 50/20
絶縁検出器電源	0.1kVA	MCCB3P 50/15

電灯

負荷名称	負荷容量	MCCB容量 (AF/AI)
SP-0 (動力)	31.9kW	MCCB3P 225/225
SP-0 (電灯)	21.104kVA	MCCB3P 100/100

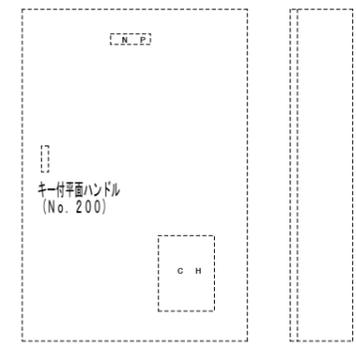
既設 給食棟電灯・動力分岐盤結線図

負荷名称	負荷容量	MCCB容量 (AF/AI)
飯詰検査分岐盤	14.22kVA	MCCB3P 100/75



(鋼板製メラミン焼付塗装・標準色仕上、屋内壁掛露出型)

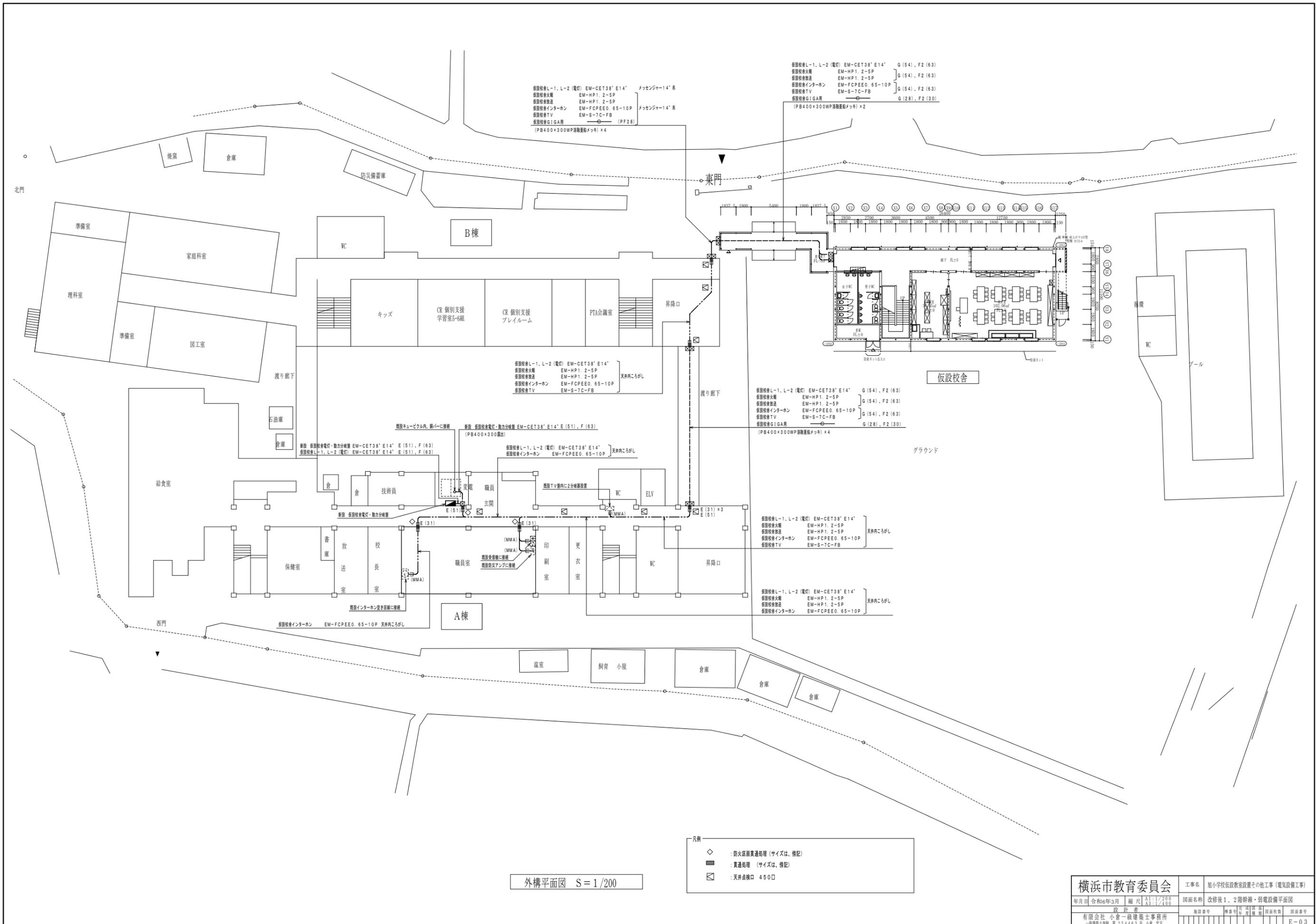
新設 仮設校舎電灯・動力分岐盤結線図・参考姿図



既設 給食棟電灯・動力分岐盤結線図

既設受変電設備改修結線図

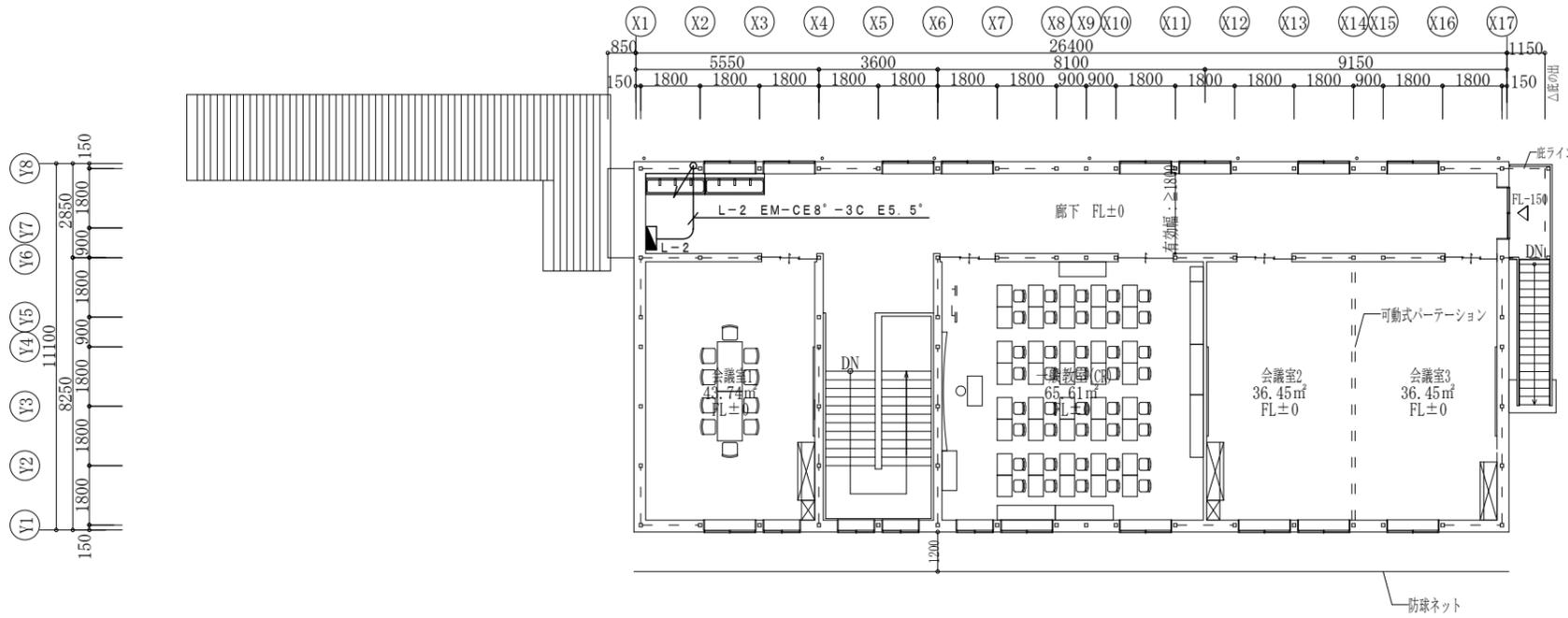
横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設教室設置その他工事(電気設備工事)		
年月日	令和6年3月	縮尺	A1:1/750 A3:1/1000	図面名称	改修前・改修後受変電設備単機結線図
設計者		監理者	図面枚数	図面番号	
有限会社 小倉一級建築士事務所		新設番号		種別	図面番号
一級建築士登録 第 254463 号 小倉 寛元				E-02	



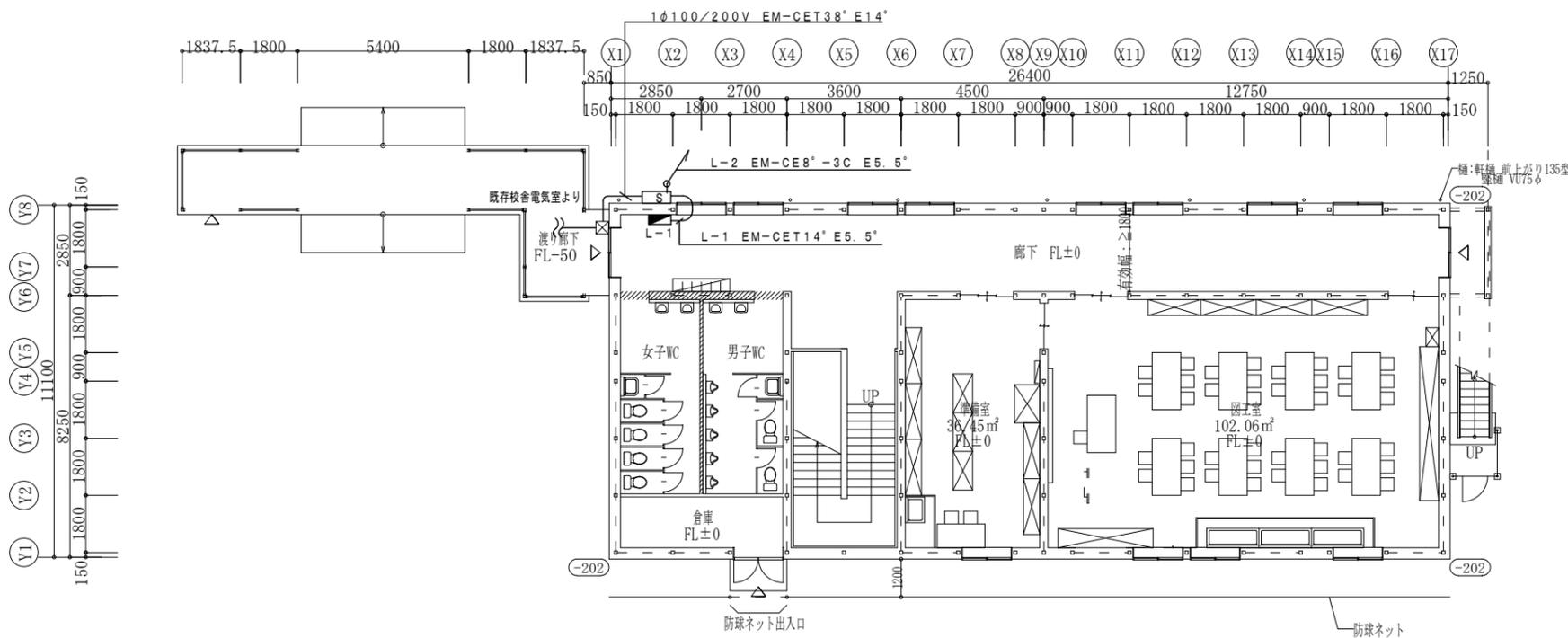
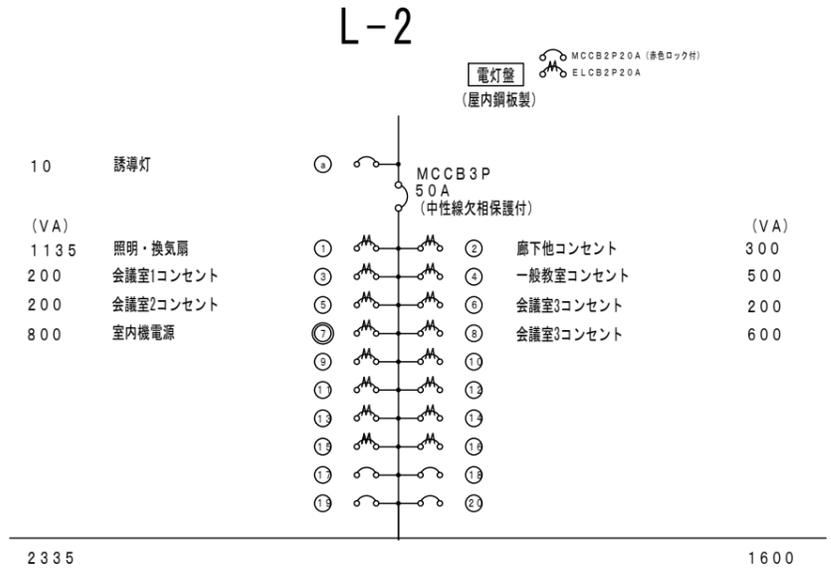
外構平面図 S=1/200

- 凡例
- ◇ : 防火区画貫通処理 (サイズは、後記)
  - : 貫通処理 (サイズは、後記)
  - : 天井点検口 450口

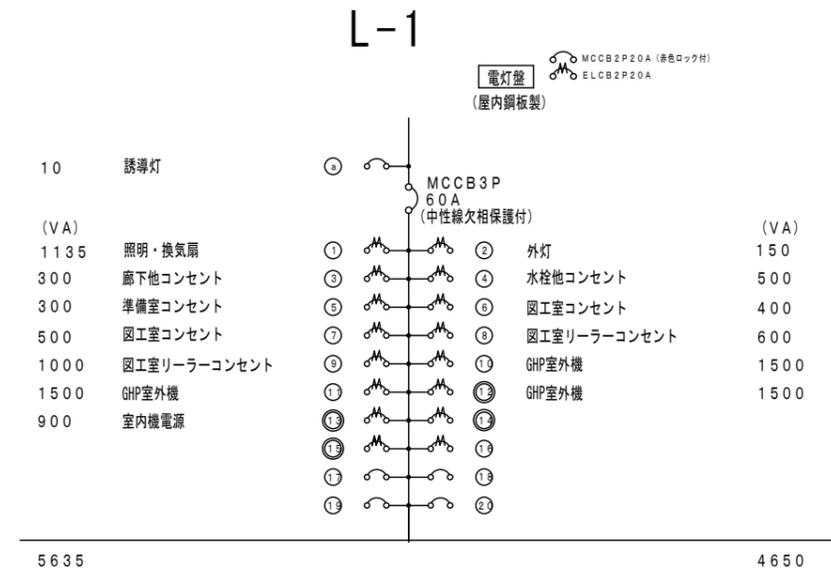
横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設教室設置その他工事 (電気設備工事)		
年月日	令和6年3月	縮尺	A1:1/200 A3:1/400	図面名称	改修後1、2階幹線・弱電設備平面図
設計者		監理者	図面枚数	図面番号	
有限会社 小倉一級建築士事務所		有限会社 小倉一級建築士事務所	図面枚数	図面番号	
一級建築士登録 第 254463 号 小倉 寛元		E-03			



2階平面図 S:1/100



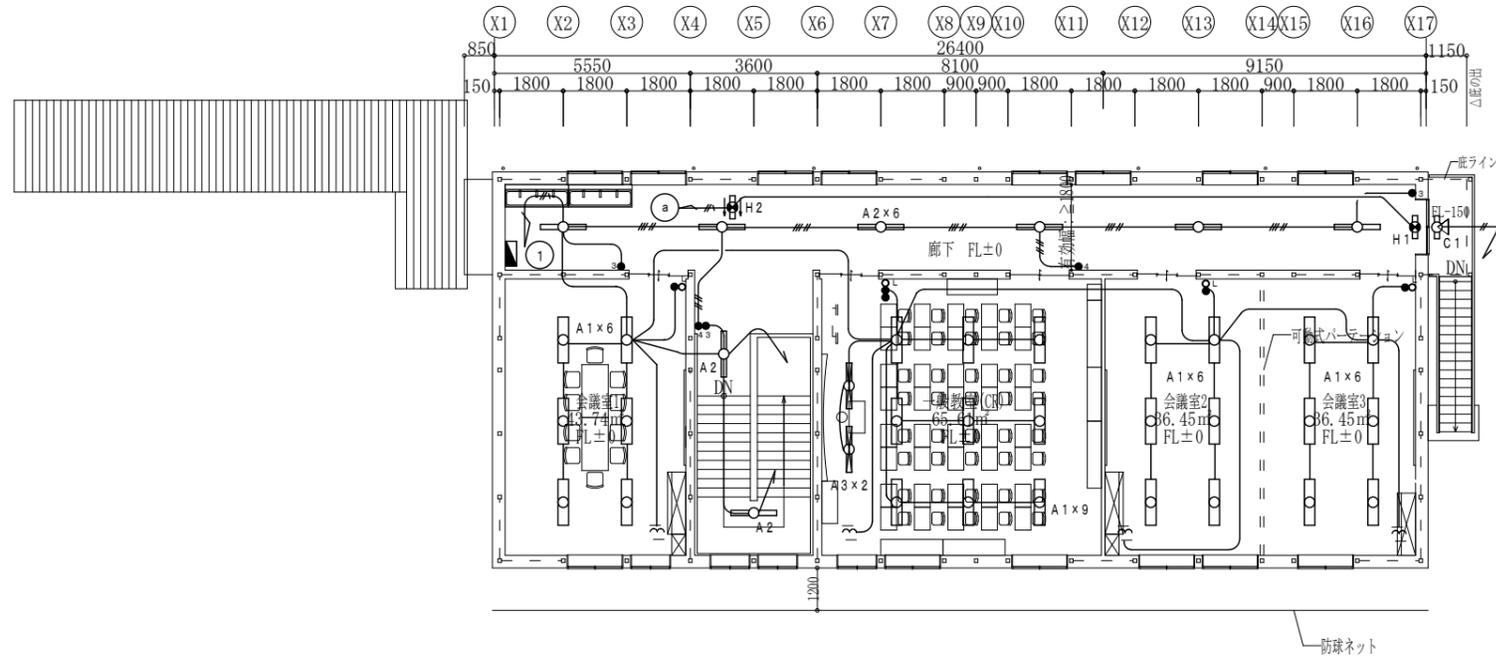
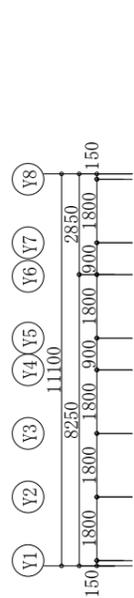
1階平面図 S:1/100



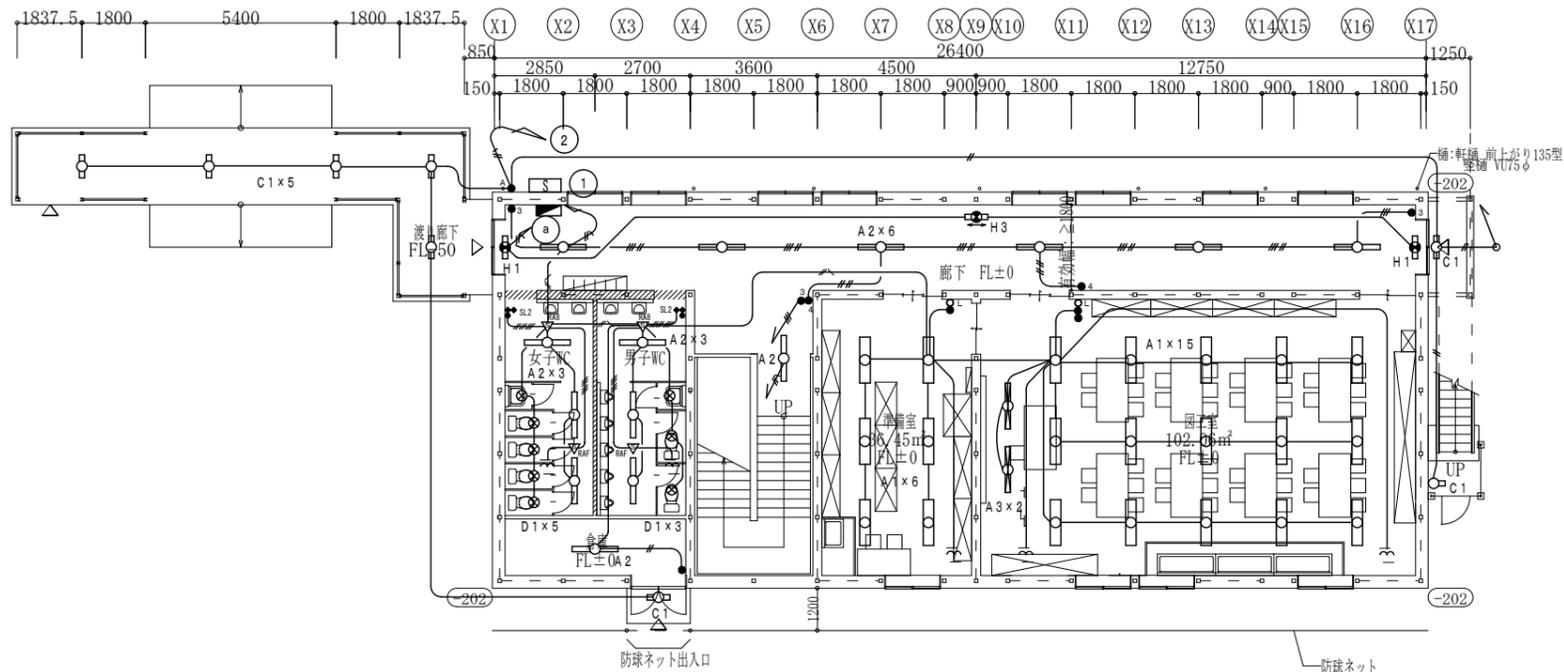
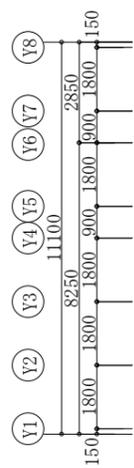
凡例

	電灯盤 鋼板製露出型
	動力盤 鋼板製露出防水型
	引込開閉器盤 鋼板製露出防水型

横浜市教育委員会	工事名	旭小学校仮設教室設置その他工事 (電気設備工事)
年月日 令和6年3月	縮尺	A1:1/50, U/200 A3:1/100, U/200
図面名称	仮設校舎1, 2階幹線設備平面図	
設計者	監理者	図面枚数
有限会社 小倉一級建築士事務所	新設番号	図面番号
一級建築士登録 第 254483 号 小倉 弘光		E-04



2階平面図 S:1/100



1階平面図 S:1/100

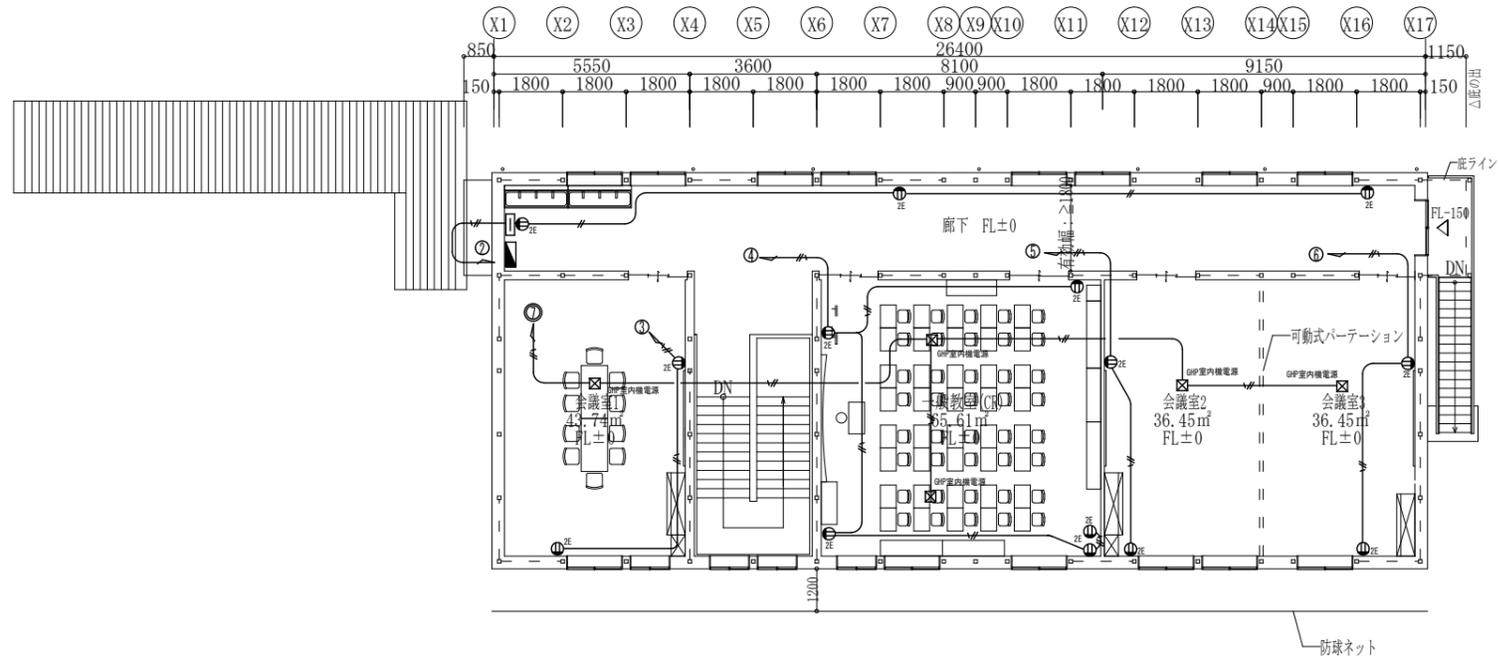
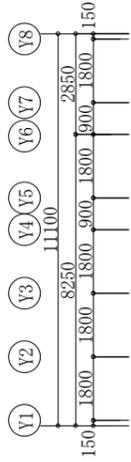
凡例

- EM-EEF1. 6-2C
- EM-EEF1. 6-3C
- EM-EEF1. 6-2C+2C
- EM-EEF1. 6-2C+3C
- EM-EEF1. 6-3C+3C
- EM-EEF1. 6-2C+2C+3C
- EM-EEF2. 0-3C

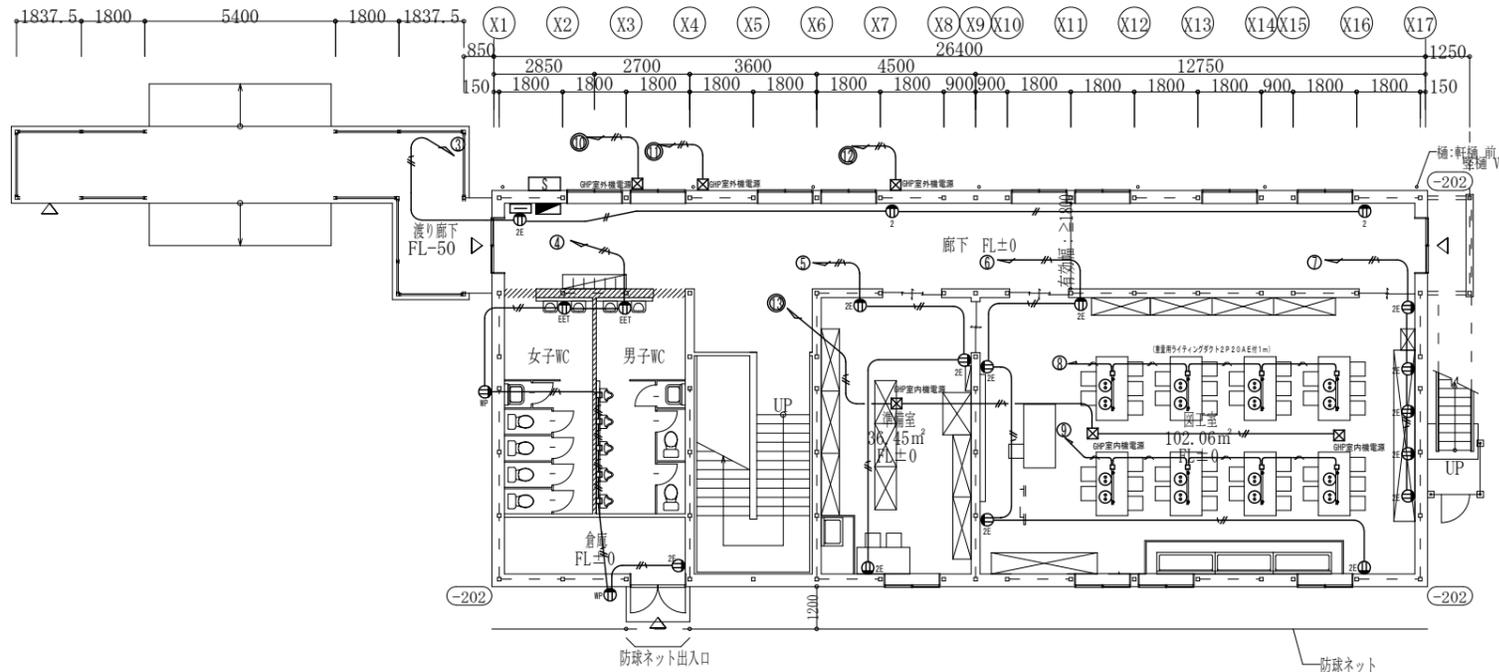
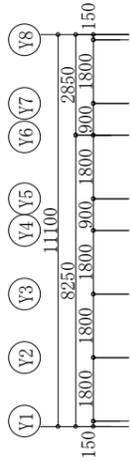
凡例

○	A1 LSS6-4-65
○	A2 LSS9-4-23
○	A3 LSR12-4-45
⊗	D1 LDS2-LRS1-08
○	C1 LSS1MP/RP-07
□	H1 SH1-FSF20-C 避難口
□	H2 ST1-FSF22-C 避難口失印
□	H3 ST1-FSF22-C 通路両失印
▽	天井換気扇
●	スイッチ1P15A×n FL+1400
★SL2	埋込スイッチ(ワイド)1P15A×1+熱線センサ操作ユニット2回路用
▽RAB	天井付熱線センサスイッチ(親機・広角検知形 8Aタイプ)
▽RAF	天井付熱線センサスイッチ(子機・換気扇接続端子付)
■	電灯盤(銅板製)
●	自動点滅器(切タイマー内蔵)

横浜市教育委員会	工事名	旭小学校仮設教室設置その他工事(電気設備工事)
年月日 令和6年3月	縮尺	A1:1/50, 1/100 A3:1/100, 1/200
図面名称	仮設校舎1、2階電灯設備平面図	
設計者	図面番号	図面枚数
有限会社 小倉一級建築士事務所	図面番号	図面枚数
一級建築士登録 第 254463 号 小倉 宏光	図面番号	図面枚数
		E-05



2階平面図 S: 1/100



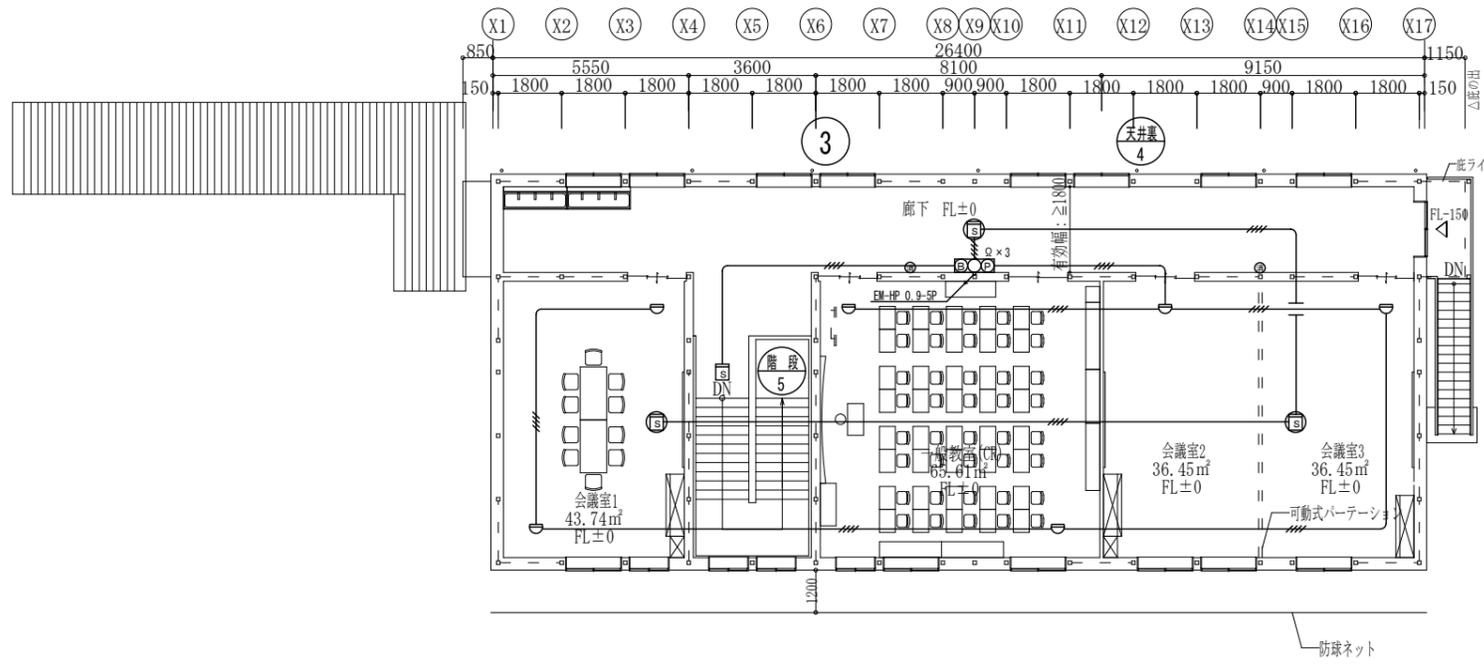
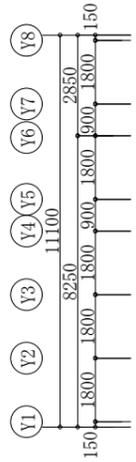
1階平面図 S: 1/100

EM-EEF2. 0-3C  
天井内ロゴサイン配線とする

凡例

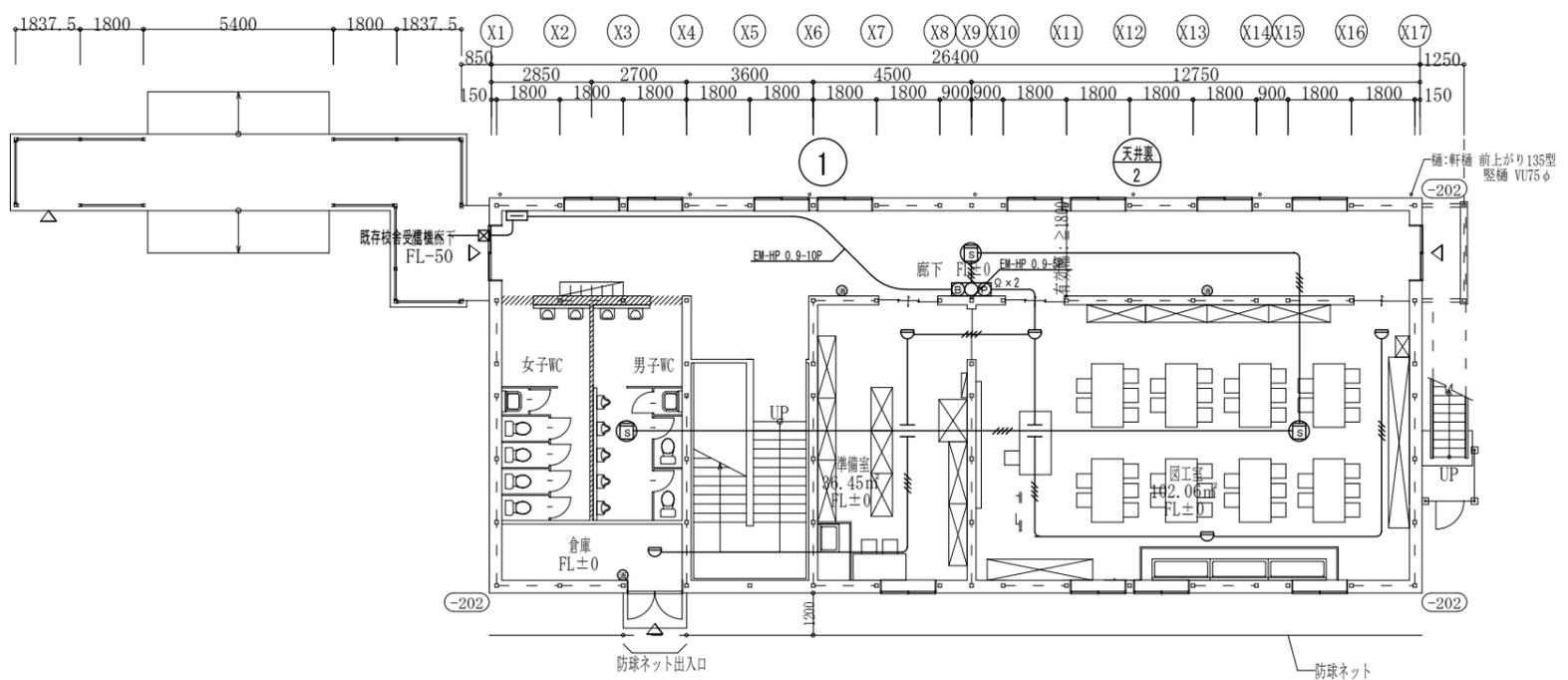
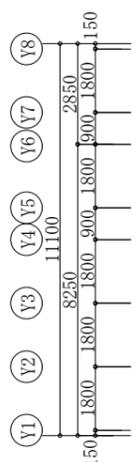
②E	アース付き2口コンセント FL+300程度
②EET	アースターミナル付き2口接地コンセント FL+300程度
④EET	アースターミナル付き1口接地コンセント FL+300程度
④WP	アースターミナル付き2口接地 防水型コンセント
⊙	リーラーコンセント 2P20A×2 E付



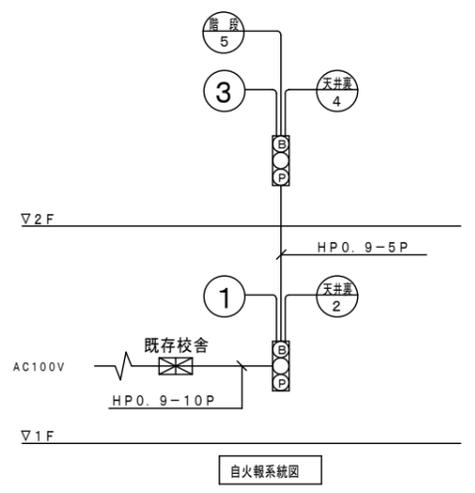


2階平面図 S: 1/100

- シンボル凡例
- ⊠ 受信機 P型1級 10回線
  - ⊙ 総合盤 P型1級 埋込型
  - ⊕ 差動式スポット型感知器 2種
  - ⊖ 定温式スポット型感知器 1種 防水型
  - ⊗ 光電式スポット型感知器 2種 (○は天井裏)
  - ⊘ 終端抵抗
  - ⊚ AE0.9-4C
  - ⊙ ABC粉末消火器 10型 3.0kg 蓄圧式
  - ⊙ 強化液(中性)消火器 3型 3.0L 蓄圧式



1階平面図 S: 1/100



横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設教室設置その他工事(電気設備工事)		
年月日	令和6年3月	縮尺	A1: 1/50, 1/100 A3: 1/100, 1/200	図面名称	仮設校舎1、2階火報設備平面図
設計者	有限会社 小倉一級建築士事務所	監査者	有限会社 小倉一級建築士事務所	図面枚数	図面番号
図面番号	E-08				

# 工事名称 旭小学校仮設教室設置その他工事（衛生空調設備工事）

工事場所 鶴見区北寺尾四丁目25番1号

## 図面リスト

図番	図面名称	縮尺
M-01	図面リスト、仕様書、工事区分、凡例	—
M-02	案内図、配置図	A1: 1/500 A3: 1/1000
M-03	改修後給・排水設備平面図	A1: 1/200 A3: 1/400
M-04	仮設校舎1、2階給・排水設備平面図	A1: 1/100 A3: 1/200
M-05	仮設校舎1、2階空調・ガス配管設備平面図	A1: 1/100 A3: 1/200
M-06	仮設校舎1、2階換気設備平面図	A1: 1/100 A3: 1/200
M-07	既設スプリンクラー改修図	A1: 1/200 A3: 1/400

## 仕様書 1 工事概要

旭小学校仮設教室設置その他工事に伴う衛生空調設備工事を行う。

## 2 優先順位

1	現場説明に対する質問回答書
2	現場説明書
3	特記仕様書（図面記載のもの及び別冊を含む）
4	設計書及び図面
5	横浜市建築局制定『機械設備工事特則仕様書』（最新版）
6	横浜市建築局・社団法人神奈川県空調衛生工業会編集『機械設備工事施工マニュアル』（最新版）
7	国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修『公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）』（最新版）
	国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修『公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）』（最新版）
	国土交通省大臣官庁官庁営繕部設備・環境課監修『公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）』（最新版）
	<参考図書>国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修『機械設備工事監理指針』（最新版）

## 3 一般事項

### (1) 残土処分

- 指定処分（処分地：\_\_\_\_\_）
- 確認処分
- 場内敷きならし
- なし

### (2) 発生材処分

- 指定処分（処分地：\_\_\_\_\_）
- 確認処分
- 家電リサイクルの指定
- なし

### (3) 水道局納付金（手数料）

- あり
- なし

(4) 図中における衛生器具などのメーカー型番、商品名等は参考として記載したものである。

(5) 機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。

(6) 電力消費量、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

(7) 施設関連工事においては、施設敷地等の出入りに際しては、身分を明示した腕章、名札、ヘルメット等を着用する。

## 4 特記事項

- (1) 工事に際しては関係各位との充分なる協議、確認の上安全対策及び工事に支障無き様留意する。
- (2) 工事に必要な関係官庁への打ち合わせ、確認及び届け出等については遅滞なくこれを行なう。
- (3) 工事に際しては事前に充分な調査を行ない工事中及び完成後公園利用者に支障無き様留意する。
- (4) 設計図書又は施工上で、疑義が生じた場合は検討書を添えて監督員と協議する。

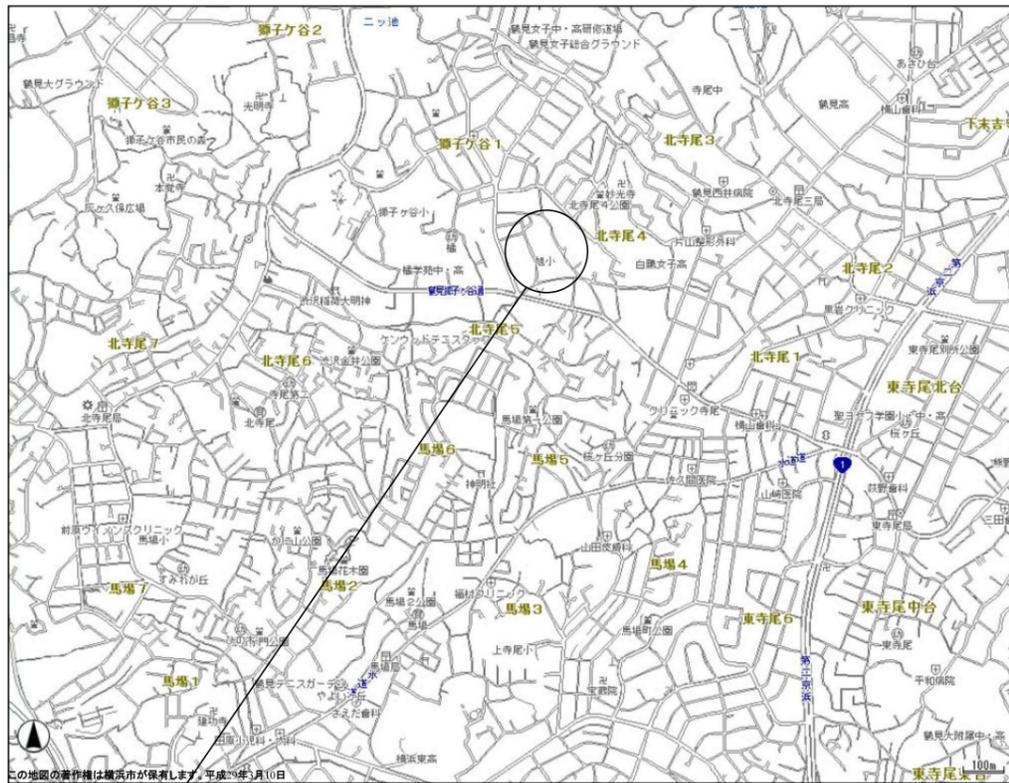
## 工事区分

No	工事内容	工事区分		
		建築工事	電気設備工事	衛生設備工事
1	大便器、小便器、洗面器新設	位置確認		○
2	自動バルブユニット取付	位置確認		○
3	同上電源工事		○	
4	給水管、排水管の新設			○
5	点検口設置工事	○	位置確認	位置確認
6	同上 開口補強工事	○		
7	配管用スリーブ工事		○	○
8	配管用スリーブの鉄筋補強工事	○		
9	機器設置に対する躯体等補強	○		
10	機器設置のアンカー取付け		○	○
11	照明器具新設		○	
12	間仕切りベースの器具取付用補強板工事	○		位置確認
13	間仕切りベースのぞき防止板工事	○	位置確認	
14	床上掃除口新設			○
15	トイレの化粧鏡新設	○		
16	発生材運搬、処分	○		

## 凡例

記号	名称	接続方法・備考	
——— (上水)	給水管	VA: 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116)	ねじ接合、屋内一般
		VB: 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116)	ねじ接合、屋外露出
		VD: 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116)	ねじ接合、埋設
- - - - (排水) ..... (通気)	排水管 通気管	VP: 排水用硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741)	接着接合、屋内一般
		RF-VP: 排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管 (AS-59)	接着接合、埋設
		RS-VU: 下水用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (AS-62)	接着接合、屋外埋設
⊗	GV: 仕切弁 BV: パタフライ弁 SV: 玉形弁 BAV: ボール弁		
⊗	水栓	単水栓は節水こま	
⊗	洗浄弁		
⊕	床上掃除口		
⊗ ○	汚水ます（コンクリートます・小口径ます）		
⊗ ⊗	雨水ます（コンクリートます・小口径ます）		
———	スパイラルダクト		
⊗	天井扇		
■	埋設標		

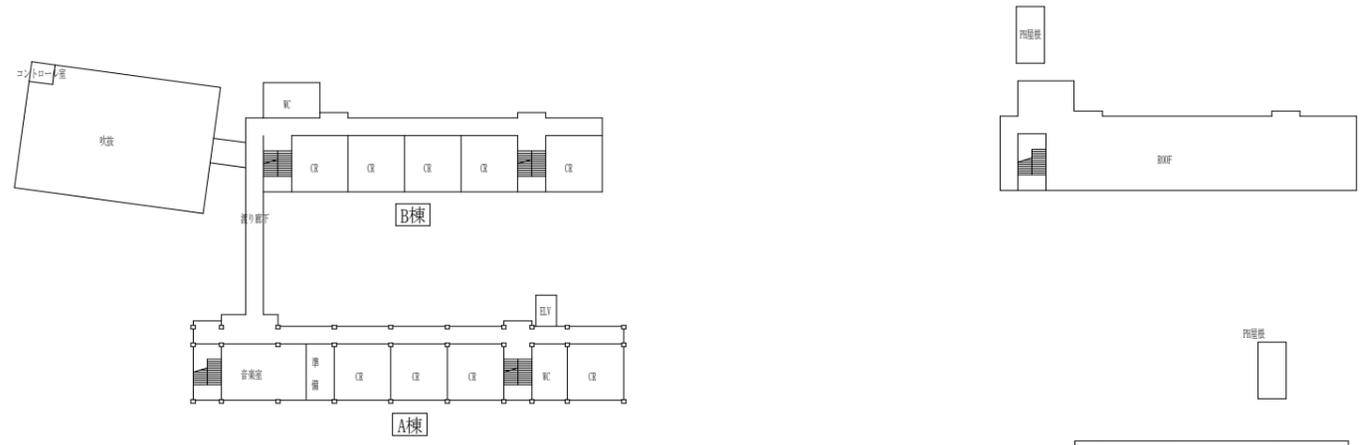
横浜市教育委員会	工事名	旭小学校仮設教室設置その他工事（衛生空調設備工事）		
年月日 令和6年3月 縮尺 -	図面名称	図面リスト・仕様書・工事区分・凡例		
設計者	監理者	図面枚数	図面番号	
有限会社 小倉一級建築士事務所 一級建築士登録 第 254463 号 小倉 寛元	施設番号	種別	完成年度	図面枚数
				M-01



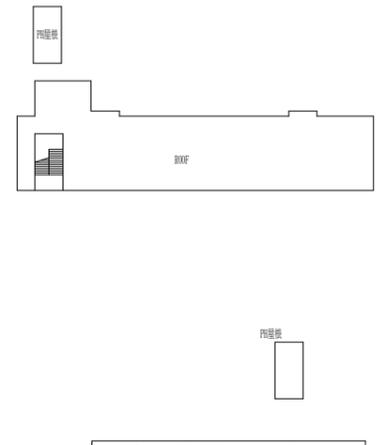
案内図  
NO. SCALE

工事場所：横浜市立 旭小学校

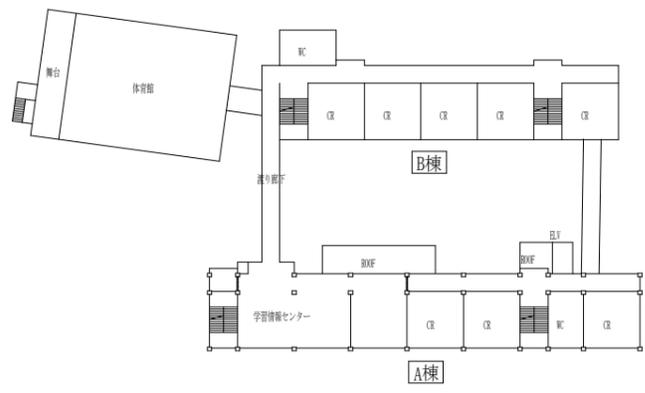
公共下水道：合流地域



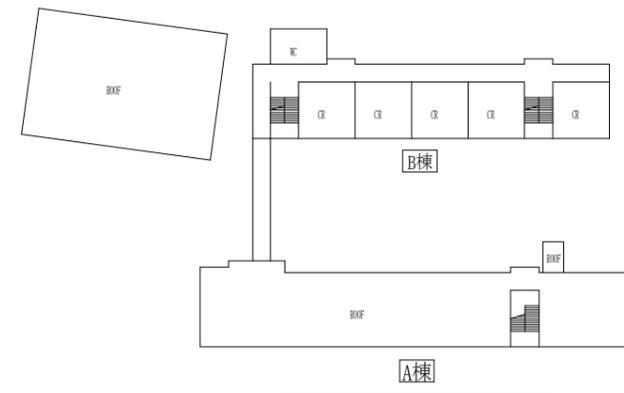
3階平面図 (S=1/600)



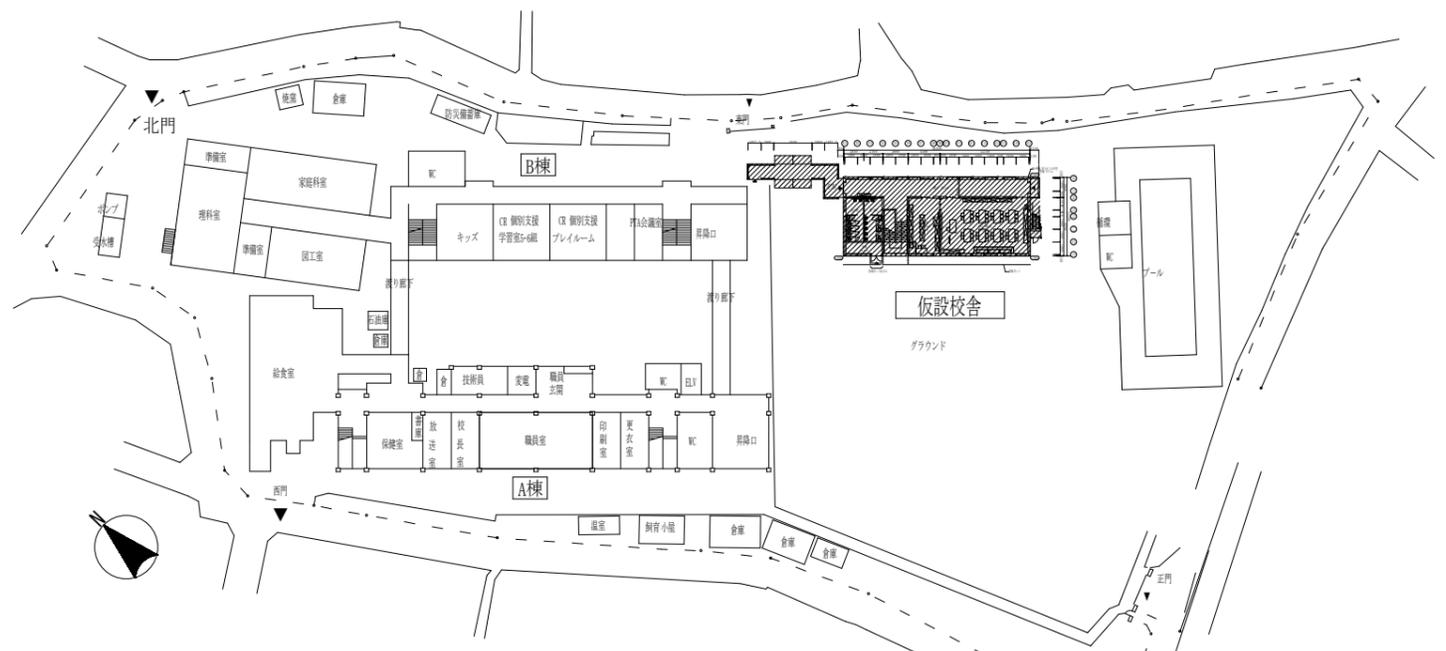
屋根伏図 (S=1/600)



2階平面図 (S=1/600)



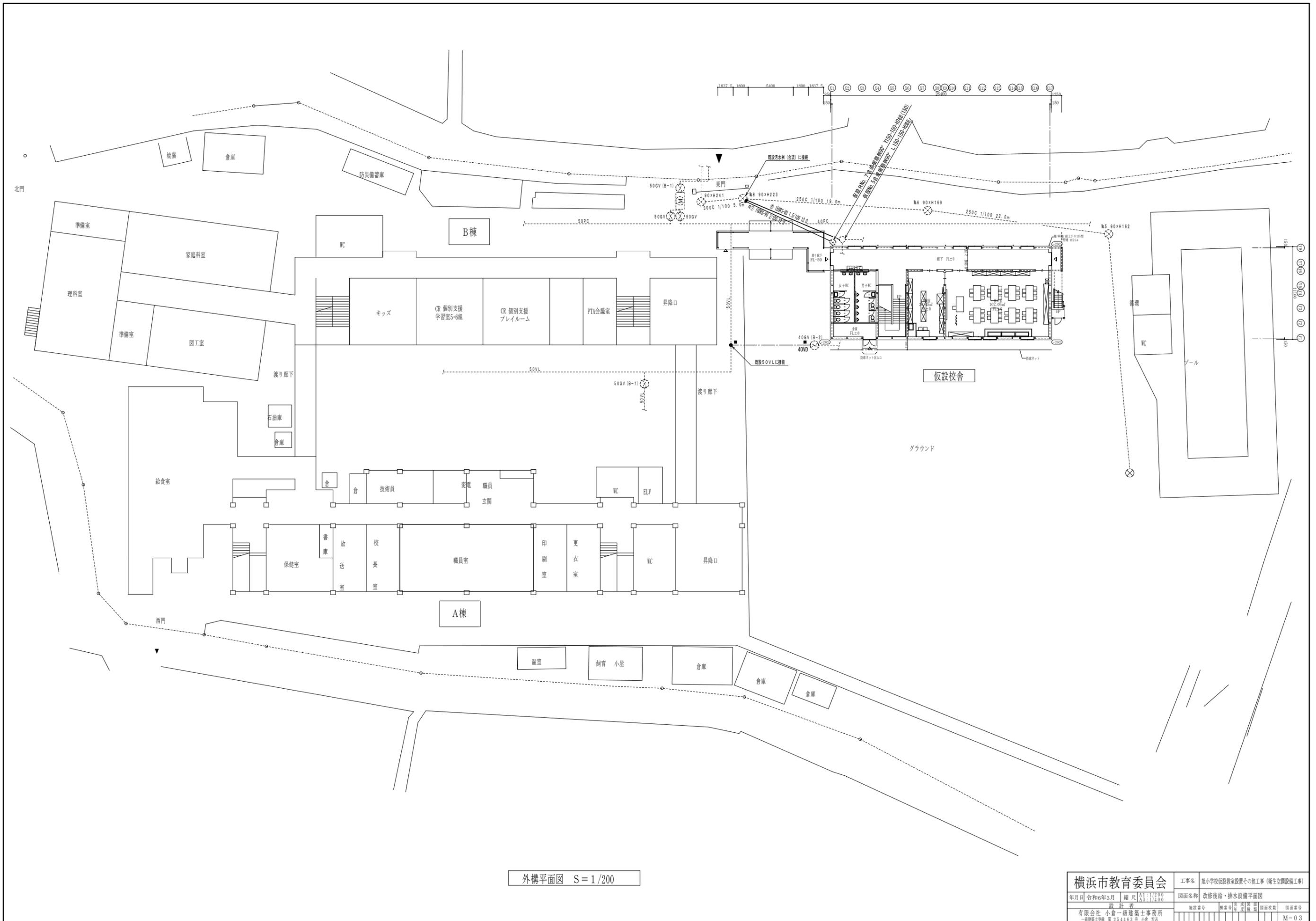
4階平面図 (S=1/600)



配置図・1階平面図 (S=1/500)

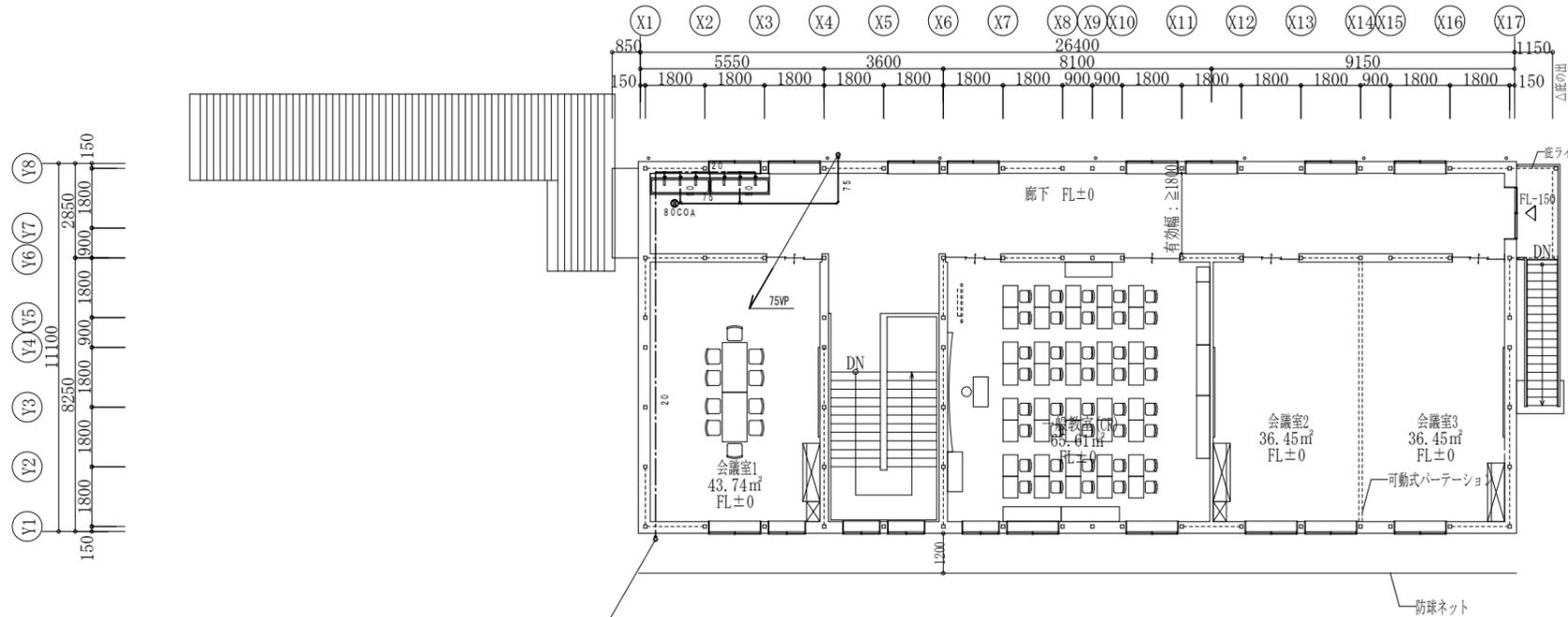
今回工事建物

横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設教室設置その他工事 (衛生空調設備工事)		
年月日	令和6年3月	縮尺	A1: 1/500 A3: 1/1000		
図面名称		特記仕様書・案内図・配置図			
設計者		監理番号	完成年度	図面枚数	図面番号
有限会社 小倉一級建築士事務所					
一級建築士登録 第 354483 号 小倉 宏弘					M-02

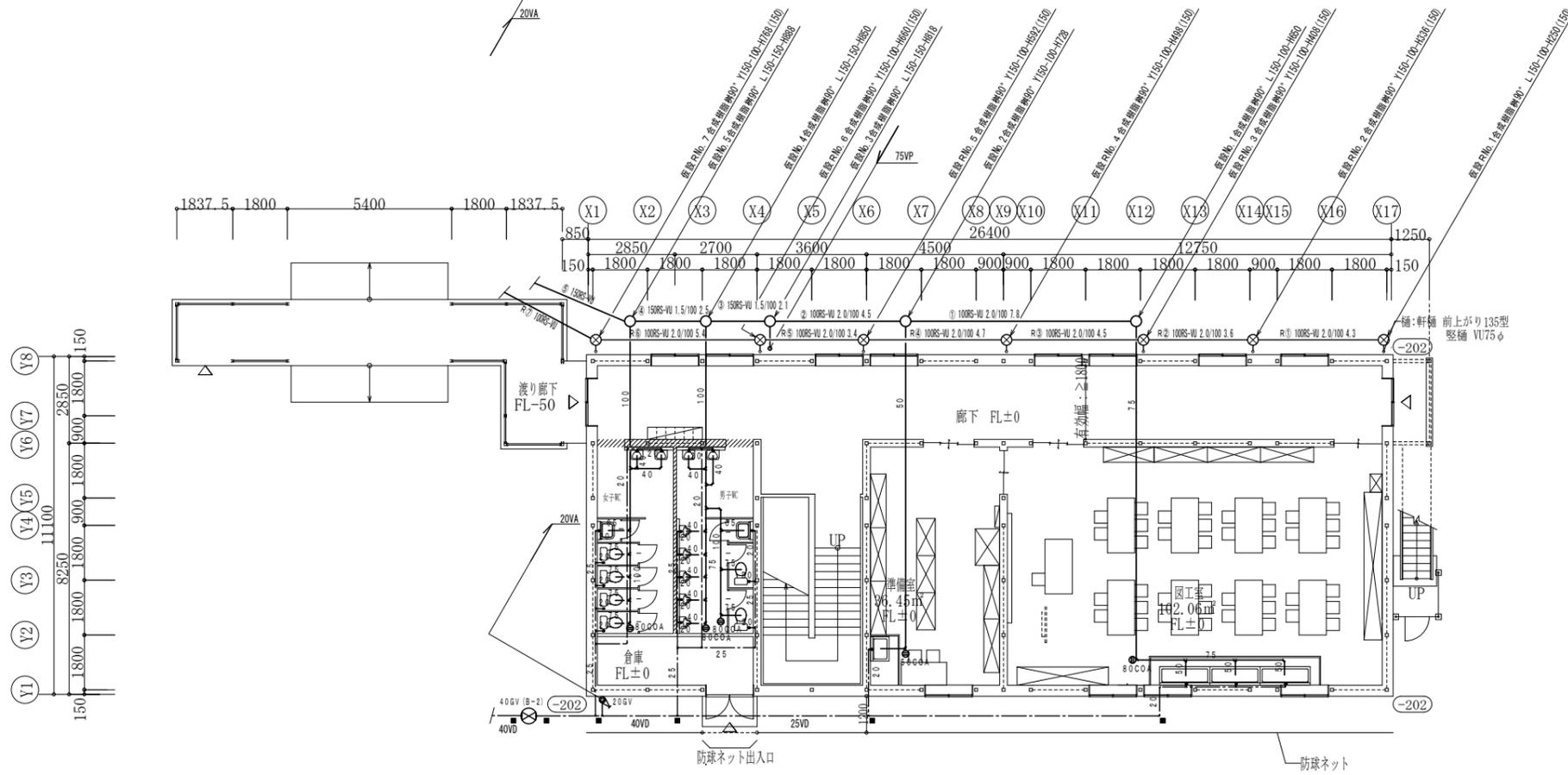


外構平面図 S=1/200

横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設教室設置その他工事(衛生空調設備工事)		
年月日	令和6年3月	縮尺	A1:1/200	図面名称	改修後給・排水設備平面図
設計者		施設番号	種別	年度	図面枚数
有限会社 小倉一級建築士事務所					
一級建築士登録 第 2544463 号 小倉 寛元					M-03



2階平面図 S:1/100



1階平面図 S:1/100

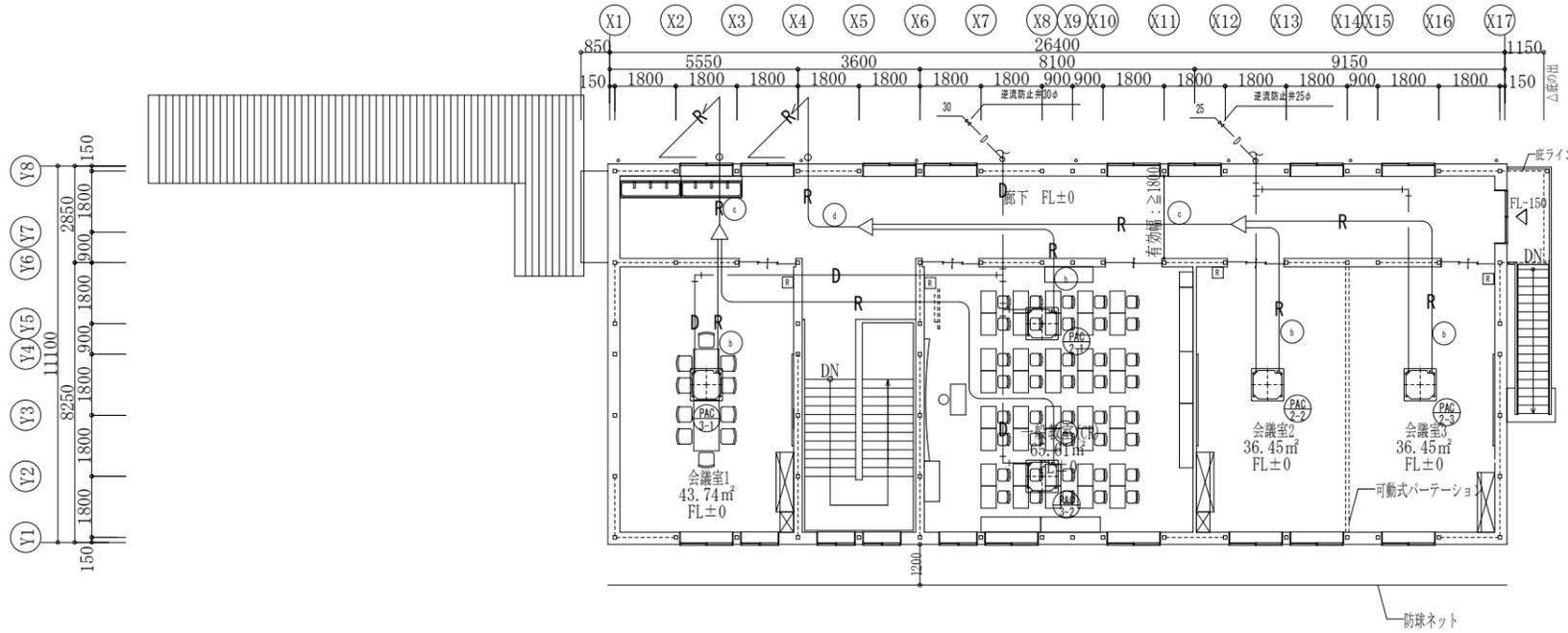
便所・階段室新設器具表

名称	仕様：付属品	記号	計		
			1F	2F	
小学校中、高学年・中学校用洋風大便器	ロータンク 他	C1200S	6		6
低リップ壁掛式一体型小便器	電気式	U620	5		5
手洗い器	電気式自動水栓	-	4		4
化粧鏡	盗難防止型 360×450	-	4		4
掃除流し	13A 吐水口回転式横水栓 (13-F7)	S210	2		2
横水栓	乾電池式自動水栓	-		6	6
床上掃除口 (新設)	80A (ファンタッチ式)	-	4	1	5
〃	50A (ファンタッチ式)	-	1		1

※ 横浜市学校標準に基づくものとする

凡例  
 給水管 H I V P管・ポリ管  
 排水管 V P管・V U管  
 給湯管 ポリチューブ管  
 すべて J I S規格品を使用する。

特記  
 衛生器具は、全て防臭トラップ付とする。  
 (トラップ封水深は50~100mmとする。)  
 器具類の水栓類は吐水空間を確保し設置する。  
 ウォーターハンマーが生じる恐れが無いとする。  
 上下水道は政令で定める基準に従い施工する。  
 排水量の算定と管の径・勾配は排水負荷単位法による。

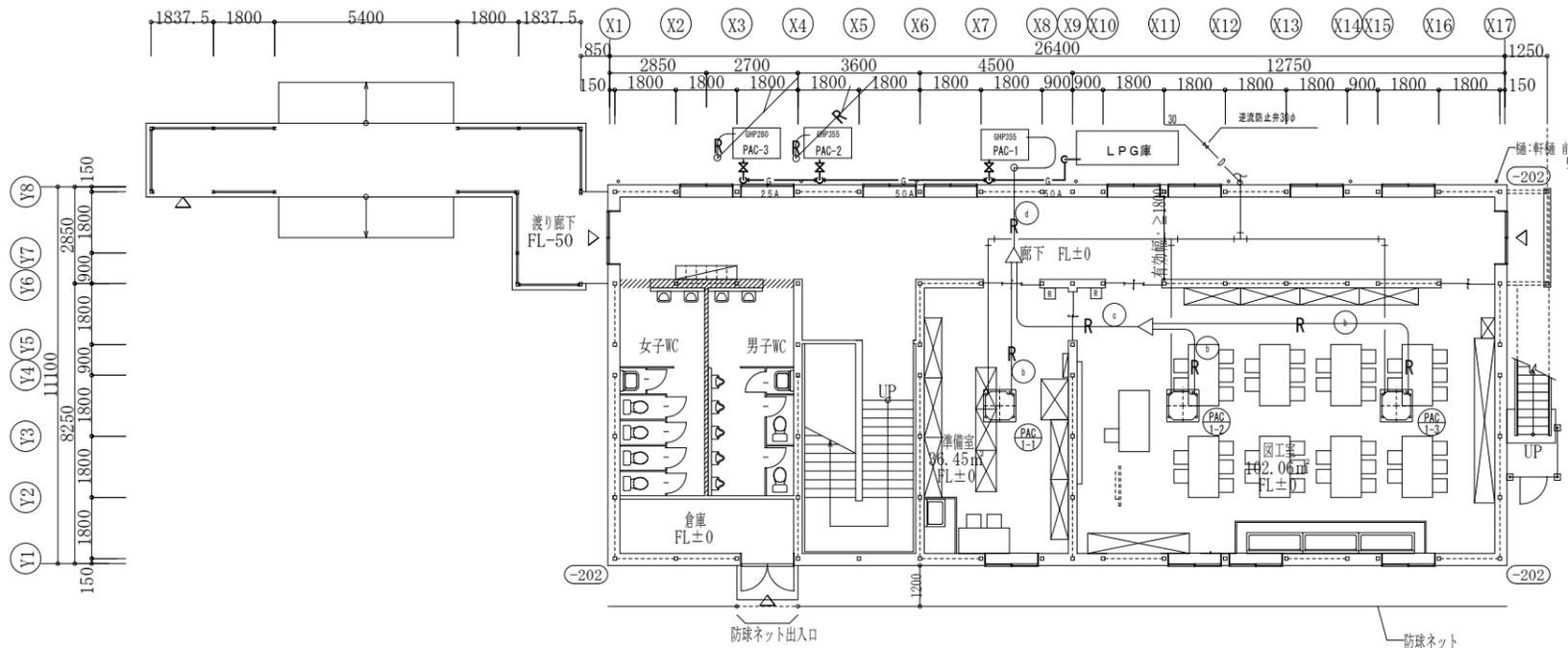


2階平面図 S:1/100

空調設備 機器表 (GHP (プロパン))

記号	名称	機器仕様	相電圧 (φ-V)	動力 (kW)	台数	設置場所	備考
PAC-1-1	GHPエアコン	型式: 天井セ4方向3HP 消費電力(冷房): 8.0kW 消費電力(暖房): 9.0kW	1-200	0.086	1	1階準備室	FXYP80EB
	ビルマルチ	付属品: ワイヤードリモコン、標準フィルター、他標準付属品一式		0.09			
PAC-1-2	GHPエアコン	型式: 天井セ4方向4HP 消費電力(冷房): 11.2kW 消費電力(暖房): 12.5kW	1-200	0.217	6	一般教室	FXYP112EB
PAC-2-1	ビルマルチ	付属品: ワイヤードリモコン、標準フィルター、他標準付属品一式		0.207		会議室2・3	
PAC-2-2						図工室	
PAC-2-3							
PAC-3-1	GHPエアコン	型式: 天井セ4方向3HP 消費電力(冷房): 12.5kW 消費電力(暖房): 14.0kW	1-200	0.217	1	会議室1	FXYP140EB
PAC-3-2	ビルマルチ	付属品: ワイヤードリモコン、標準フィルター、他標準付属品一式		0.207			
PAC-1		ガス消費量: い号プロパン 冷房 32.0 kW 暖房 29.8 kW					PAC-1室外機GYDP3556
PAC-2		ガス消費量: い号プロパン 冷房 32.0 kW 暖房 29.8 kW					PAC-2室外機GYDP3556
PAC-3		ガス消費量: い号プロパン 冷房 29.5 kW 暖房 25.1 kW					PAC-3室外機GYDP280G

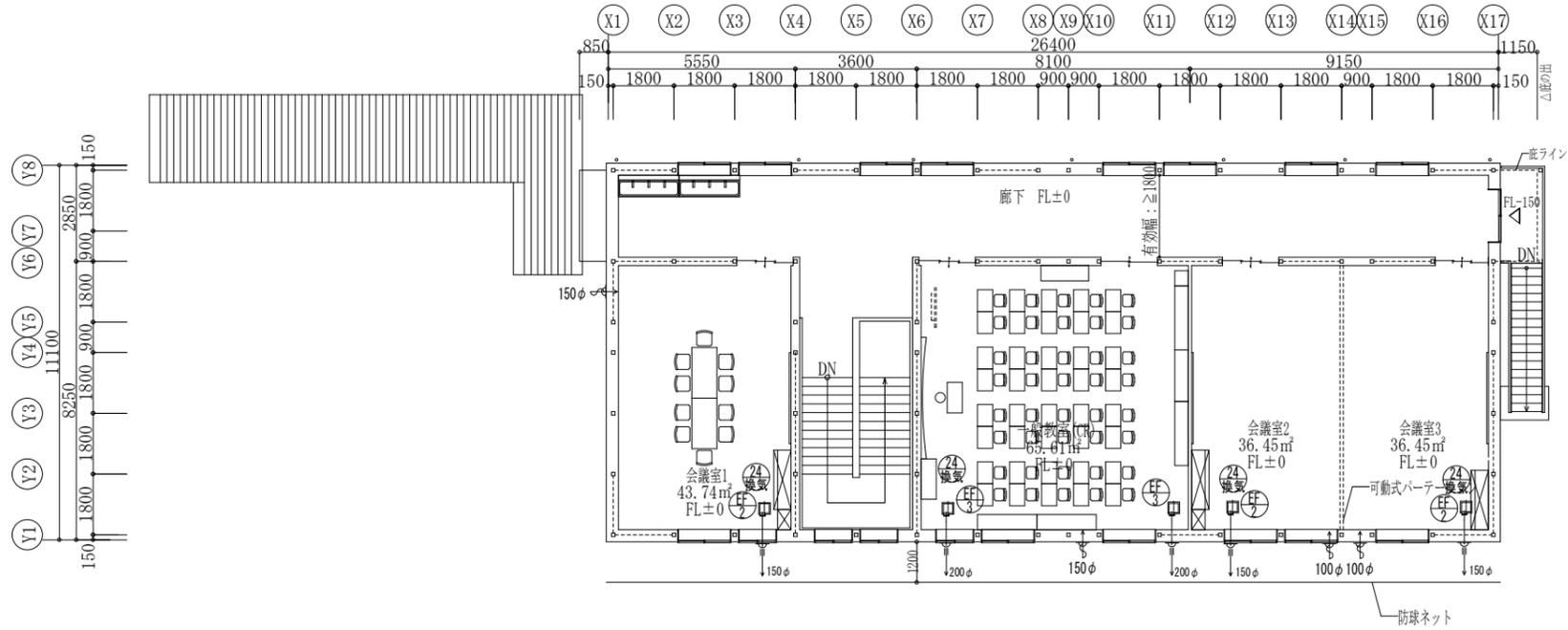
【特記】 1. 各性能はJIS B 8616・JIS B 9612に基づいた値とする。 2. 冷媒はR410A以上とする。 3. 電気容量は参考値とする。 4. 電源周波数は50Hzとする。 5. グリーン購入法適合品とする。 6. 室外機は機器転倒防止を見込む。



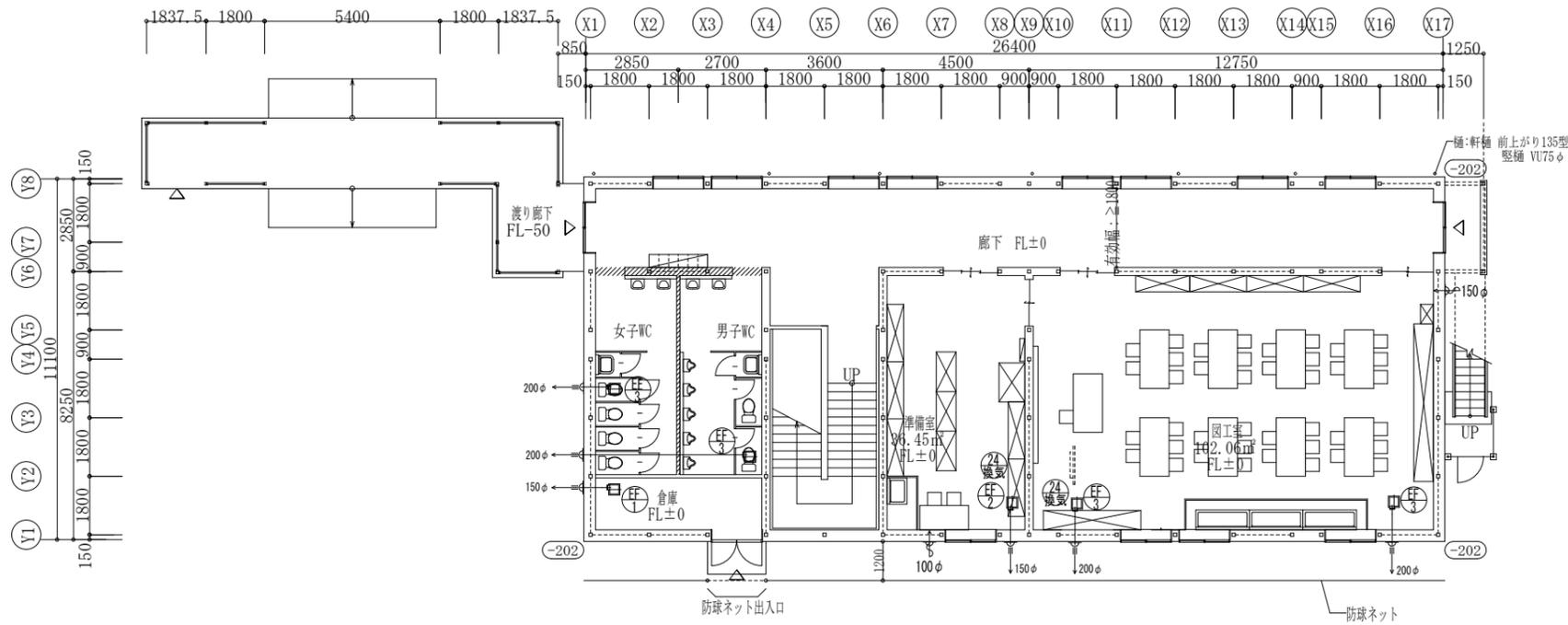
1階平面図 S:1/100

記号	ガス管	液管
a	12.7φ	6.4φ
b	15.9φ	9.5φ
c	22.2φ	9.5φ
d	28.6φ	12.7φ
e	28.6φ	15.9φ
f	31.8φ	19.1φ

凡例	説明
	天井カセット型4方向パッケージエアコン
	GHP室外機
	ワイヤードリモコン FL+1500程度
	冷媒用被覆銅管
	硬質ポリウレタン管(カラーVP) 屋内: 結露防止層付硬質ポリウレタン管
	プロパンガスボンベ庫



2階平面図 S: 1/100



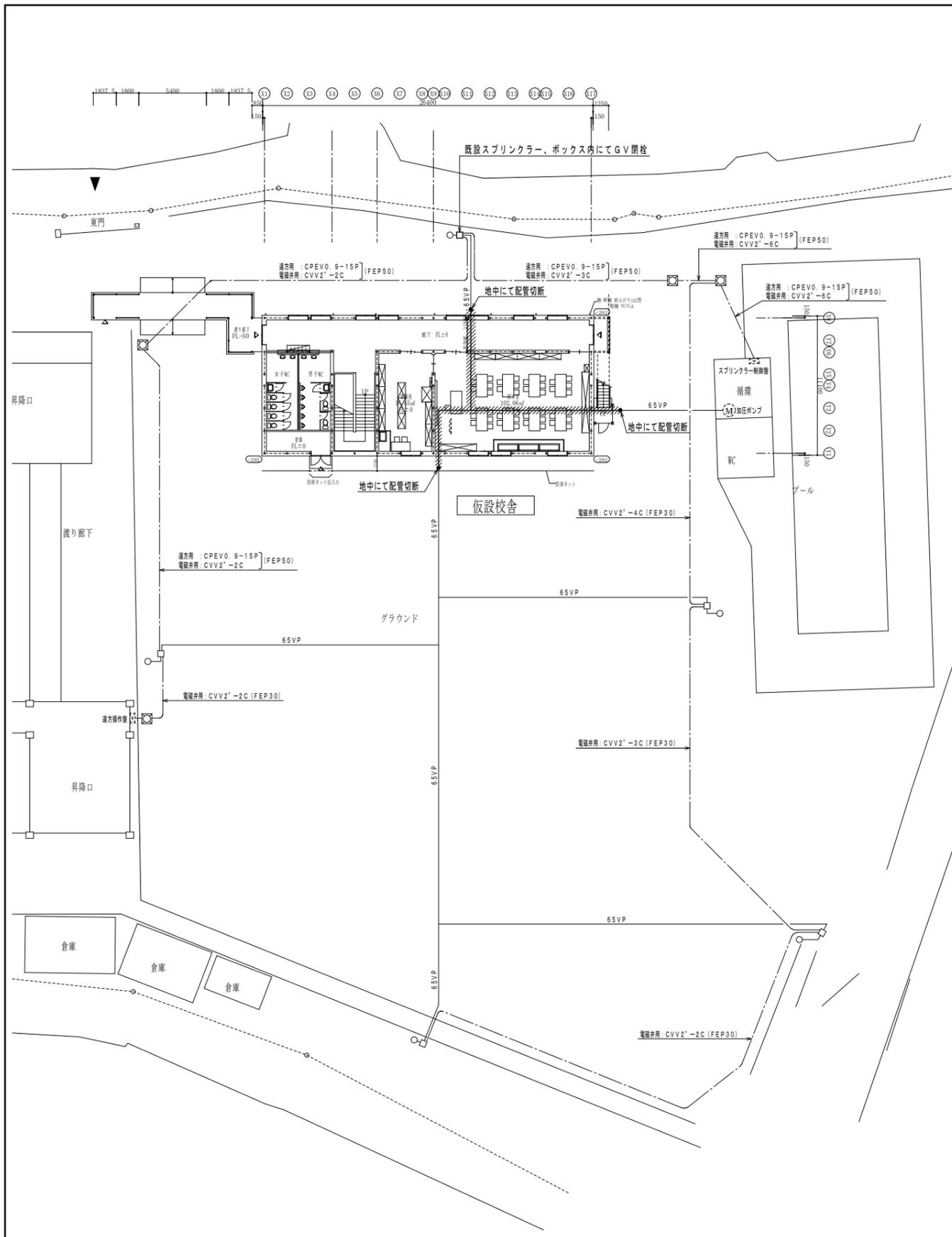
1階平面図 S: 1/100

換気設備 機器表

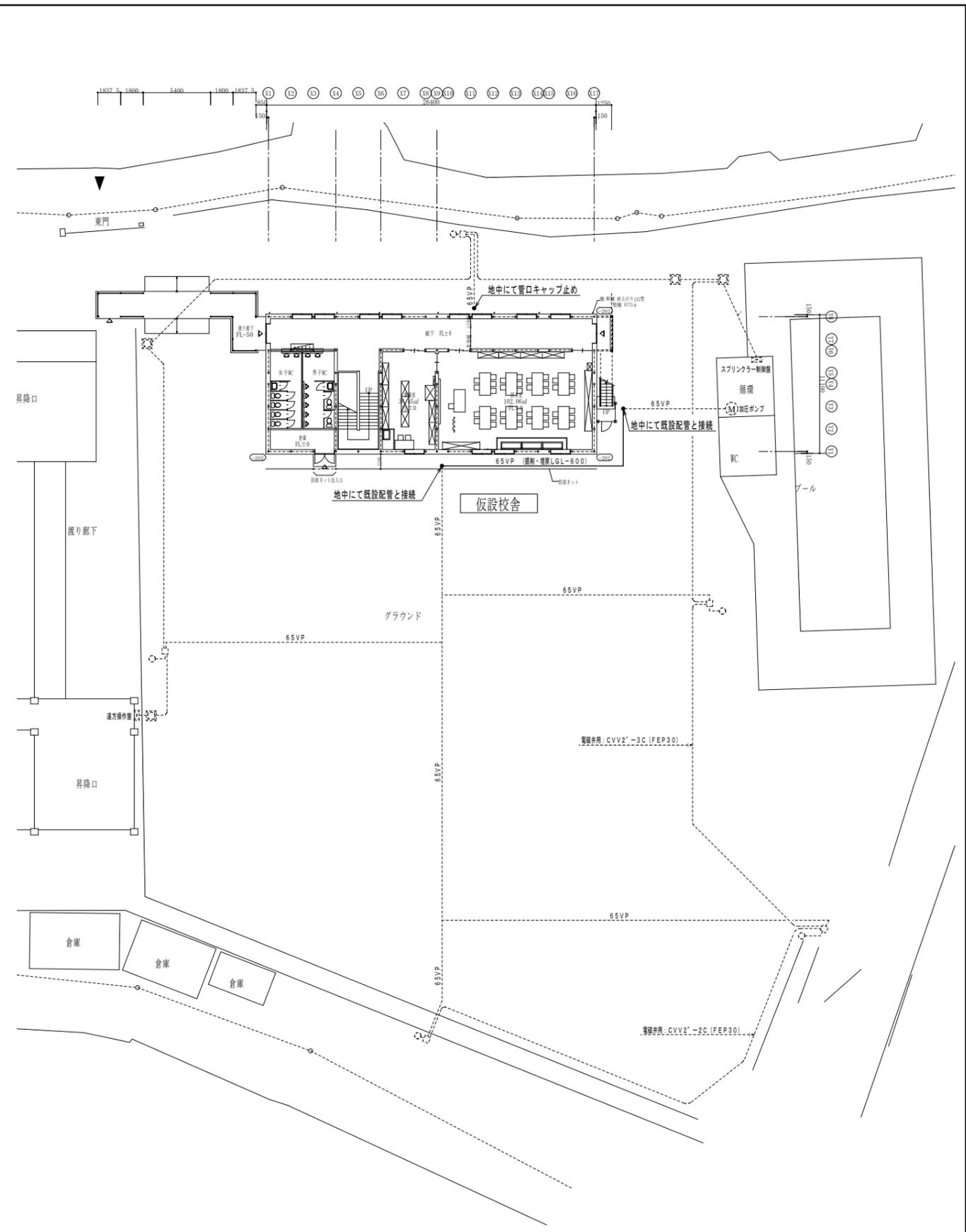
機器番号	機器名称	仕様	電源		台数	設置場所	備考
			相電圧 (φ) (V)	消費電力 (kW)			
EF-1	天井換気扇	型式: 低騒音型 能力: 150 φ × 260 m <sup>3</sup> /h × 60 Pa 付属品: 防振吊金物、標準付属品一式	1	100	1	準備室	VD-18ZC12 (三菱電機)
EF-2	天井換気扇	型式: 低騒音型 能力: 150 φ × 450 m <sup>3</sup> /h × 100 Pa 付属品: 防振吊金物、標準付属品一式	1	100	3	会議室1・2・3	VD-23ZX13-C (三菱電機)
EF-3	天井換気扇	型式: 低騒音型 能力: 200 φ × 700 m <sup>3</sup> /h × 50 Pa 付属品: 防振吊金物、標準付属品一式	1	100	6	一般教室 図工室 男子・女子WC	VD-25ZX13-C (三菱電機)

凡例  
24 換気 24時間換気を示す

	天井換気扇
	排気 ベントキャップ
	給気 ベントキャップ
	24時間換気SW FL+1300程度
	電灯盤
	壁換気扇



改修前外構平面図 S=1/200



改修前外構平面図 S=1/200

横浜市教育委員会		工事名	旭小学校仮設教室設置その他工事(衛生空調設備工事)			
年月日	令和6年3月	縮尺	A1:1/200	図面名称	既設スプリンクラー改修図	
設計者	有限会社 小倉一級建築士事務所	施設番号		種別	改修	図面枚数
一級建築士登録 第 254463 号 小倉 寛文						図面番号
						M-06